

案内図

工事場所：和光市広沢地内

図面リスト									
図番	図 面 名 称	図番	図 面 名 称	図番	図 面 名 称	図番	図 面 名 称	図番	図 面 名 称
	(意匠図)		(意匠図)				(電気図)		(機械設備図)
A-01	案内図・図面リスト	A-23	2階天井伏図(改修前)	A-45	便所詳細図	E-01	電気設備特記仕様書	M-01	機械設備特記仕様書(1)
A-02	特記仕様書(改修その1)	A-24	2階天井伏図(改修後)	A-46	階段詳細図	E-02	電気設備配置図	M-02	機械設備特記仕様書(2)
A-03	特記仕様書(改修その2)	A-25	展開図(1)(改修前)	A-47	サイン計画図(1)	E-03	受変電設備単線結線図	M-03	給排水設備配置図
A-04	特記仕様書(改修その3)	A-26	展開図(2)(改修前)	A-48	サイン計画図(2)	E-04	分電盤結線図(1)	M-04	給排水衛生設備1階平面図(改修前)
A-05	特記仕様書(改修その4)	A-27	展開図(3)(改修前)	A-49	部分詳細図(1)	E-05	分電盤結線図(2)	M-05	給排水衛生設備2階平面図(改修前)
A-06	特記仕様書(改修その5)	A-28	展開図(4)(改修前)	A-50	部分詳細図(2)	E-06	分電盤結線図(3)	M-06	給排水衛生設備1階平面図(改修後)
A-07	特記仕様書(改修その6)	A-29	展開図(5)(改修前)	A-51	家具詳細図	E-07	系統図	M-07	給排水衛生設備2階便所平面図(改修後)
A-08	工事区分表	A-30	展開図(6)(改修前)	A-52	外構図	E-08	幹線・動力・弱電1階平面図(改修前)	M-08	換気・空調設備1階平面図(改修前後)
A-09	仕上表(1)	A-31	展開図(1)(改修後)	A-53	外構詳細図	E-09	幹線・動力・弱電1階平面図(改修後)	M-09	換気・空調設備2階平面図(改修前後)
A-10	仕上表(2)	A-32	展開図(2)(改修後)			E-10	幹線・動力・弱電2階平面図(改修前)		
A-11	配置図・仮設計画図・概略工程表	A-33	展開図(3)(改修後)			E-11	幹線・動力・弱電2階平面図(改修後)		
A-12	1階平面図(改修前)	A-34	展開図(4)(改修後)			E-12	電話機特記仕様書		
A-13	1階平面図(改修後)	A-35	展開図(5)(改修後)			E-13	照明器具姿図(改修前)		
A-14	2階平面図(改修前)	A-36	展開図(6)(改修後)			E-14	照明器具姿図(改修後)		
A-15	2階平面図(改修後)	A-37	建具表キープラン(1階)(改修前)			E-15	電灯コンセント1階平面図(改修前)		
A-16	屋上平面図(1)	A-38	建具表キープラン(2階)(改修前)			E-16	電灯コンセント1階平面図(改修後)		
A-17	屋上平面図(2)	A-39	建具表(1)(改修前)			E-17	電灯コンセント2階平面図(改修前)		
A-18	立面図	A-40	建具表(2)(改修前)			E-18	電灯コンセント2階平面図(改修後)		
A-19	矩計図(改修前)	A-41	建具表キープラン(1階)(改修後)			E-19	自動火災報知機1階平面図(改修前)		
A-20	矩計図(改修後)	A-42	建具表キープラン(2階)(改修後)			E-20	自動火災報知機1階平面図(改修後)		
A-21	1階天井伏図(改修前)	A-43	建具表(1)(改修後)			E-21	自動火災報知機1階平面図(改修後)		
A-22	1階天井伏図(改修後)	A-44	建具表(2)(改修後)			E-22	自動火災報知機1階平面図(改修後)		

株式会社

塚田設計

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）

事務所用建物（旧保健センター）改修工事

特記仕様書（改修その1）</

	<p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P-1 E</td><td>E-1</td><td></td><td>保護層 ・ 設ける</td></tr> <tr> <td>P-2 E</td><td>E-2</td><td></td><td>保護層 ・ 設けない</td></tr> </tbody> </table> <p>・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位） 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示</p> <p>屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類 [3. 4. 2, 3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [9. 2. 1～3]</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M-4 A S</td><td>AS-T1 AS-T2 AS-J2</td><td></td><td>(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様</td><td></td><td>(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・ 設ける (脱気装置)</td></tr> <tr> <td>M-3 A S P-O A S</td><td>AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3 (POASのみ)</td><td></td><td>(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様</td><td></td><td>(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない</td></tr> <tr> <td>M-3 A S M-4 A S P-O A S</td><td>ASI-T1 ASI-J1</td><td>(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌｧｽﾀｯｸ (厚さ) ・ ・</td><td>(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない</td><td></td><td>(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない</td></tr> </tbody> </table> <p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3. 4. 1]から[表3. 4. 3]による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3. 4. 1]から[表3. 4. 3]による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3. 4. 1]から[表3. 4. 3]による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート の製造所の指定による ・ 種類 () 、設置数量 () 個／㎡ 押え金物 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 絶縁断熱工法の防湿用シート ・ 設置する ・ 設置しない (個)</p> <p>新設防水層の種類 [3. 5. 2～4][表3. 5. 1～3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [9]</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P0S S4S</td><td>S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3</td><td></td><td>(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない</td><td></td><td>(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない</td></tr> <tr> <td>S3S</td><td>S-F1 S-F2</td><td>ﾌﾟﾗｲｱｽｺﾝｸﾘｰﾄ下地</td><td>(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない</td><td></td><td>(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない</td></tr> <tr> <td>M4S</td><td>S-M1 S-M2 S-M3</td><td></td><td>(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない</td><td></td><td>(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない</td></tr> <tr> <td>P0S1 S3S1 S4S1 M4S1</td><td>S1-F1 S1-F2 S1-M1</td><td>ﾌﾟﾗｲｱｽｺﾝｸﾘｰﾄ下地</td><td>(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌｧｽﾀｯｸ (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm</td><td></td><td>(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない</td></tr> </tbody> </table> <p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない ・ S-M2で立上り面を接着工法とする場合 立上り面のシート厚(※1.5mm) ・ S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用 ※非歩行使用 ・ 軽歩行仕様 ・ S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・ 設置する ・ 設置しない)</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>平場の保護モルタル塗厚</th><th>立上り部の保護モルタル塗厚</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P-IS</td><td>S-C1</td><td></td><td>-</td><td>※7mm以下</td></tr> </tbody> </table> <p>屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合厚さ() mm 目地割リ (※2㎡程度 最大目地間隔3m程度) 目地の種類 (※押し目地) 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3. 5. 1から表3. 5. 3による ・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 絶縁用シート の材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面 若しくは両面に樹脂を積層加工したもの</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート の製造所に指定による ・ 種類 () 、設置数量 () 個／㎡</p> <p>接着工法の目地処理 P-Cコンクリート下地の場合 () P-Cコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、S1-F1の場合) ・ 行う (・ 図示) ・ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする [3. 6. 2, 3] ウレタンゴム系塗膜防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P-OX</td><td>X-K-1 X-K-2 X-1H X-2H</td><td></td><td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様 ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない</td><td>(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない</td></tr> <tr> <td>L-4X</td><td>X-K-1 X-K-2 X-1H X-2H</td><td></td><td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様 ・ 設ける ・ 設けない</td><td>(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない</td></tr> </tbody> </table>	工法	種別	施工箇所	備考	P-1 E	E-1		保護層 ・ 設ける	P-2 E	E-2		保護層 ・ 設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材 [9. 2. 1～3]	仕上塗料	備考	M-4 A S	AS-T1 AS-T2 AS-J2		(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様		(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・ 設ける (脱気装置)	M-3 A S P-O A S	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3 (POASのみ)		(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない	M-3 A S M-4 A S P-O A S	ASI-T1 ASI-J1	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌｧｽﾀｯｸ (厚さ) ・ ・	(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材 [9]	仕上塗料	備考	P0S S4S	S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3		(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない	S3S	S-F1 S-F2	ﾌﾟﾗｲｱｽｺﾝｸﾘｰﾄ下地	(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない	M4S	S-M1 S-M2 S-M3		(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない	P0S1 S3S1 S4S1 M4S1	S1-F1 S1-F2 S1-M1	ﾌﾟﾗｲｱｽｺﾝｸﾘｰﾄ下地	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌｧｽﾀｯｸ (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm		(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない	改修工法	種別	施工箇所	平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚	P-IS	S-C1		-	※7mm以下	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	P-OX	X-K-1 X-K-2 X-1H X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様 ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない	(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない	L-4X	X-K-1 X-K-2 X-1H X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様 ・ 設ける ・ 設けない	(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない	<p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による ・ 種類 () 、設置数量 () 個／㎡</p> <p>ゴムアスファルト系塗膜防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>各工程数及び各工程の使用量</th><th>保護層</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P-1 Y</td><td>※Y-2</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様</td><td>・ 設ける ・ 設けない</td></tr> <tr> <td>P-2 Y</td><td>※Y-2</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様</td><td>・ 設ける ・ 設けない</td></tr> </tbody> </table> <p>シーリング改修工法の種類 [3. 1. 4][3. 7. 2, 3, 7, 8] ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡張シーリング再充填工法 ・ プリッジ工法 ボンドブレースカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3. 7. 1による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類（記号）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サッシ窓サッシ</td><td>変成シリコーン系(MS-1)</td></tr> <tr> <td>サッシ窓タイトル</td><td>ポリウレタン系(PU-2)</td></tr> <tr> <td>タイトルタイトル</td><td>ポリウレタン系(PU-2)</td></tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・ 図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3. 7. 3(1)による ・ 図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。</p> <p>10 と い</p> <p>とその他の材質等 [3. 8. 2, 3] ※配置用銅管 経質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン 表面処理銅板（表面及び裏面の塗装の種類・ ） ・ たい受金物及び足金物の材質、形状、取付け間隔 材質 ※改修標準仕様書3. 8. 2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） 形状 ※市販品 取付け間隔 ※改修標準仕様書3. 8. 2による 多雪地域 ・ 適用する ○適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 既存のとその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ 図示 ・ 鋼管製といの防露巻き ※[表3. 8. 4]による</p> <p>ルーフドレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>呼び</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ろくろ根用たて形Ⅰ型</td><td>※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150</td><td></td></tr> <tr> <td>ろくろ根用楔形Ⅰ型</td><td>※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150</td><td></td></tr> <tr> <td>バルコニー中継用</td><td>※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100</td><td></td></tr> <tr> <td>バルコニー用</td><td>※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>たとえ受金物の取付 ※図示 ・ ルーフドレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p> <p>種類 ・ オープン形式 (・ 押出す275形 ・ 押出す300形 ・ 押出す350形) [3. 9. 2, 3] ・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅： () mm、板厚(※2.0mm () mm) 表面処理 種別 着色 ・ 標準色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) ・ 特注色 () 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲・ 図示) ・ 行わない 下地補修の工法 ※図示 ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・ 笠木の固定金具</p>	工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層	P-1 Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない	P-2 Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない	施工箇所	シーリング材の種類（記号）	サッシ窓サッシ	変成シリコーン系(MS-1)	サッシ窓タイトル	ポリウレタン系(PU-2)	タイトルタイトル	ポリウレタン系(PU-2)	種別	呼び	施工箇所	ろくろ根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150		ろくろ根用楔形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150		バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100		バルコニー用	※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100	
工法	種別	施工箇所	備考																																																																																																																																
P-1 E	E-1		保護層 ・ 設ける																																																																																																																																
P-2 E	E-2		保護層 ・ 設けない																																																																																																																																
工法	種別	施工箇所	断熱材 [9. 2. 1～3]	仕上塗料	備考																																																																																																																														
M-4 A S	AS-T1 AS-T2 AS-J2		(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様		(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・ 設ける (脱気装置)																																																																																																																														
M-3 A S P-O A S	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3 (POASのみ)		(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない																																																																																																																														
M-3 A S M-4 A S P-O A S	ASI-T1 ASI-J1	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌｧｽﾀｯｸ (厚さ) ・ ・	(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない																																																																																																																														
工法	種別	施工箇所	断熱材 [9]	仕上塗料	備考																																																																																																																														
P0S S4S	S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3		(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない																																																																																																																														
S3S	S-F1 S-F2	ﾌﾟﾗｲｱｽｺﾝｸﾘｰﾄ下地	(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない																																																																																																																														
M4S	S-M1 S-M2 S-M3		(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない		(脱気装置) ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない																																																																																																																														
P0S1 S3S1 S4S1 M4S1	S1-F1 S1-F2 S1-M1	ﾌﾟﾗｲｱｽｺﾝｸﾘｰﾄ下地	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌｧｽﾀｯｸ (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm		(種類・使用量) ※改質7ｽﾌﾟﾛｯﾄｼｰﾄの製造所の仕様 (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																														
改修工法	種別	施工箇所	平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚																																																																																																																															
P-IS	S-C1		-	※7mm以下																																																																																																																															
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考																																																																																																																															
P-OX	X-K-1 X-K-2 X-1H X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様 ・ 設ける (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・ 設けない	(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																															
L-4X	X-K-1 X-K-2 X-1H X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様 ・ 設ける ・ 設けない	(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																															
工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																																																																															
P-1 Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																															
P-2 Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																															
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																																																																																																																		
サッシ窓サッシ	変成シリコーン系(MS-1)																																																																																																																																		
サッシ窓タイトル	ポリウレタン系(PU-2)																																																																																																																																		
タイトルタイトル	ポリウレタン系(PU-2)																																																																																																																																		
種別	呼び	施工箇所																																																																																																																																	
ろくろ根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150																																																																																																																																		
ろくろ根用楔形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150																																																																																																																																		
バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100																																																																																																																																		
バルコニー用	※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100																																																																																																																																		

35 階段滑り止め	材質 ・ ステンレス製 ・ 黄銅製押出型材 (20.2.7) ・ アルミニウム製押出型材 形状 ※タイヤ型 (タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂等) ・ タイヤレス製 端部の形状 フラットエンド ・ あり ・ なし 寸法 (幅) ・ 35mm程度 ・ 40mm程度 ・ 50mm程度 取付け工法 ※接着工法 ・ 埋め込み工法	④9 屋内掲示板 既存取去	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り	・ 高日射反射塗料塗り [G] 下地調整 [7.2.2] ・ RA種 ※RB種 ・ RC種	⑧ 断熱・防露改修工事 [G]
③6 黒板及び ホワイトボード [G]	・ 黒板 区分 ※焼き付け ・ 種類 ・ ほうろう ・ 鋼製 ・ 色 ※緑 ・ ホワイトボード ()	既存取去	材質 ・ メラミン樹脂化粧板張り (芯材：集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約450 ・ 約600	⑨ 環境配慮改修工事	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4] ※F☆☆☆☆ 開口部等修繕のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工箇所 ・ ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ A種1H 厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 ・ 図示 ・ 断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 材料 ・ せっこうボード等を張り付けたパネルを使用 厚さ (mm) ・ ・ 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 ・ 断熱材へのボードの張付け工法 ・
37 表示	衝突防止表示 ・ 設置場所 ※図示による ・ 形状・寸法 (・30φ ・ 材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート) ・ 設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・ 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、 取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による) ※図示による	20.2.11	⑤2 収納家具 既存取去	特記仕様書 (改修その7～8) による	9 屋上緑化改修工事 [G]
38 タラップ	材質及び仕上げ (20.2.12) ・ SUS304 (スリッパ止め加工 ※あり ・なし) ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表 14.2.12による種別 (※C種 ・ 種))	20.2.12	⑦ 塗装改修工事	1 石綿粉じん濃度測定	⑩ 透水性アスファルト舗装改修工事
39 ブラインド	既存取去	20.2.14	① 材料	測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]	植栽基盤及び材料 [9.4.2~4] 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹根並びに種類等 ※図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・ 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 () 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年 ・
④0 ロールスクリーン	操作方法 ・ スプリング式 ○コード式 ・ 電動式 (20.2.15) 幅、高さ、取付箇所 ・ 図示 材質 ・ ガラス繊維製 ○合成・天然繊維製 品質等 ・ その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする	20.2.15	② 下地調整	② 1 石綿含有吹付け材の除去 (レベル1)	適用範囲：歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
41 カーテン	④2 カーテンレール 既存取去	20.2.16	③ 素地ごしらえ	③ 2 石綿含有吹付け材の除去 (レベル1)	適用範囲：歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス	④3 ブラインドボックス 既存取去	20.2.16	④ 錆止め塗料塗り	④ 3 石綿含有保温材等の除去 (レベル2)	適用範囲：歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
④4 天井点検口	④4 天井点検口	20.2.16	⑤ 塗装 [G]	④ 4 石綿含有成形板の除去 (レベル3)	適用範囲：歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
④5 床点検口	④5 床点検口	20.2.16	⑥ 塗装 [G]	④ 5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去 (レベル3)	適用範囲：歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
46 くつふきマット	④6 くつふきマット	20.2.16	⑦ 塗装 [G]	④ 6 PCB含有シーリング材処分	適用範囲：歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
④7 流しユニット	④7 流しユニット	20.2.16	⑧ 塗装 [G]	④ 7 外断熱改修工事 [G]	適用範囲：歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
48 鋼製書架及び物品棚	④8 鋼製書架及び物品棚	20.2.16	⑨ 塗装 [G]	④ 8 外断熱改修工事 [G]	適用範囲：歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・

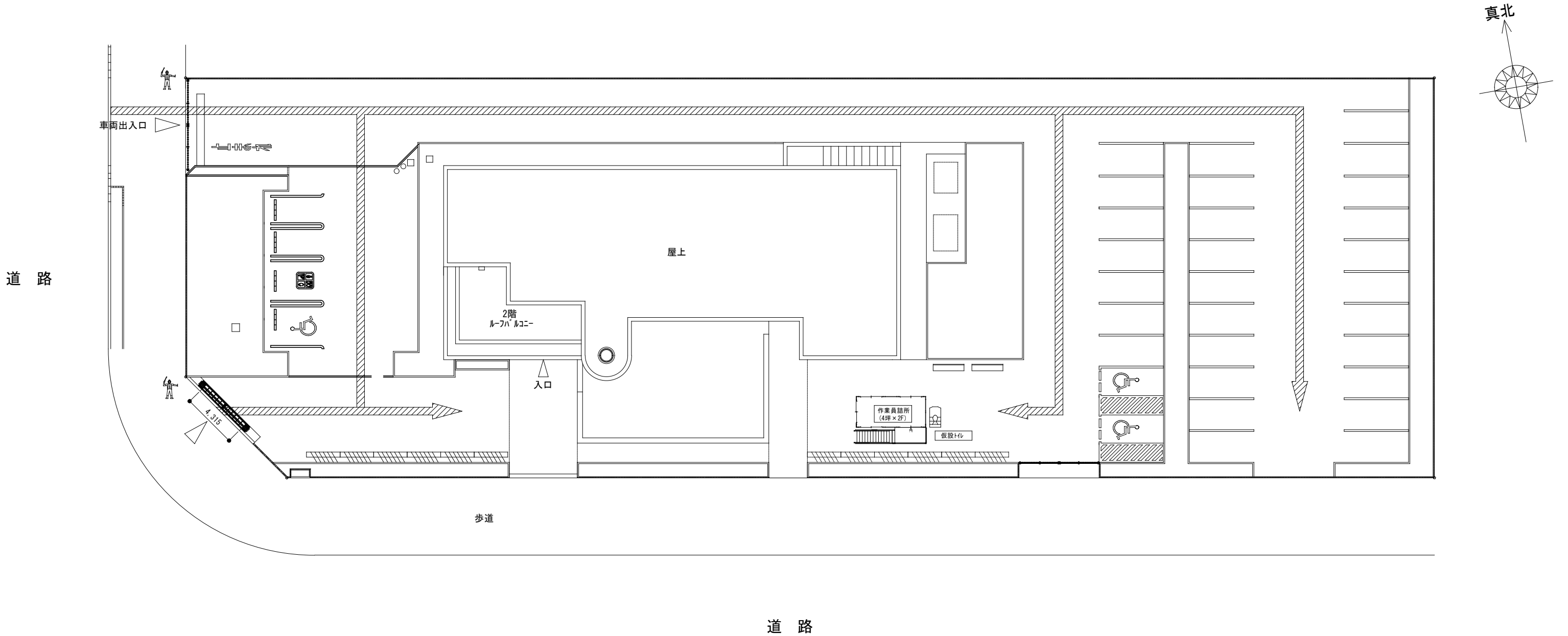
課長	副課長	主幹	主査	担当	日付	工事名	図面No.
						事務所用建物 (旧保健センター) 改修工事	A-06
						特記仕様書 (改修その5)	

⑩ 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類 呼 び 径 (mm) 備 考 ・SD295 ※ D16以下 ・SD345 ※ D19以上 ・ ・ ・ 形状等 (5.2.2) 種 類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使 用 部 位 ・溶接金網 ・鉄筋格子 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部 位 継 手 方 法 呼 び 径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※ D19以上 耐力壁の鉄筋 ・溶接継手 基礎、廊下スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ○重ね継手 継手位置 ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) ・基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 ・図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)3(1)(9)) ・図示による () 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に入れる部分の位置及び施工方法等 ・図示による () 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による () 機械式定着工法 適用箇所 ・図示による () 種類 ・摩擦圧接接合 ・蝶合グラウト固定 ・飯合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 あり 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) あり 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm ※図示による (5.3.7) 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う (全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験 (試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) ・引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)による 適用箇所 (5.5.3、5) ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 ・ 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 溶接継手 (5.5.3、5) 適用箇所 ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による () 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による ()	施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 ⑪ コンクリート工事 ① コンクリートの種類等 (6.2.1) ※Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1～6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) スランプ 適用 箇 所 ・24 2.3程度 ・15又は18 ・18 ・ ・ ・ ・ ・ 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正値 S = 3 (月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日) S = 6 (月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日) ② セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・IFLより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 (・) ③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による () 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種 別 適用 箇所 ・A種 ※図示による () ・B種 ※図示による () ・C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平たんさ 種 別 適用 箇所 ・a種 ※図示による () ・b種 ※図示による () ・c種 ※図示による () 8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による () ⑨ 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ○合板 (※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を適用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () スリーブの材質・規格等 ・図示による () 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合 (※図示による ()) 10 軽量コンクリート (6.10.1、2) 適用箇所 ・図示による () 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.11による スランプ ※21cm	適用期間 (月 日～ 月 日) (6.11.1、2) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による ()、S = () 適用期間 (月 日～ 月 日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² ・図示による ()、S = () 適用箇所 (6.13.1、2) ・図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり (・標準仕様書6.13.2(2)(7)による) ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による スランプ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.11による コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による () 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、7メー法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	⑫ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定 ※ 測定する ・測定しない 測定する場合は以下による 1 測定室 ・測定室は、監督員の指定する室 (1 室) とする。 ・図示による 2 測定時期 ※工事着手前、完了後 3 検査項目、検査方法及び判定基準 1) 検査項目は、以下ア)～カ)の6品目とする。 ア)ホルムアルデヒド イ)トルエン ウ)キシレン エ)エチルベンゼン オ)スチレン カ)パラジクロロベンゼン 2) 検査方法 ①検体の採取方法は吸引方式(アクティブ法)または拡散方式(パッシブ法)による。 ②ホルムアルデヒドについては以下のいずれかの方法による。 ・ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により行うものとする。 ・パッシブ採取機器により採取し、HPLCまたはガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはAHMTー吸光光度法(以下AHMTーAbs)のうち採取機器に適合した分析法による。 ③トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンについては以下のいずれかの、方法による。 ・固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法の3種の方法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法
--------	------	--	--	--	--

外部仕上表				
部 位 名		工 事 項 目		
		仕 上		備 考
屋 根	平 場	改 修 前	アスファルト防水の上豆砂利コンクリートt=60タッピング仕上げ+塩ビシート防水、FRP防水の改修経緯あり	
		改 修 後	既存のまま	
	立 上 り	改 修 前	アスファルト防水の上 塩ビシート防水、FRP防水の改修経緯あり	
		改 修 後	既存のまま	
外 壁	タイル貼り(深目地)仕上げ	改 修 前	タイル貼り仕上げ(深目地)	
		改 修 後	既存のまま	
	階段、軒裏・内側壁	改 修 前	モルタル金ゴテ下地吹付タイル	
		改 修 後	既存のまま	
2 階 バルコニー	平 場	改 修 前	押えコンクリート・タイル仕上げ	
		改 修 後	既存のまま	
	立 上 り	改 修 前	押えコンクリート・タイル仕上げ	
		改 修 後	既存のまま	
外部建具・ガラリ		改 修 前	アルミサッシ・アルミガラリ	
		改 修 後	(清掃・調整)	
軒 裏		改 修 前	フレキシブルボードt=4.0目透シ貼(V P)	
		改 修 後	既存のまま	


内部仕上表										
階 数	室 名	工 事 項 目								
		床		巾 木		壁		天 井		備 考
1 階	風 除 室	改 修 前	磁器質タイル	改 修 前	同 左	改 修 前	磁器質タイル	改 修 前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去)	展母棚撤去ト張替セ機材
		改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	
	ホ ー ル	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去)	改 修 前	ソフト巾木(一部磁器質タイル)	改 修 前	モルタル金ゴテ吹付タイル(一部磁器質タイル)	改 修 前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去)	壁掛時計、揭示板撤去 看板、室名札設置 吹抜手摺壁レリーフ撤去
		改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	
	事 務 室	改 修 前	ＯＡフロア・タイルカーペット(撤去)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ゴテＶＰ塗装	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去)	受付カウンターケレン清掃の上ＣＬ
	水道料金等徴収業務事務室	改 修 後	ＯＡフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上ＥＰ塗装	改 修 後	軽量鉄骨天井下地 +石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	小窓カウンター撤去・揭示黒板撤去 下がり壁撤去・ブラインド撤去
	脱衣・シャワー室	改 修 前	モザイクタイル貼・ビニル系タイル(撤去)	改 修 前	ソフト巾木(一部タイル)	改 修 前	モルタル金ゴテＶＰ塗装・半磁器質タイル(撤去)	改 修 前	軽天、フレキシブルボードt=4.0mmＶＰ塗装 アスベスト含有建材(レベル3)	棚撤去
	倉 庫 1	改 修 後	ＯＡフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上ＥＰ塗装	改 修 後	軽量鉄骨天井下地 +石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	間仕切り壁撤去
	更衣室	改 修 前	ビニル系タイル(撤去)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ゴテＶＰ塗装	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) アスベスト含有建材(レベル3)	
	書 庫	改 修 後	ＯＡフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上ＥＰ塗装	改 修 後	石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設) (下地は既存利用)	
	事 務 室	改 修 前	ＯＡフロア・タイルカーペット(撤去)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ゴテＶＰ塗装	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) アスベスト含有建材(レベル3)	
	電気操作盤室	改 修 後	ＯＡフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上ＥＰ塗装	改 修 後	軽量鉄骨天井下地 +石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm(新設)	

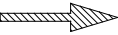
階 数	室 名	工 事 項 目								
		床		巾 木		壁		天 井		備 考
1 階	控室	改 修 前	カーペット敷き(撤去)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	ビニルクロス貼り(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	改 修 前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	家具撤去
	控室	改 修 後	長尺塩ビシート貼(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上E P 塗装	改 修 後	石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	
	給湯室1	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	改 修 前	ソフト巾木H=60	改 修 前	半磁器質タイル貼	改 修 前	軽天、ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾟｰﾄﾞt=4.0mmV P 塗装 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	吊戸棚撤去
		改 修 後	長尺塩ビシート貼(抗菌仕様)(新設)	改 修 後	既存のまま	改 修 後	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地+E P 塗装	改 修 後	石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	
	男女便所 多目的便所	改 修 前	モザイクタイル貼(一部撤去)	改 修 前	モザイクタイル(撤去)	改 修 前	半磁器質タイル貼	改 修 前	軽天、ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾟｰﾄﾞt=4.0mmV P 塗装 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	手洗いライニング撤去
		改 修 後	長尺塩ビシート貼(抗菌仕様)(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	モルタル金ｺﾞﾃ下地化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0mm	改 修 後	石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	
	歯科指導室・健康相談室	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ｺﾞﾃV P 塗装	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	手洗いカウンター撤去 事務収納・掲示板撤去
	下水道課事務室	改 修 後	O Aフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上E P 塗装	改 修 後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)	ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｵｰﾙ・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ撤去
	診察室	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ｺﾞﾃV P 塗装	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	手洗いライニング撤去 カーテンレール撤去
	水道施設課事務室	改 修 後	O Aフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上E P 塗装	改 修 後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)	ゴミ箱(2個)・滅菌機撤去
	予防接種室	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	ビニルクロス貼り(撤去)	改 修 前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	テレビ棚・掲示板撤去 家具・壁付健康器具 ブラインド撤去
	企業経営課事務室 資材倉庫	改 修 後	O Aフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上E P 塗装	改 修 後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)	
	消毒室	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ｺﾞﾃV P 塗装	改 修 前	軽天、ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾟｰﾄﾞt=4.0mmV P 塗装 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	建具更新 機械設備更新・換気扇新設
	給湯室2	改 修 後	O Aフロア・タイルカーペット(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上E P 塗装 一部化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0mm	改 修 後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)	
	室内階段	改 修 前	長尺塩ビシート貼	改 修 前	ソフト巾木H=60	改 修 前	モルタル金ｺﾞﾃ吹付タイル	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	
		改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	
2 階	廊下	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去)	改 修 前	ソフト巾木H=60	改 修 前	モルタル金ｺﾞﾃ吹付タイル	改 修 前	軽天、PBt=9.5mm下地+岩綿吸音板t=12.5mm(撤去)	キャビネット撤去(3器) ブラインド撤去
		改 修 後	長尺塩ビシート貼(新設)	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	ソファ撤去(2台)
	湯沸室	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	半磁器質タイル貼	改 修 前	軽天、ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾟｰﾄﾞt=4.0mmV P 塗装 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	吊戸棚撤去
	倉庫4	改 修 後	長尺塩ビシート貼	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	モルタル金ｺﾞﾃ下地E P 塗装	改 修 後	石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	収納棚撤去
	研修室・和室12帖	改 修 前	木下地畳敷・カーペット敷	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	ビニルクロス貼、ジュラクサテン吹付	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	長机撤去(6台)・カーテン撤去 寝具撤去(掛け敷き2組)・下駄箱撤去
	男女更衣室	改 修 後	長尺塩ビシート貼(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上E P 塗装	改 修 後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)	座布団撤去(13枚)・建具撤去
	広縁	改 修 前	木下地縁甲板張り	改 修 前		改 修 前	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼、ｼﾞｭﾗｸｻﾃﾝ吹付	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	押入内蔵物撤去・処分
	衣類乾燥室	改 修 後	長尺塩ビシート貼(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上E P 塗装	改 修 後	耐震軽量天井下地+石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)	テーブル撤去・処分
	倉庫3	改 修 前	長尺塩ビシート貼	改 修 前	ソフト巾木H=60	改 修 前	モルタル金ｺﾞﾃV P 塗装	改 修 前	軽天、ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾟｰﾄﾞt=4.0mmV P 塗装	開戸室名札更新
		改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	
	栄養指導実習室	改 修 前	長尺塩ビシート貼(撤去) ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	改 修 前	ソフト巾木H=60(撤去)	改 修 前	モルタル金ｺﾞﾃV P 塗装	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm	調理実習台撤去(3台)
	会議室4	改 修 後	長尺塩ビシート貼(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	下地調整の上E P 塗装	改 修 後	石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	黒板・掲示板・食器棚・滅菌機撤去
	会議室	改 修 前	長尺塩ビシート貼	改 修 前	ソフト巾木H=60	改 修 前	ビニルクロス貼り(一部撤去)	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm	
	会議室3	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	ビニルクロス貼り(一部新設)	改 修 後	既存のまま	
	集団指導室	改 修 前	長尺塩ビシート貼	改 修 前	ソフト巾木H=60	改 修 前	ビニルクロス貼り(撤去)	改 修 前	軽天、化粧石膏ボードt=9.5mm	
	会議室1・2	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま	改 修 後	既存のまま(一部塗装改修)	黒板・掲示板
	男女便所	改 修 前	モザイクタイル貼(一部撤去)	改 修 前	半磁器質タイル貼	改 修 前	半磁器質タイル貼	改 修 前	軽天、ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾟｰﾄﾞt=4.0mmV P 塗装 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾚﾍﾞﾙ3)	手洗いライニング撤去
		改 修 後	長尺塩ビシート貼(抗菌仕様)(新設)	改 修 後	ソフト巾木H=60(新設)	改 修 後	モルタル金ｺﾞﾃ下地化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0mm	改 修 後	石膏ボード9.5mm+ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=12mm(新設)(下地は既存利用)	



配置図(仮設計画図)

凡例

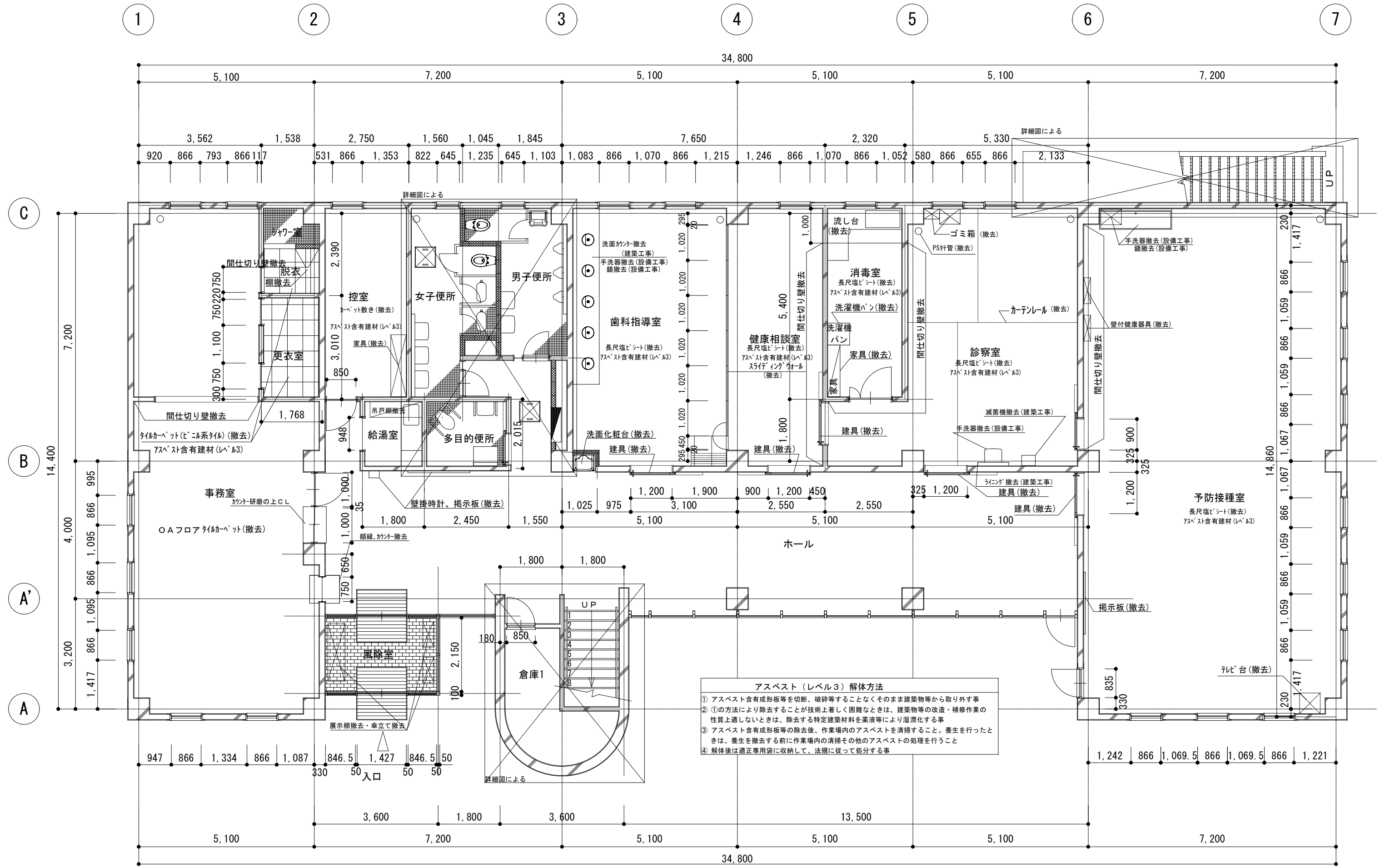
 交通警備員位置

 工事車両搬入路・作業員通路

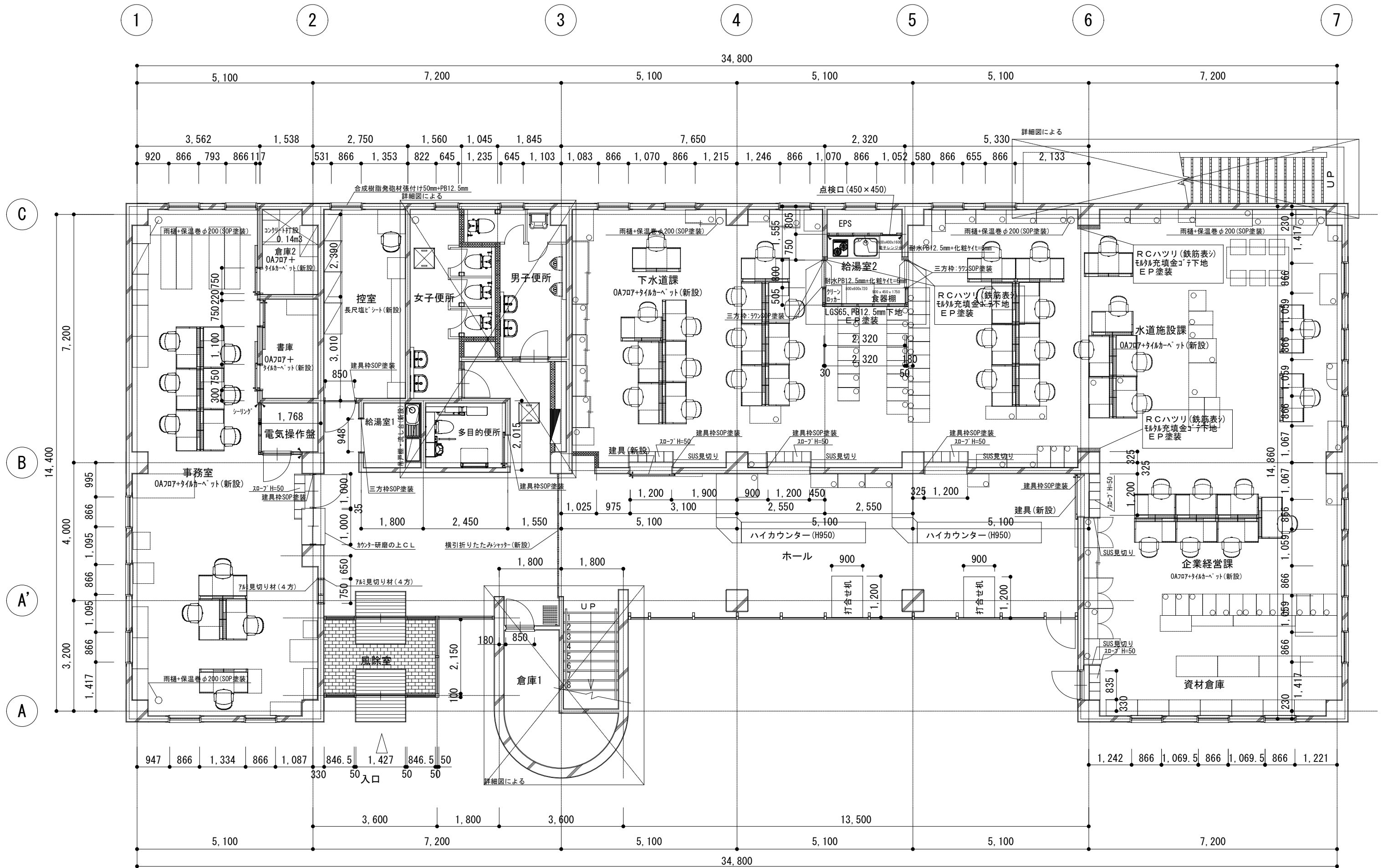
概略工程表

No	種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20
1	仮設工事																								
2	解体・撤去工事																								
3	内装改修工事																								
4	内装仕上工事																								
5	電気設備工事																								
6	機械設備工事																								
7	外構工事																								
8	検査是正																								

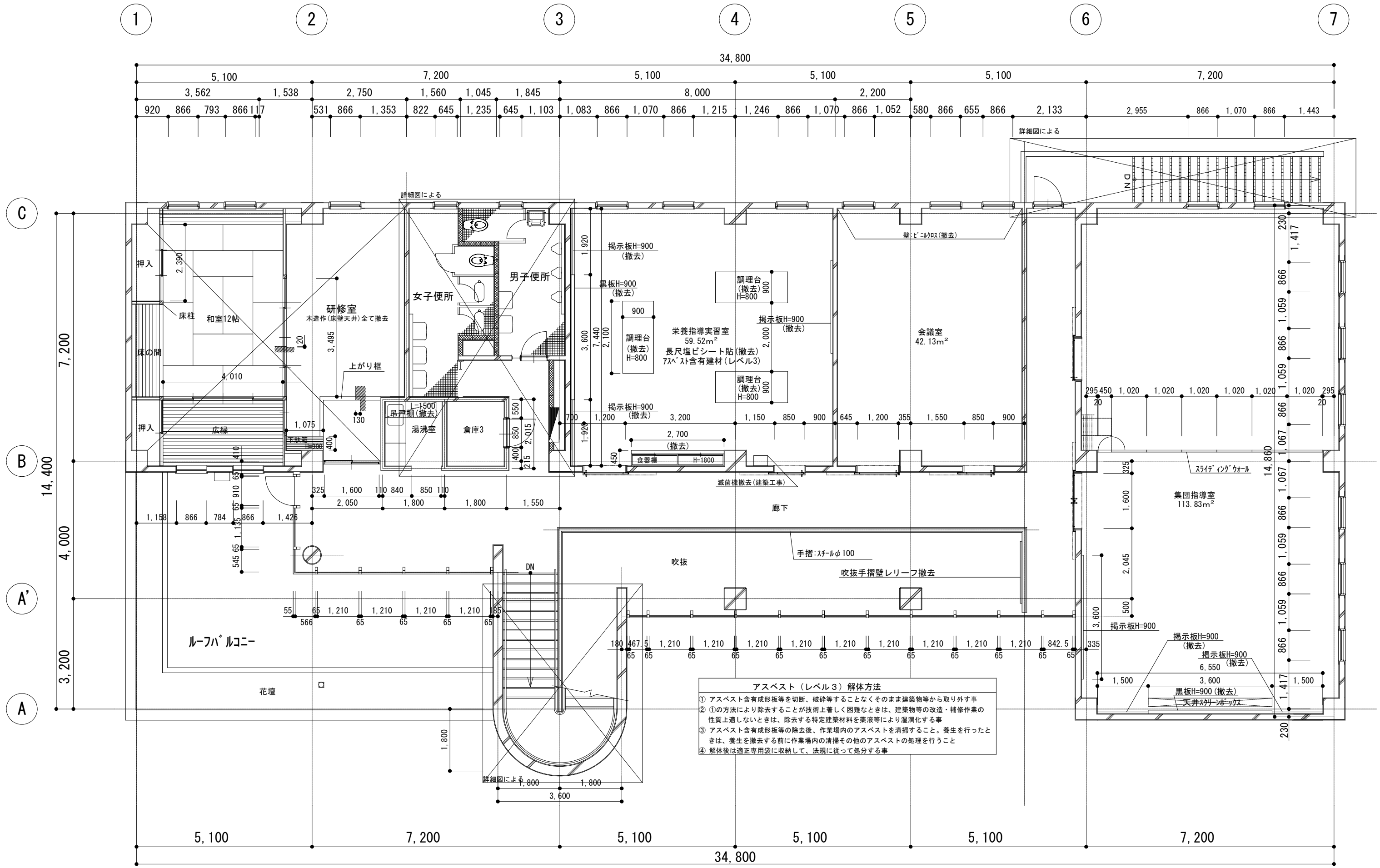
※本工程4週8休現場閉所とする



1階平面図



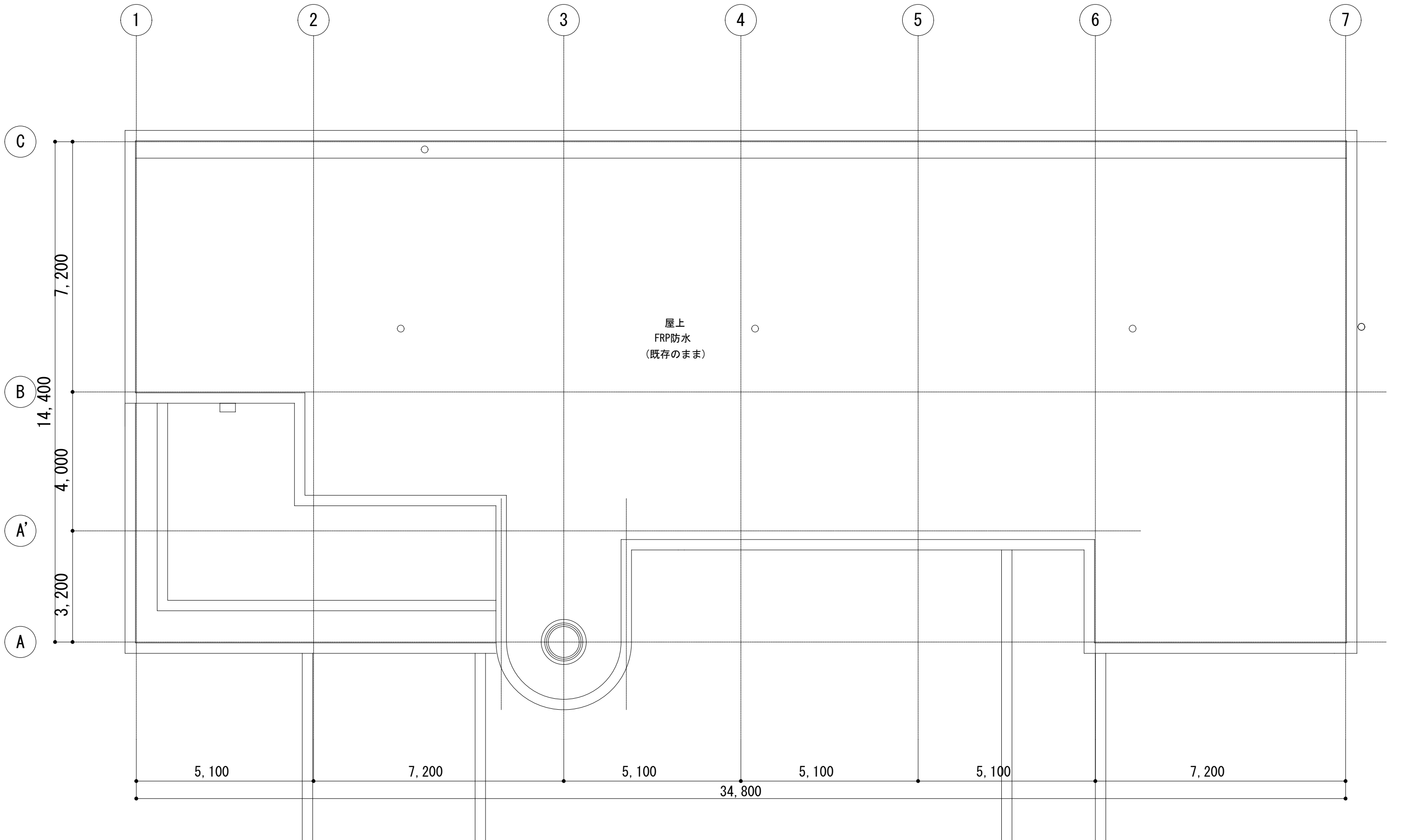
1 階平面図



アスベスト（レベル3）解体方法

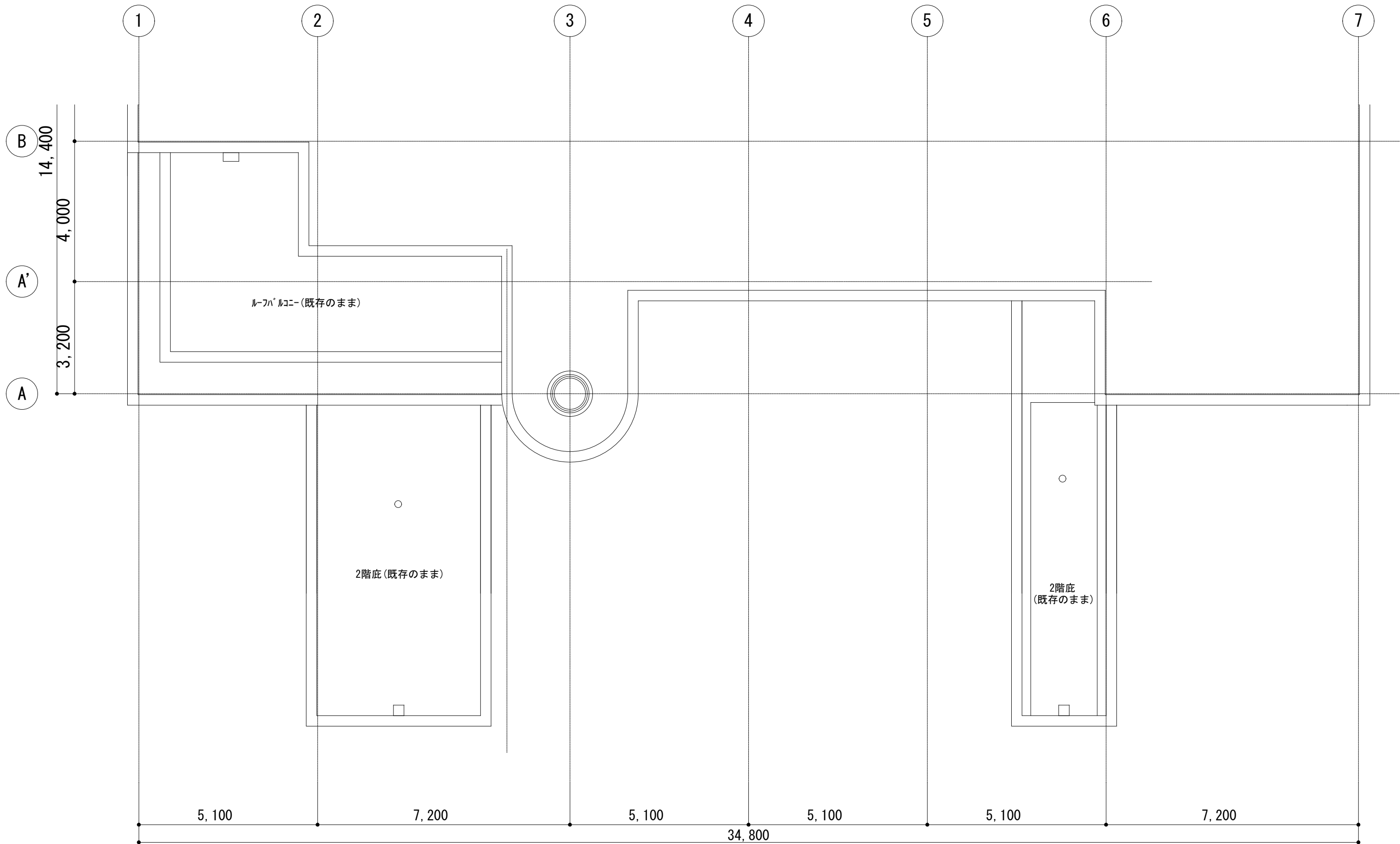
- ① アスベスト含有成形板等を切断、破砕等することなくそのまま建築物等から取り外す事
- ② ①の方法により除去することが技術上著しく困難なときは、建築物等の改造・補修作業の性質上適しないときは、除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化する事
- ③ アスベスト含有成形板等の除去後、作業場内のアスベストを清掃すること。養生を行ったときは、養生を撤去する前に作業場内の清掃その他のアスベストの処理を行うこと
- ④ 解体後は適正専用袋に収納して、法規に従って処分する事

2階平面図




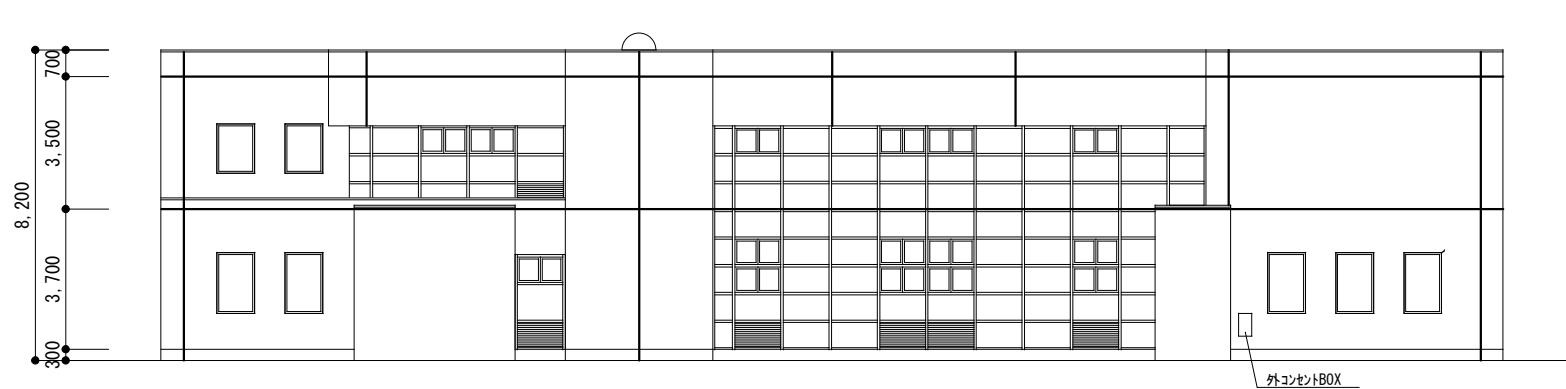
屋上平面図 S=1 : 100

MEMO		埼玉県和光市本町9番17号 株式会社 塚田設計	承認	設計	担当	製図	縮尺	工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事 図面名称 屋上平面図（1）	A-16 No.
							A1:S=1/50 A3:S=1/100		
							設計年月日		

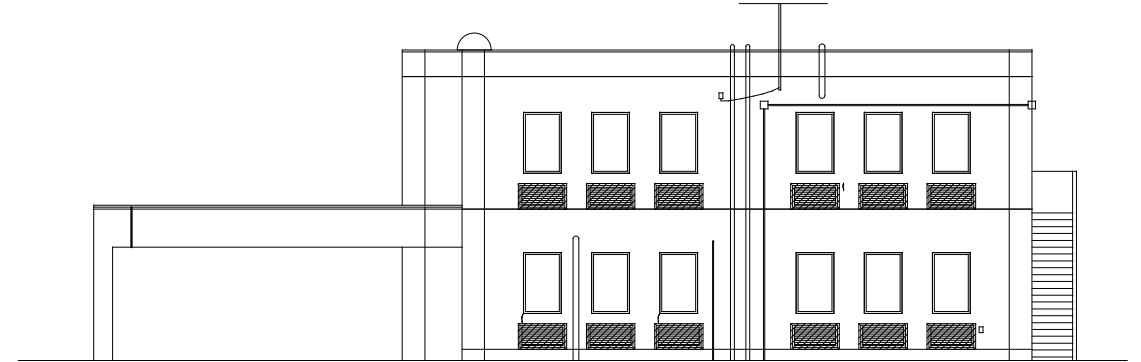


2 階屋上平面図 S=1 : 100

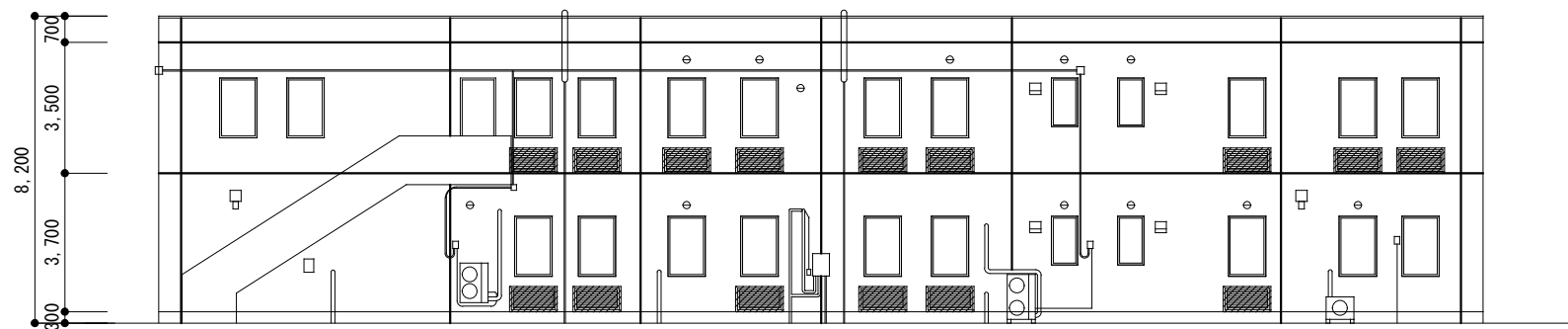
MEMO		埼玉県和光市本町 9 番 1 7 号 株式会社 塚 田 設 計	承認	設計	担当	製図	縮尺	工事名称 事務所用建物 (旧保健センター) 改修工事 図面名称 屋上平面図 (2)	A-17 No.
							A1:S=1/50 A3:S=1/100		
							設計年月日		



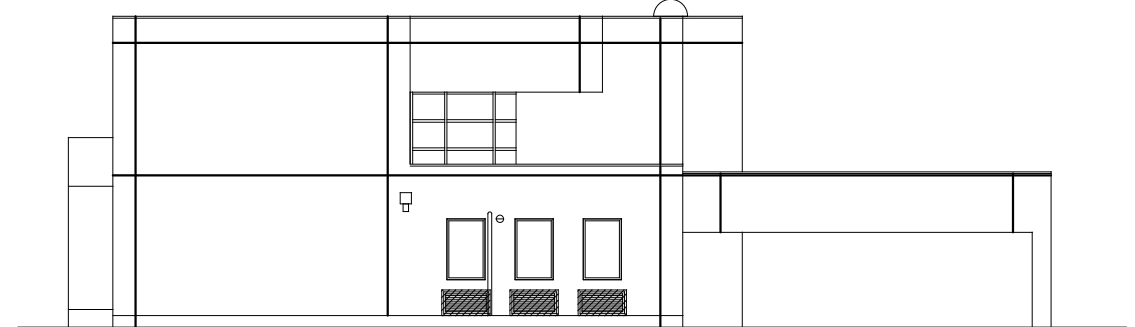
南側 立面図 S=1/200



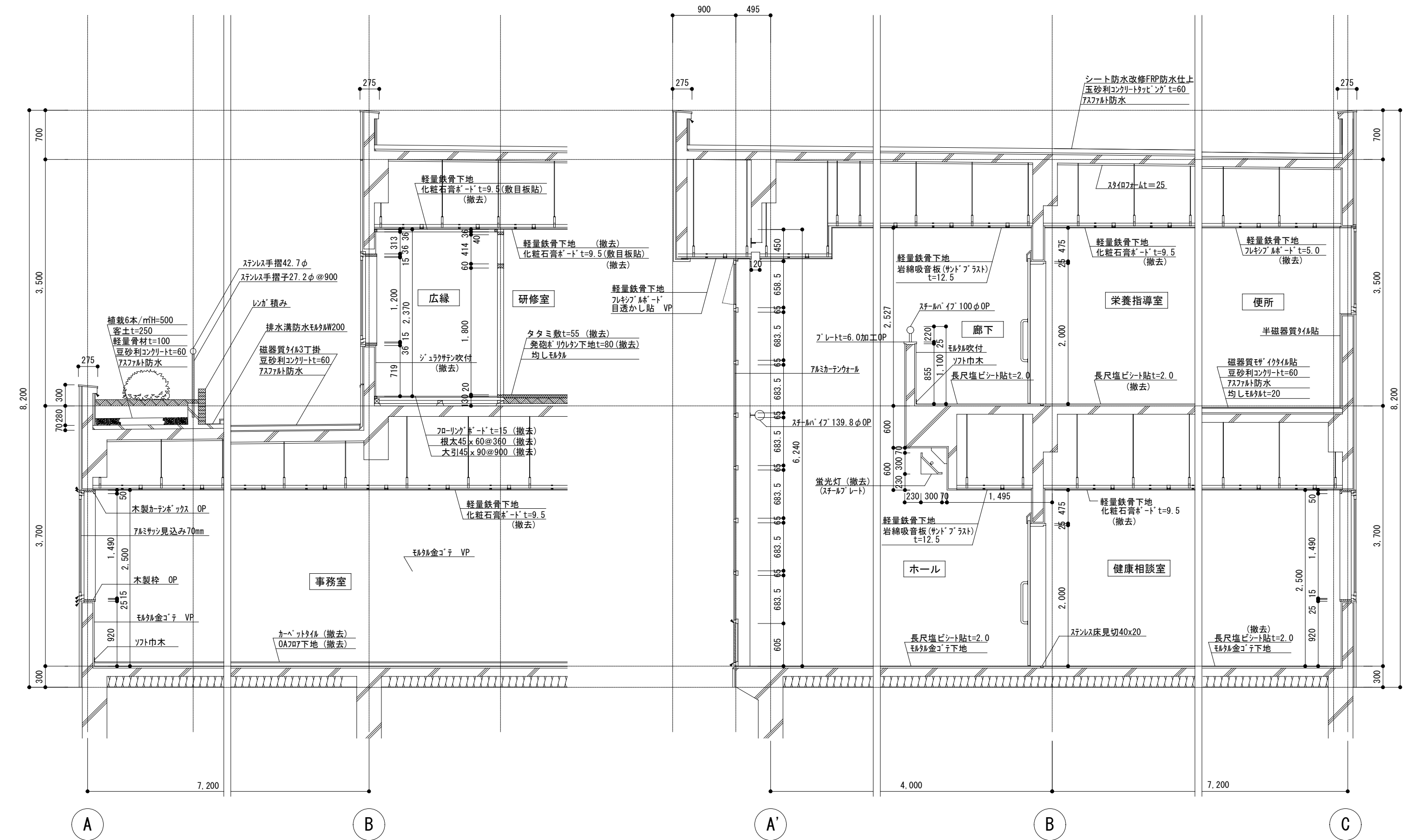
東側 立面図 S=1/200

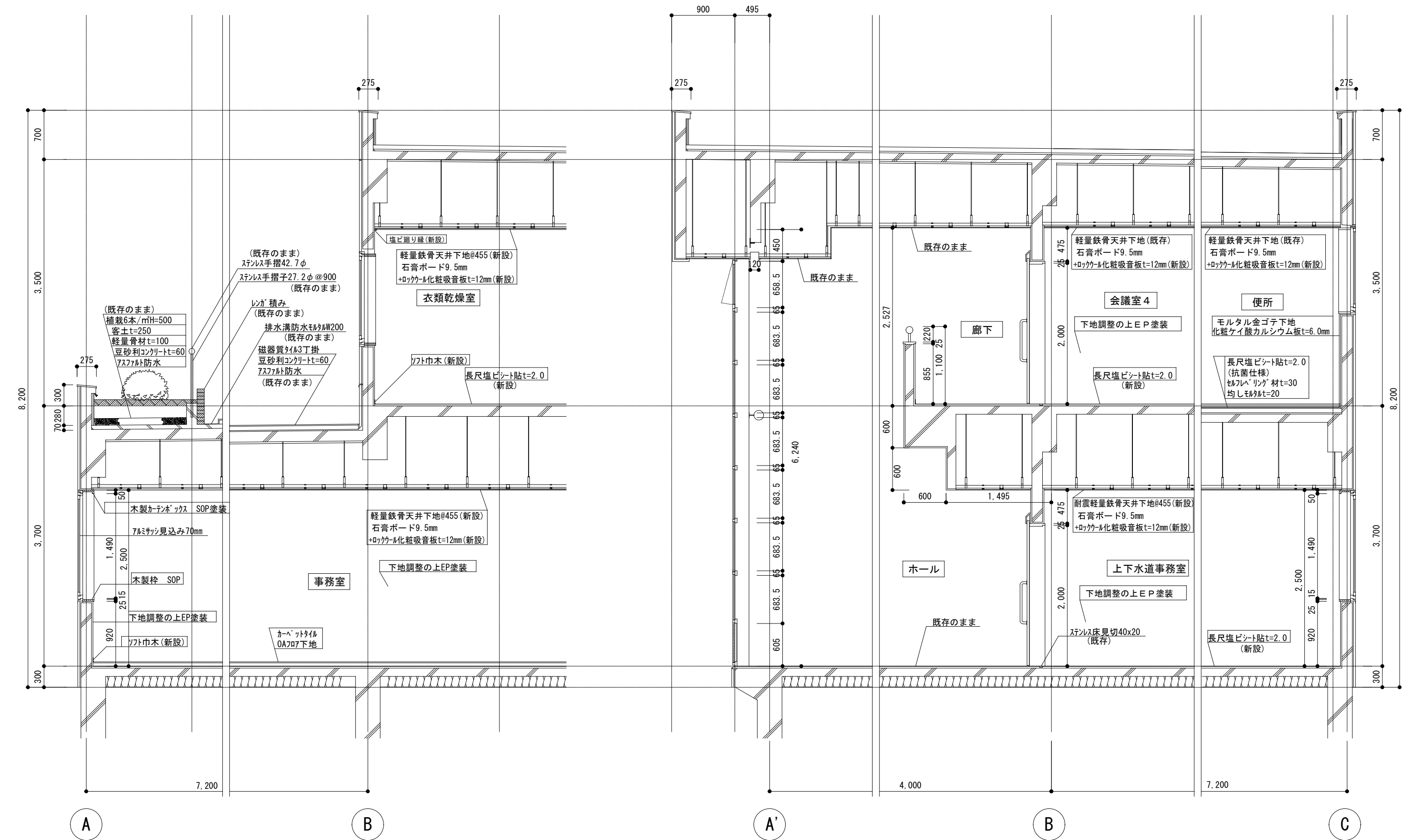


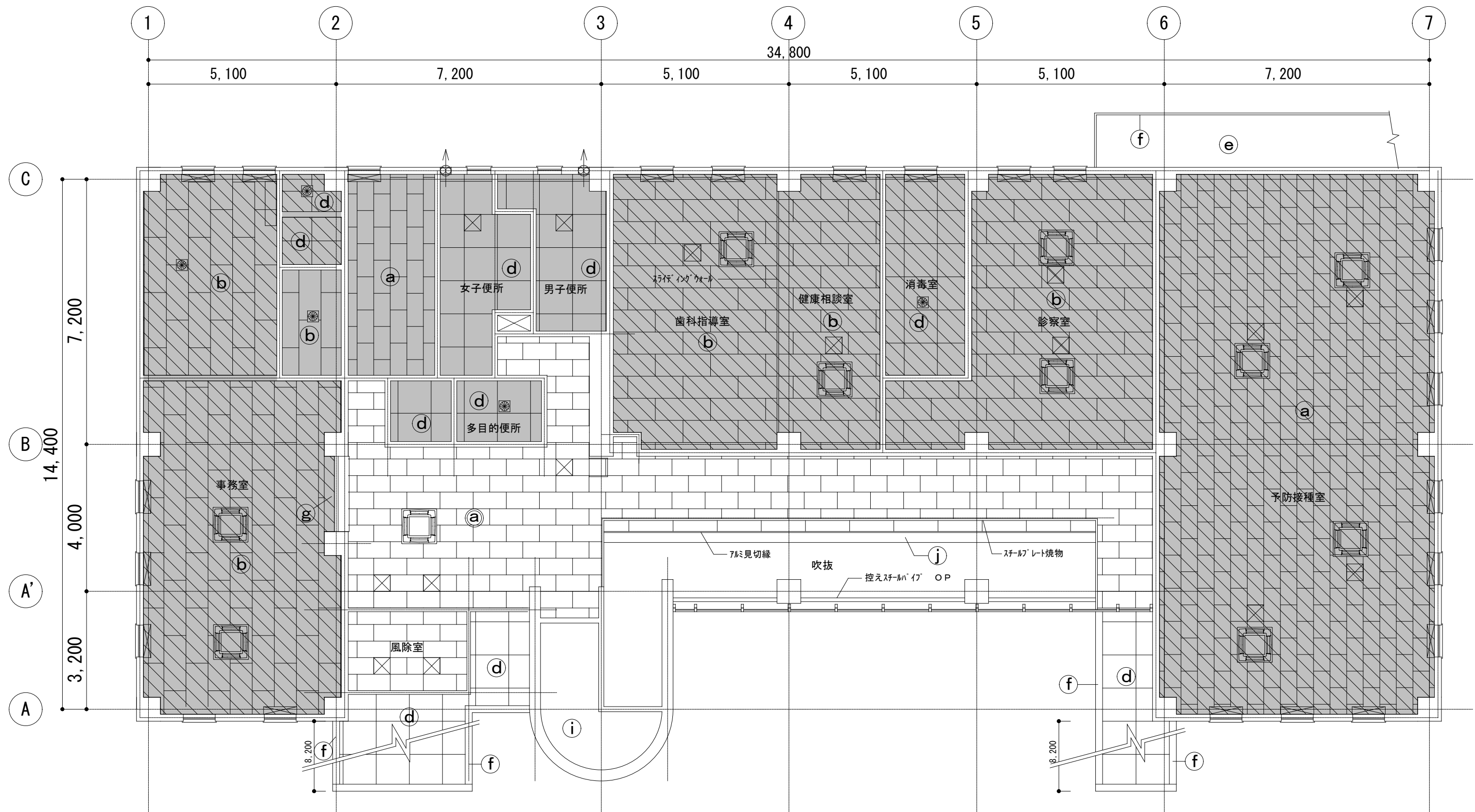
北側 立面図 S=1/200



西側 立面図 S=1/200



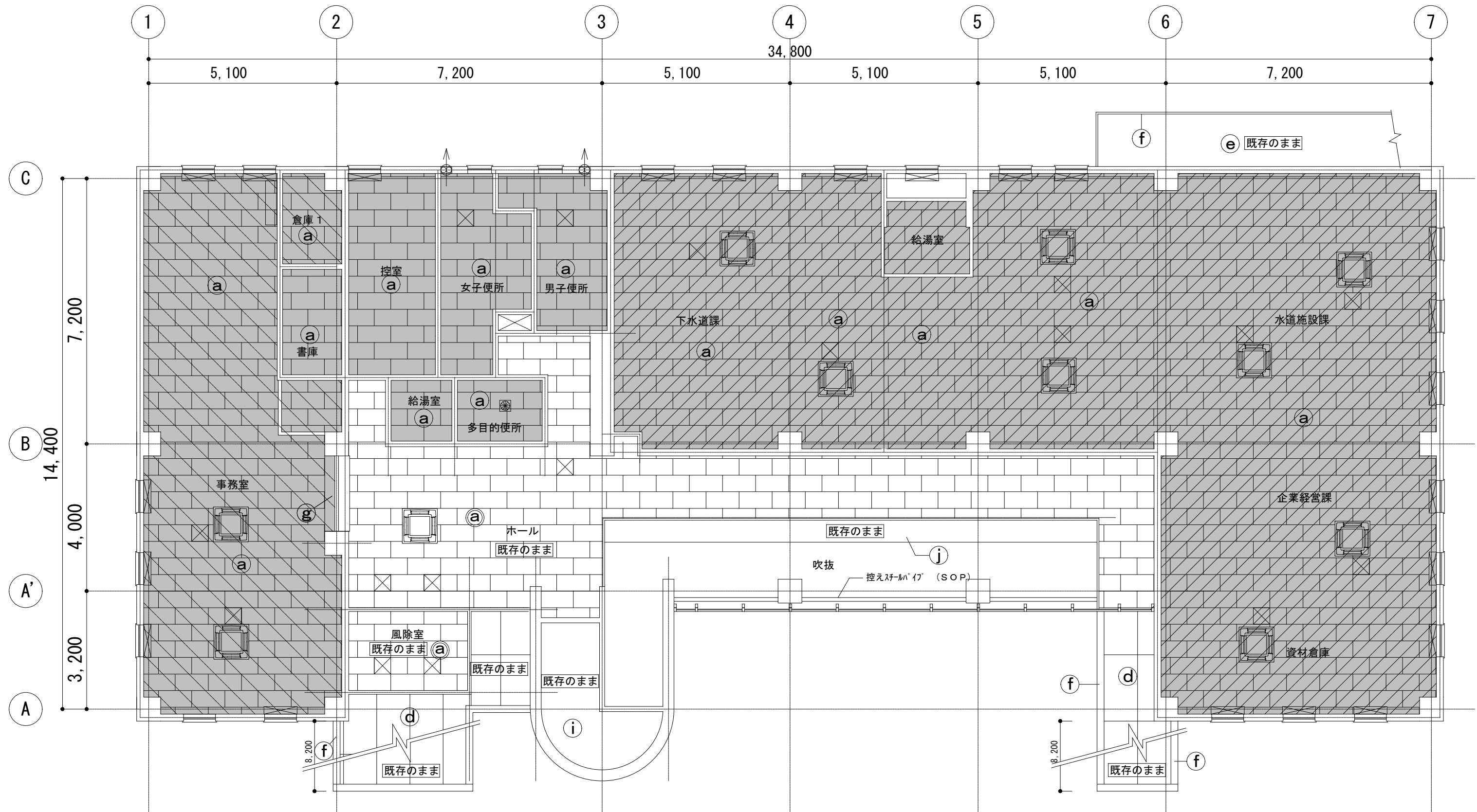






1階天井伏図 S=1:100

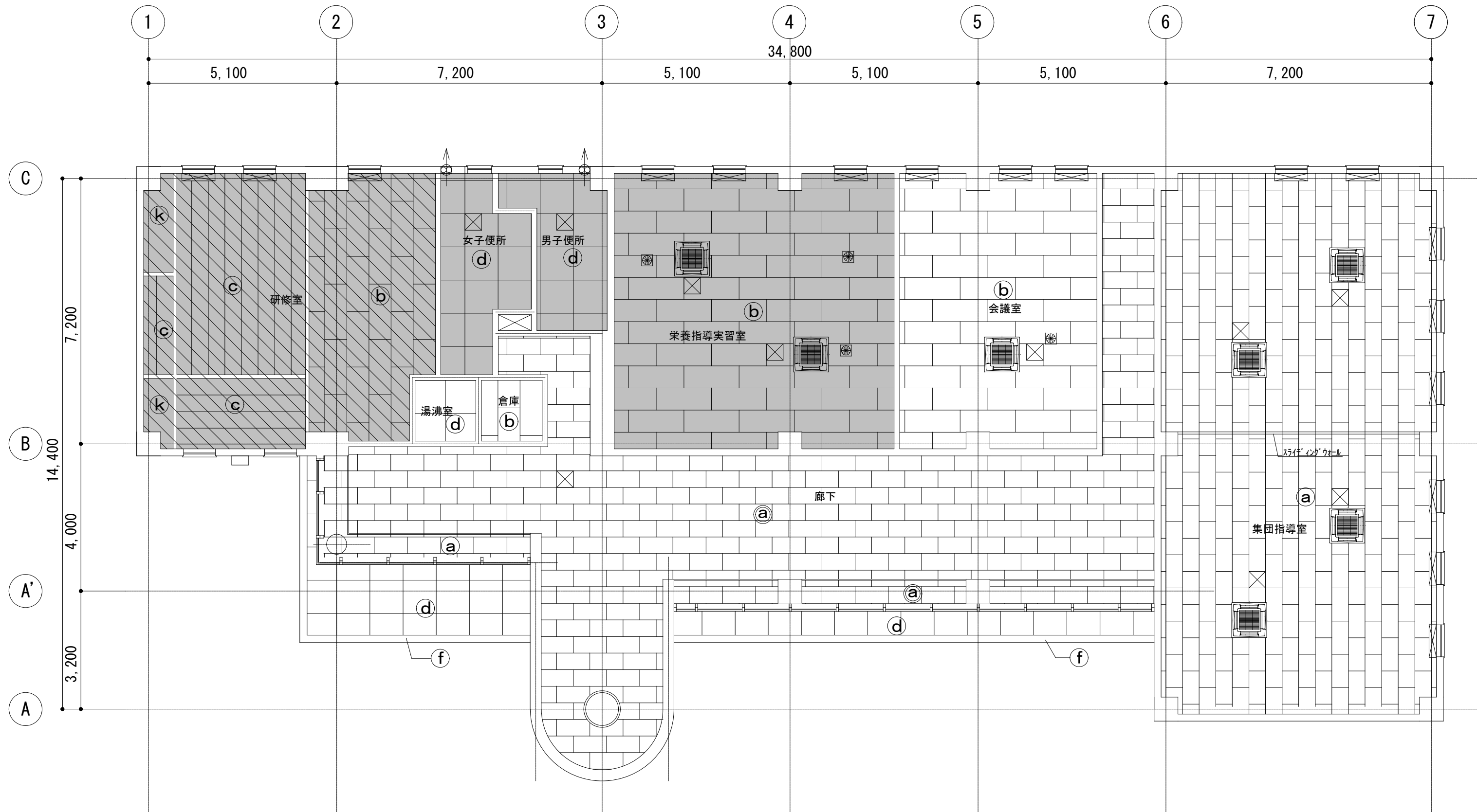
a	岩綿吸音板 t=12.5	7スチール含有建材 (レベル3)	g	モルタル金ゴテ VP
b	化粧石膏ボードt=9.5	7スチール含有建材 (レベル3)	h	ラワンビニヤ貼 t=4.0
c	化粧石膏ボードt=9.5 (敷目板貼)		i	コンクリート打放シ
d	フレキシブルボードt=4.0目透シ貼 (VP)	7スチール含有建材 (レベル3)	j	モルタル金ゴテ吹付タイル
e	コンクリート打放シ 吹付タイル		a	PB t=12.5+岩綿吸音板 t=12.5 (サンドブラスト)
f	磁器質タイル貼			

- 天井材撤去部分を示す
- 軽量鉄骨天井下地撤去部分を示す
- カーテンボックス:ラワンt=21 OP
- 天井点検口 アルミ枠450×450



1階天井伏図 S=1:100

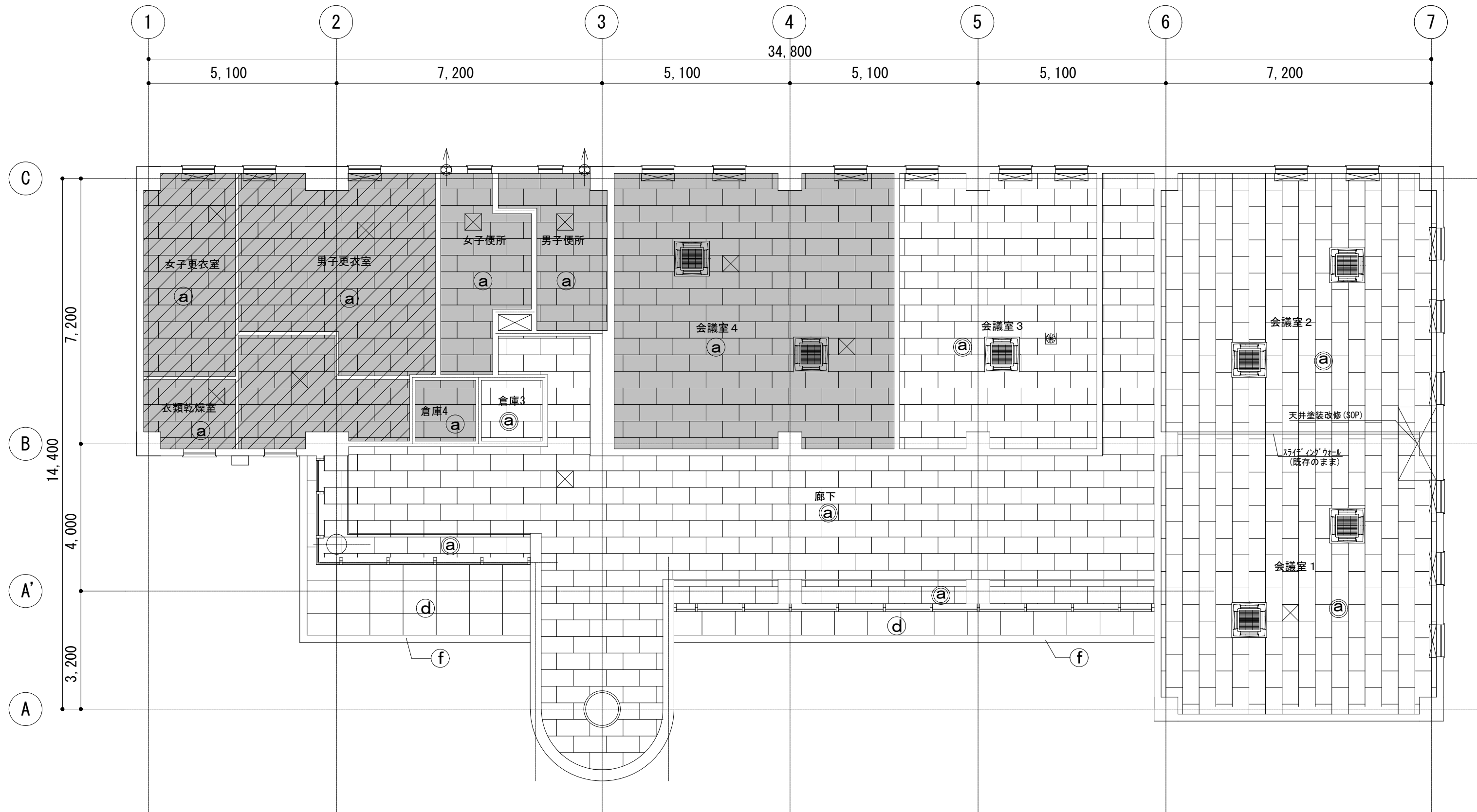
<div>(a) 石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm (新設)</div>		<div>(g) モルタル金ゴテ SOP</div>				<div>天井材改修部分を示す</div>		<div>カーテンボックス:ラワンt=21 SOP</div>	
<div>(b) 化粧石膏ボードt=9.5</div>		<div>(h) ラワンビニヤ貼 t=4.0</div>						<div>天井点検口 アルミ枠450×450</div>	
<div>(c) 化粧石膏ボードt=9.5(敷目板貼)</div>		<div>(i) コンクリート打放シ</div>		<div>既存のまま</div>		<div>軽天下地改修範囲を示す</div>		<div>(天井改修部分のみ新設)</div>	
<div>(d) ケイ酸カルシウム板t=4mm</div>		<div>(j) モルタル金ゴテ吹付タイル</div>							
<div>(e) コンクリート打放シ 吹付タイル</div>		<div>(a) PB t=12.5+岩綿吸音板 t=12.5 (サンドブラスト)</div>		<div>既存のまま</div>		<div>軽天下地改修範囲を示す(耐震天井)</div>			
<div>(f) 磁器質タイル貼</div>				<div>既存のまま</div>					
<div>MEMO</div>				<div>埼玉県和光市本町9番17号</div>				<div>承認 設計 担当 製図</div>	
<div></div>				<div>株式会社 塚田設計</div>				<div>縮尺 A1:S=1/50 A3:S=1/100</div>	
<div></div>				<div></div>				<div>工事名称 事務所用建物(旧保健センター)改修工事</div>	
<div></div>				<div></div>				<div>図面名称 1階天井伏図(改修後)</div>	
<div></div>				<div></div>				<div>No.</div>	
<div></div>				<div></div>				<div>A-22</div>	



2階天井伏図 S=1:100

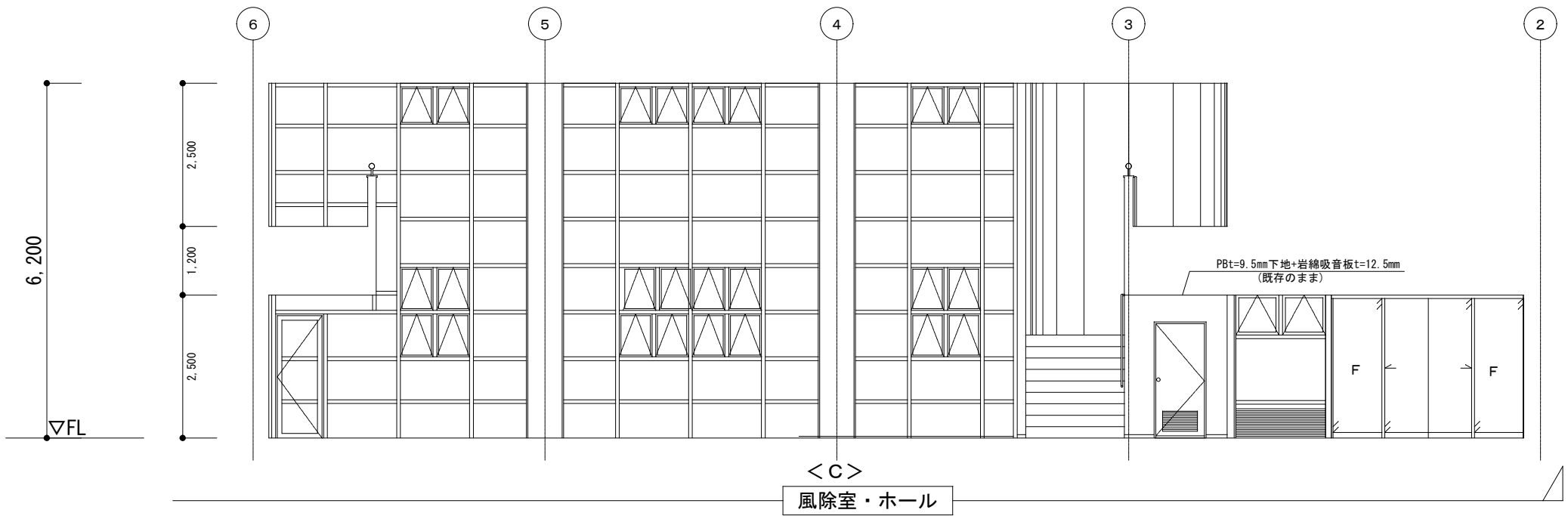
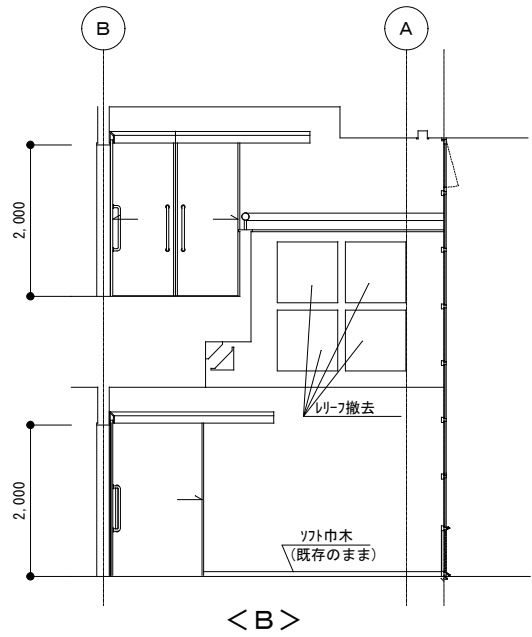
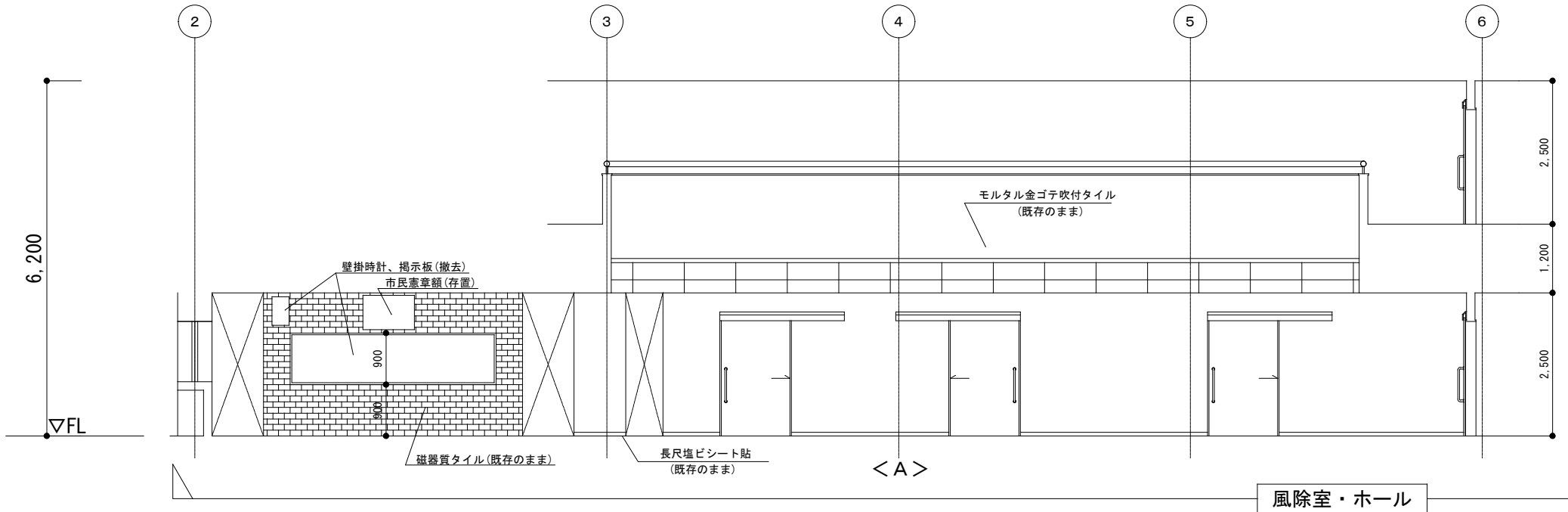
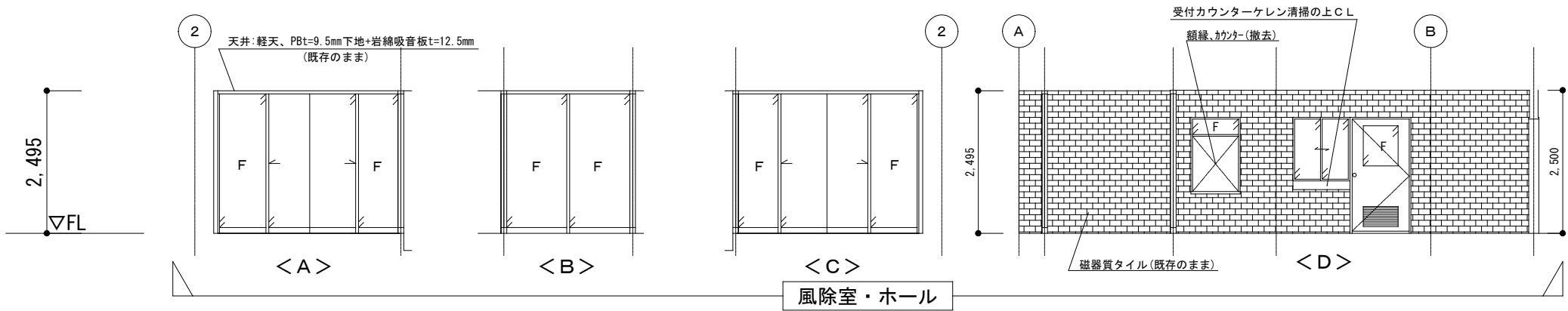
a	岩綿吸音板 t=12.0	(撤去)	7スベスト含有建材 (レベル3)	g	モルタル金ゴテ VP		
b	化粧石膏ボードt=9.0	(撤去)	7スベスト含有建材 (レベル3)	h	ラワンビニヤ貼 t=4.0	(撤去)	
c	化粧石膏ボードt=9.0(敷目板貼)	(撤去)	7スベスト含有建材 (レベル3)	i	コンクリート打放シ		
d	フレキシブルボードt=4.0目透シ貼 (VP)	(撤去)	7スベスト含有建材 (レベル3)	j	モルタル金ゴテ吹付タイル		
e	コンクリート打放シ 吹付タイル			a	岩綿吸音板 t=12.0(サンドブラスト)	(撤去)	7スベスト含有建材 (レベル3)
f	磁器質タイル貼						

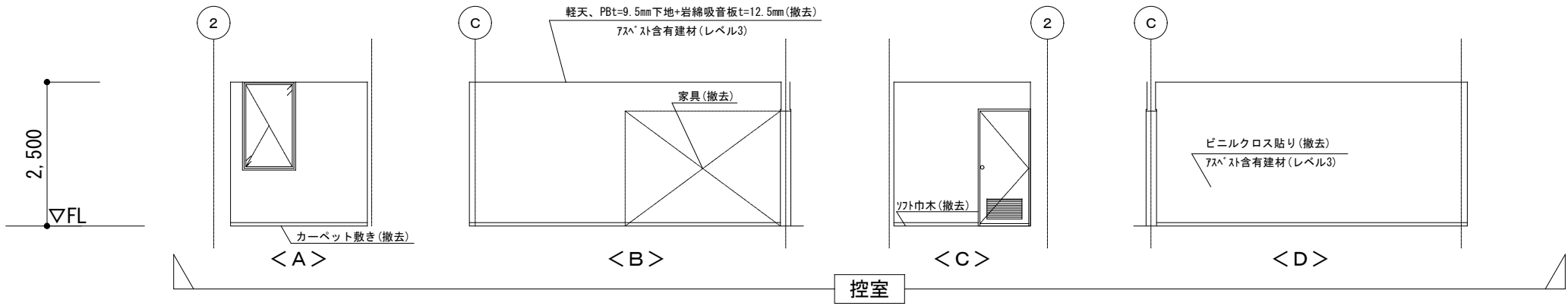
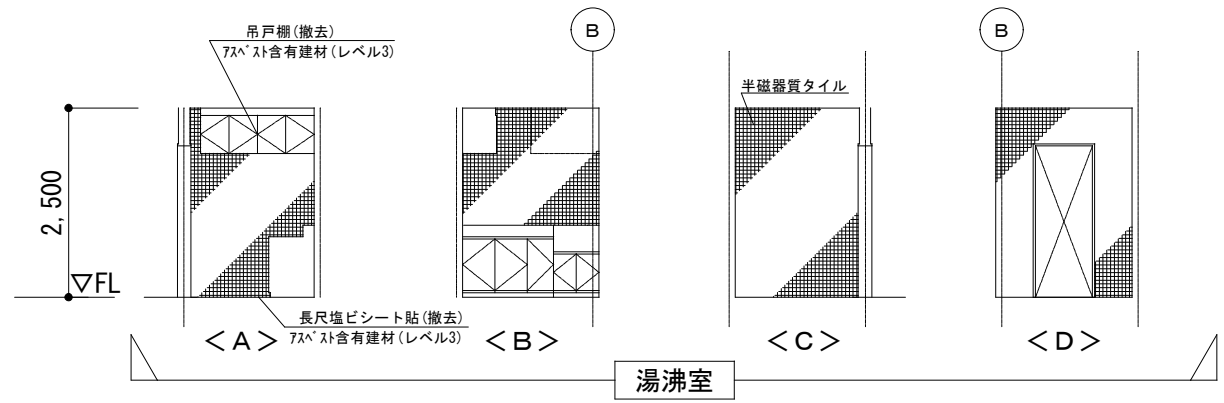
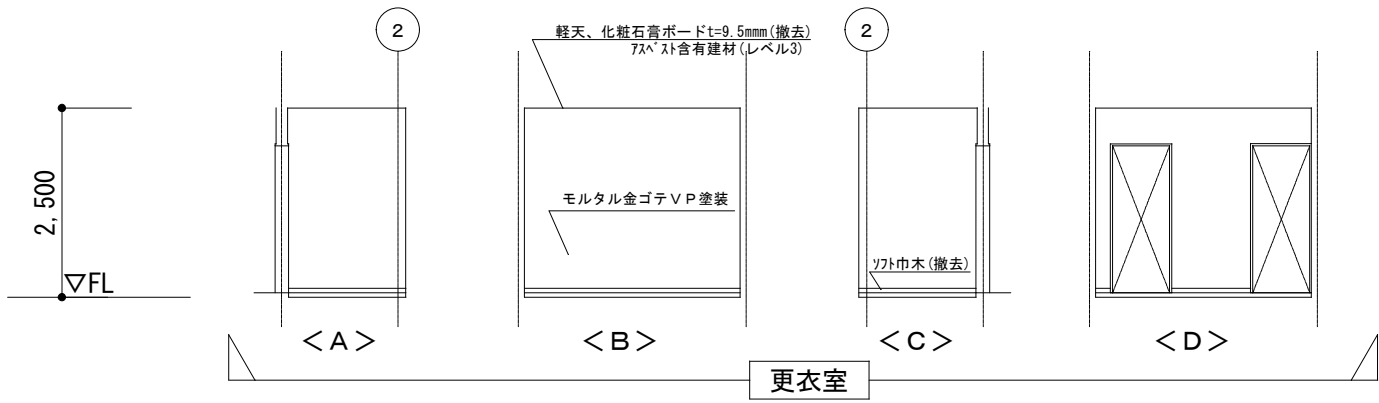
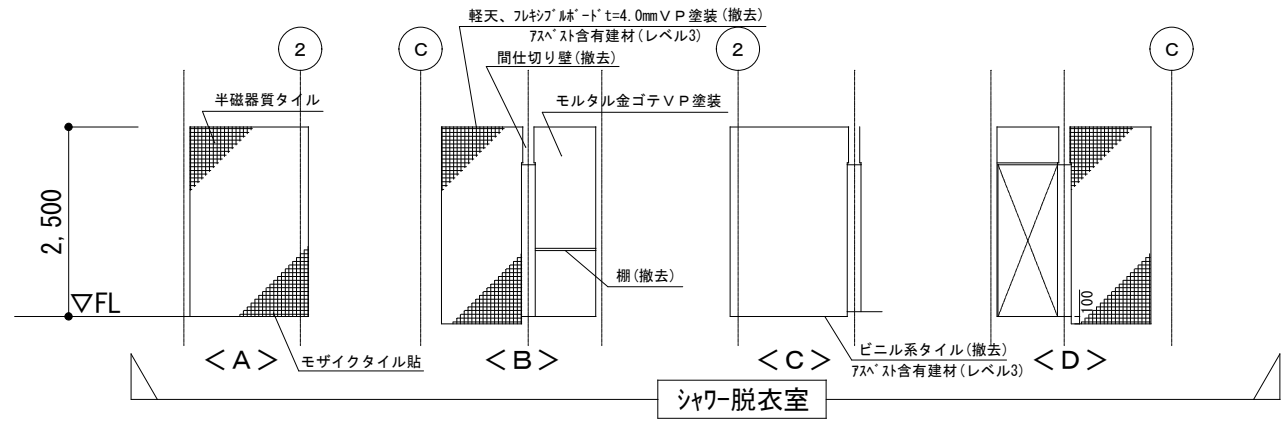
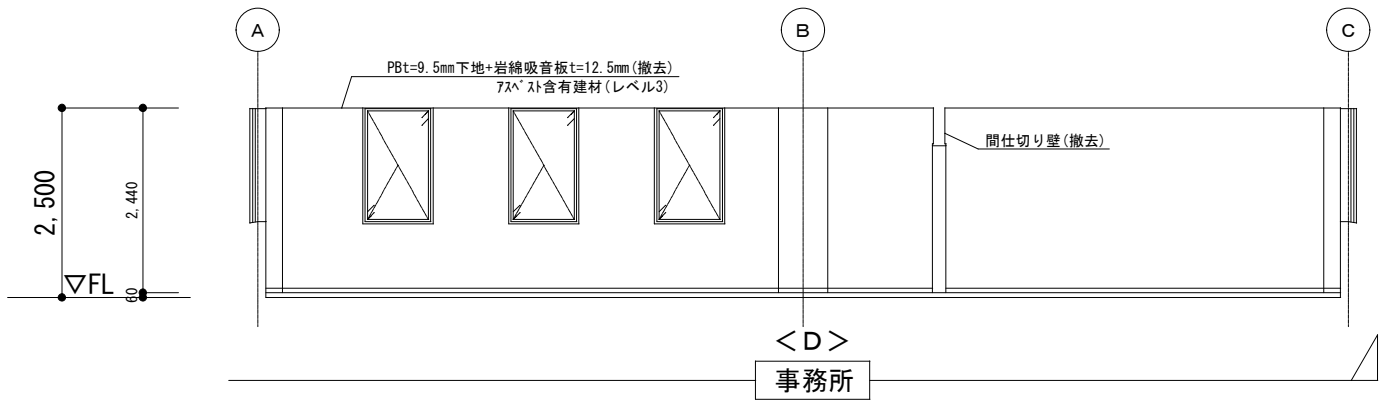
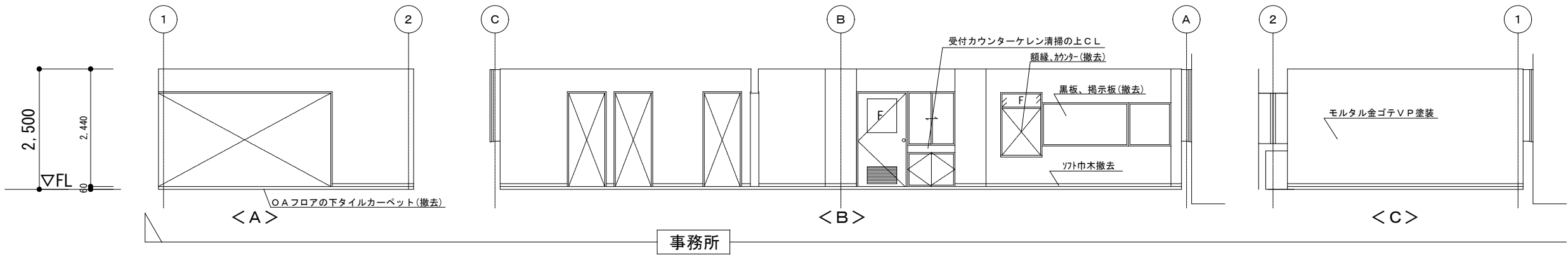
- 天井材撤去部分を示す
- 軽量鉄骨天井下地撤去部分を示す
- カーテンボックス:ラワンt=21 OP
- 天井点検口 アルミ枠450×450

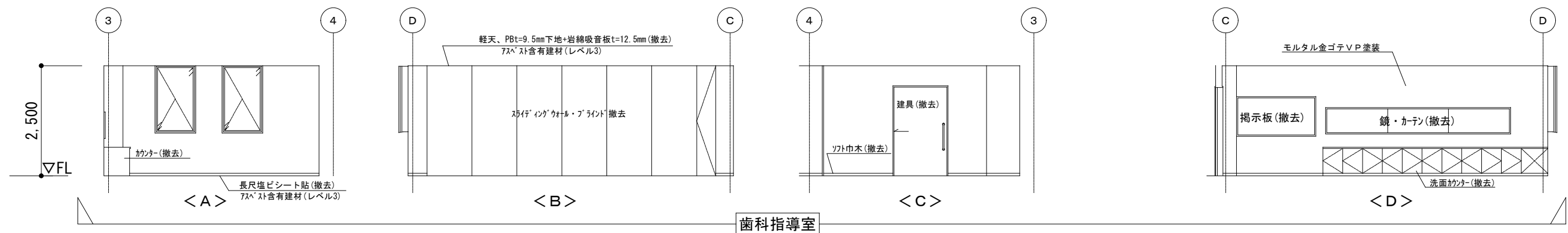
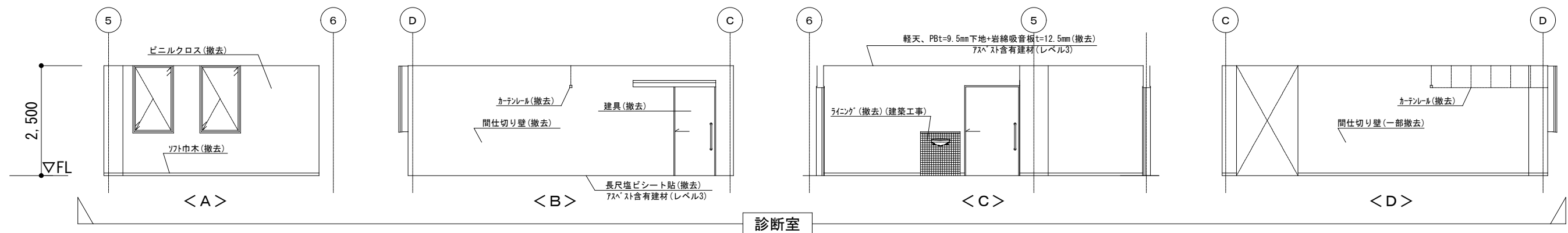
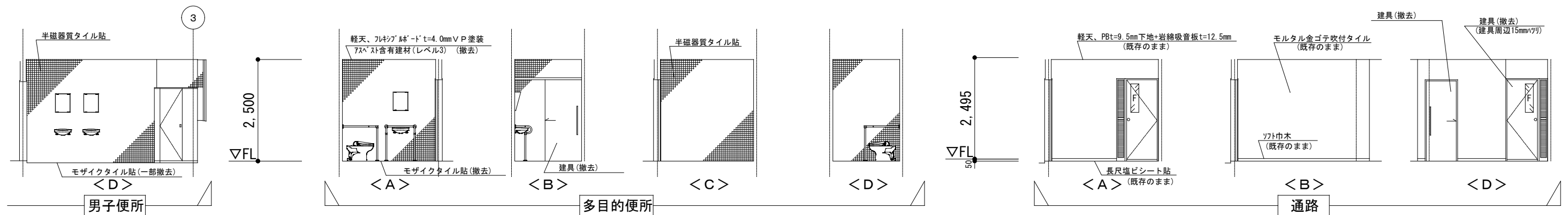
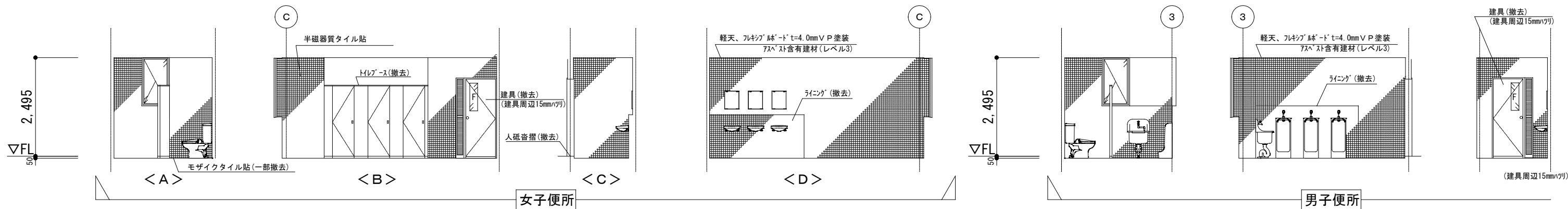


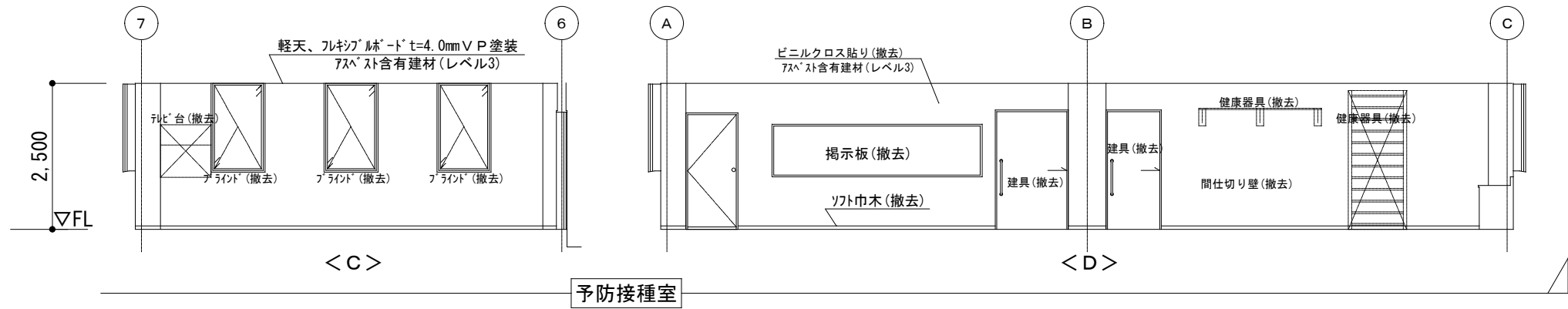
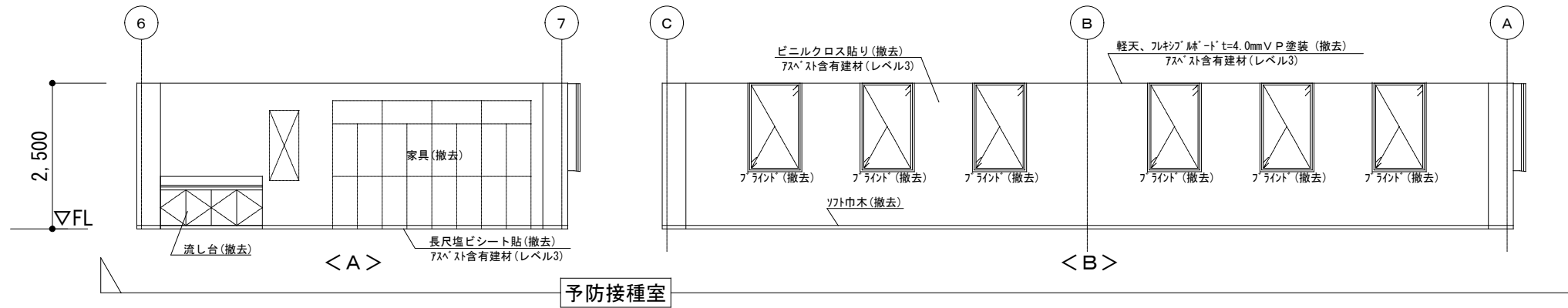
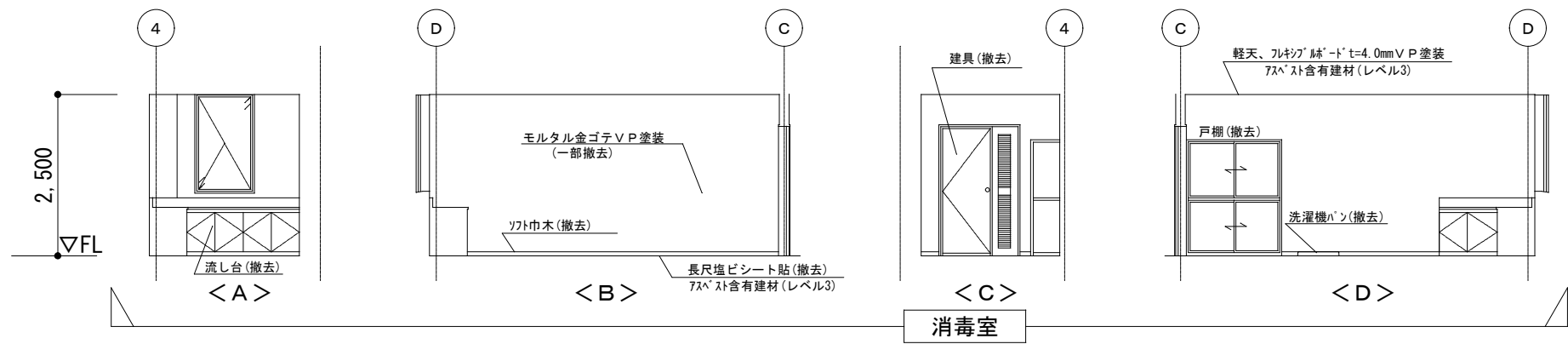
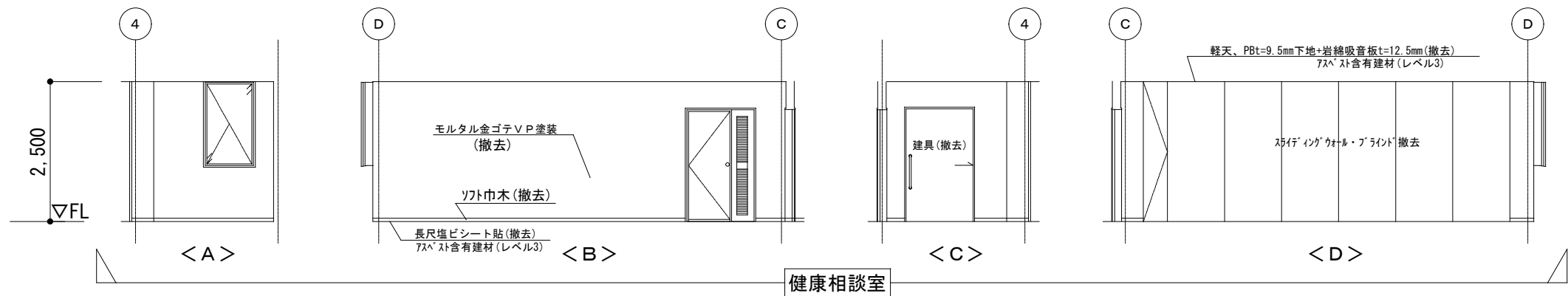
2階天井伏図 S=1 : 100

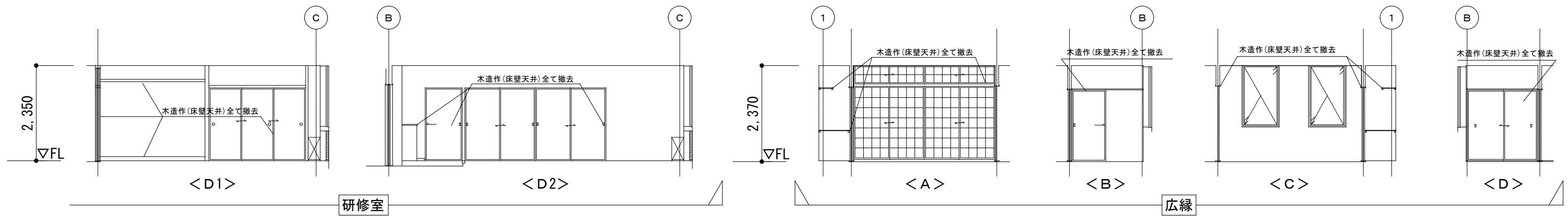
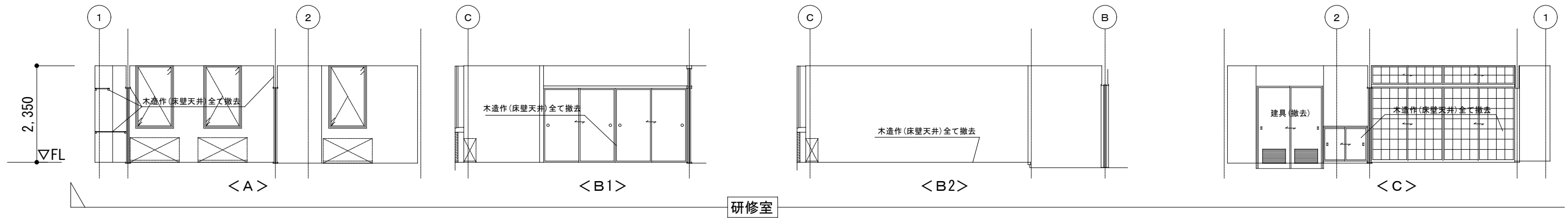
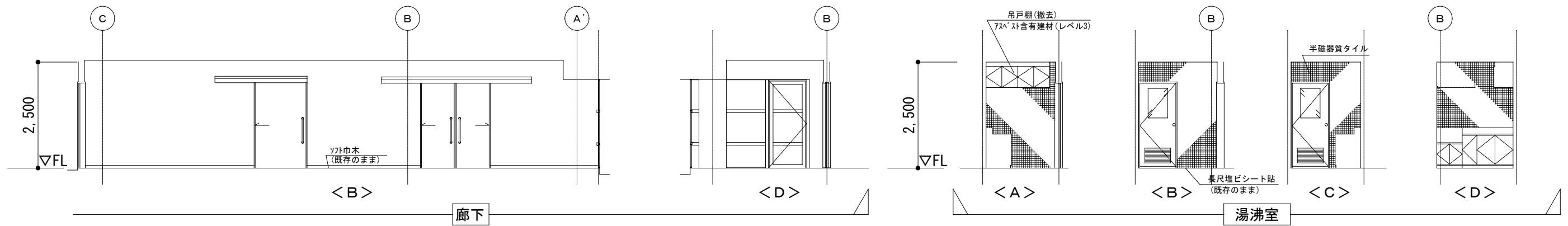
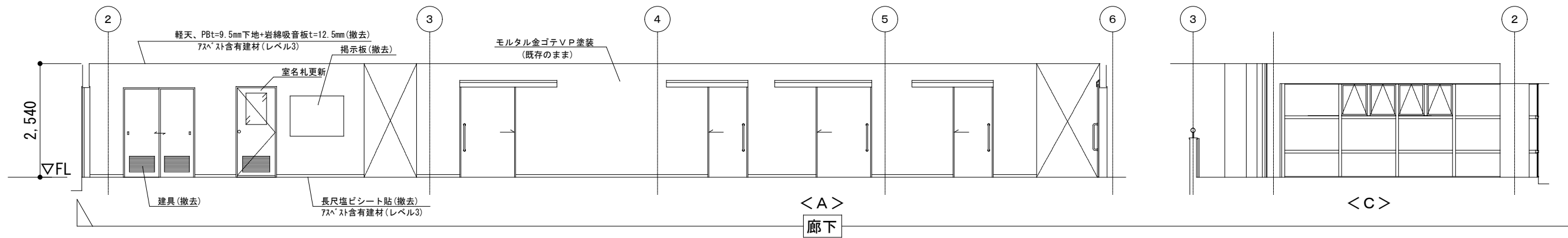
<div><div><div>a</div><div>石膏ボード9.5mm+ロックウール化粧吸音板t=12mm</div><div>(新設)</div></div><div><div>a'</div><div>岩綿吸音板 t=12.5</div><div></div></div><div><div>c</div><div>化粧石膏ボードt=9.5(敷目板貼)</div><div></div></div><div><div>d</div><div>ケイ酸カルシウム板t=4mm</div><div></div></div><div><div>e</div><div>コンクリート打放シ 吹付タイル</div><div>既存のまま</div></div><div><div>f</div><div>磁器質タイル貼</div><div>既存のまま</div></div></div>		<div><div><div>g</div><div>モルタル金ゴテ S O P</div></div><div><div>h</div><div>ラワンビニヤ貼 t=4.0</div></div><div><div>i</div><div>コンクリート打放シ</div><div>既存のまま</div></div><div><div>j</div><div>モルタル金ゴテ吹付タイル</div><div>S O P塗装</div></div><div><div>a</div><div></div><div></div></div></div>		<div><div><div></div><div>天井材改修部分を示す</div></div><div><div></div><div>軽天下地改修範囲を示す</div></div><div><div></div><div>軽天下地改修範囲を示す(耐震天井)</div></div></div> <div><div><div></div><div>カーテンボックス:ラワンt=21 S O P</div></div><div><div></div><div>天井点検口 アルミ枠450×450 (天井改修部分のみ新設)</div></div></div>					
<div><div>MEMO</div><div></div><div></div><div></div></div>		<div><div><div></div><div>埼玉県和光市本町9番17号</div><div>株式会社 塚 田 設 計</div></div></div>		<div><div>承認</div><div>設計</div><div>担当</div><div>製図</div><div>縮尺</div><div>A1:S=1/50 A3:S=1/100</div><div>設計年月日</div></div>		<div><div>工事名称</div><div>事務所用建物(旧保健センター)改修工事</div><div>図面名称</div><div>2階天井伏図(改修後)</div></div>		<div><div>A-24</div><div>No.</div></div>	

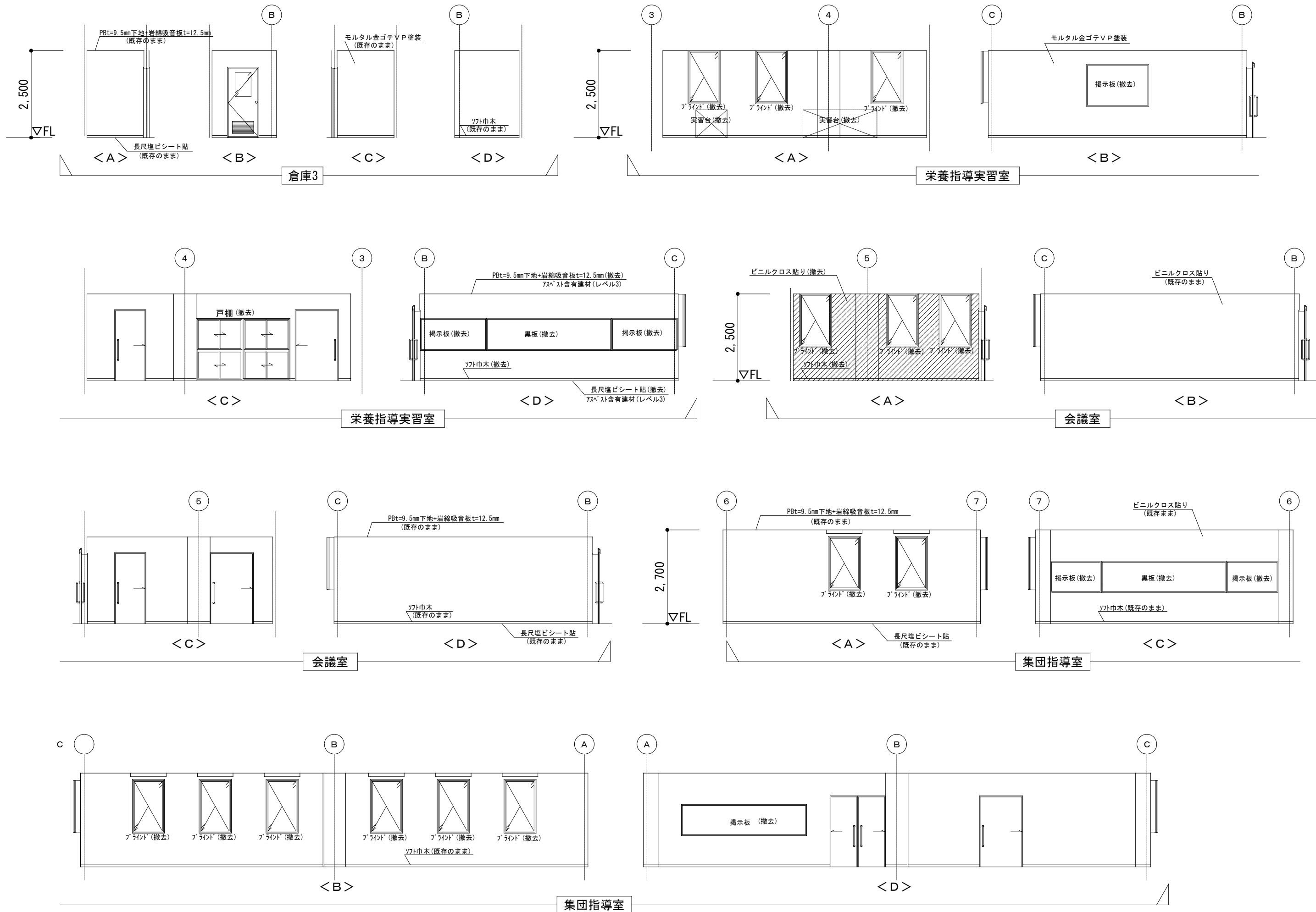


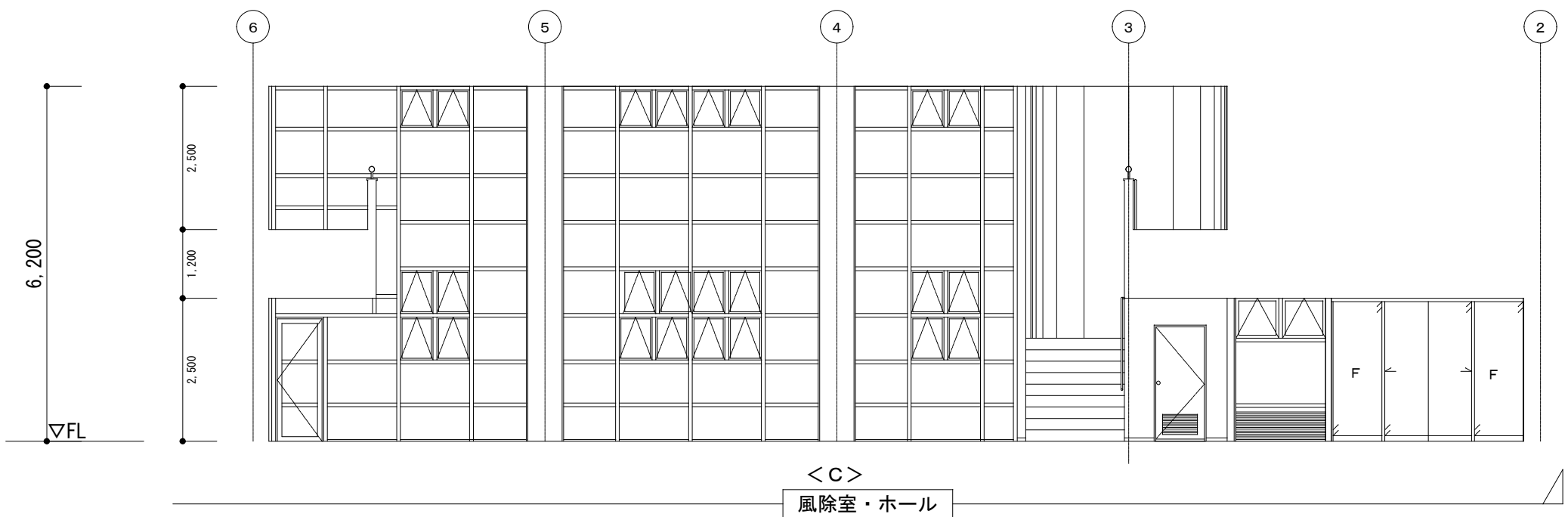
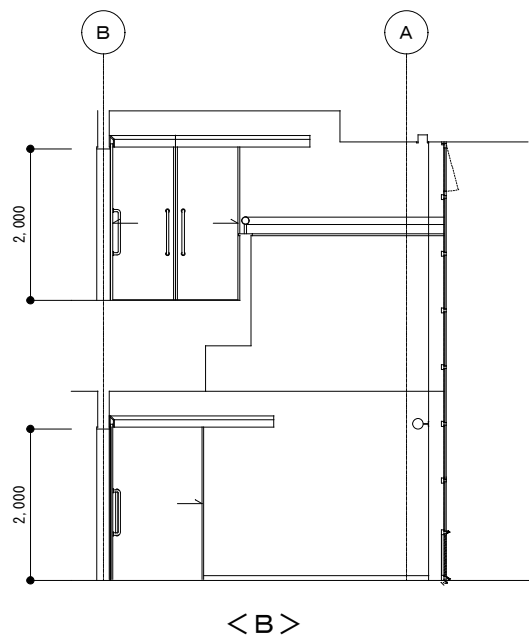
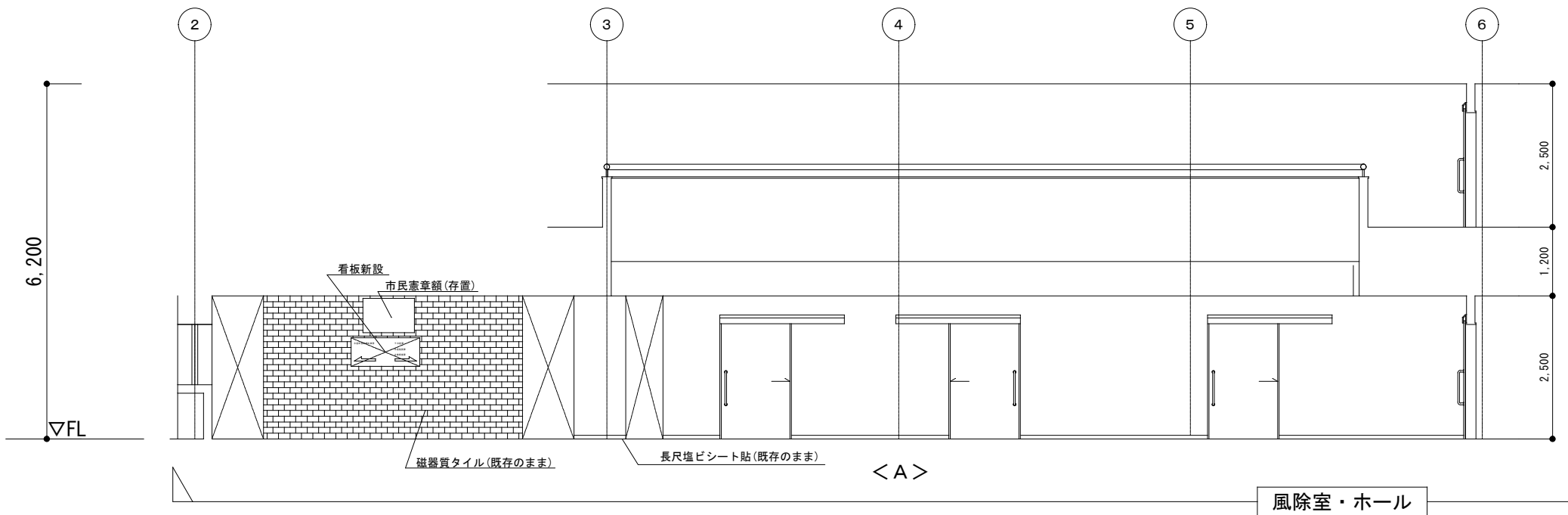
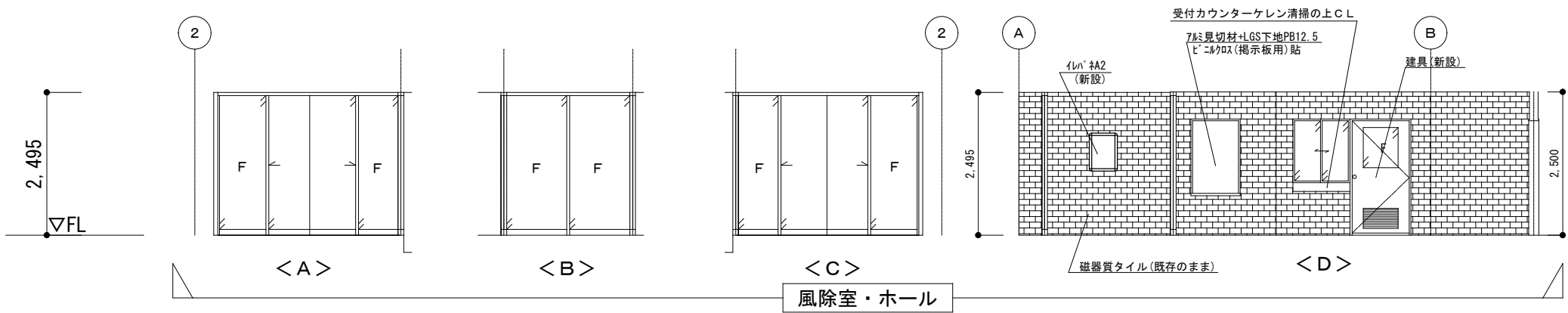


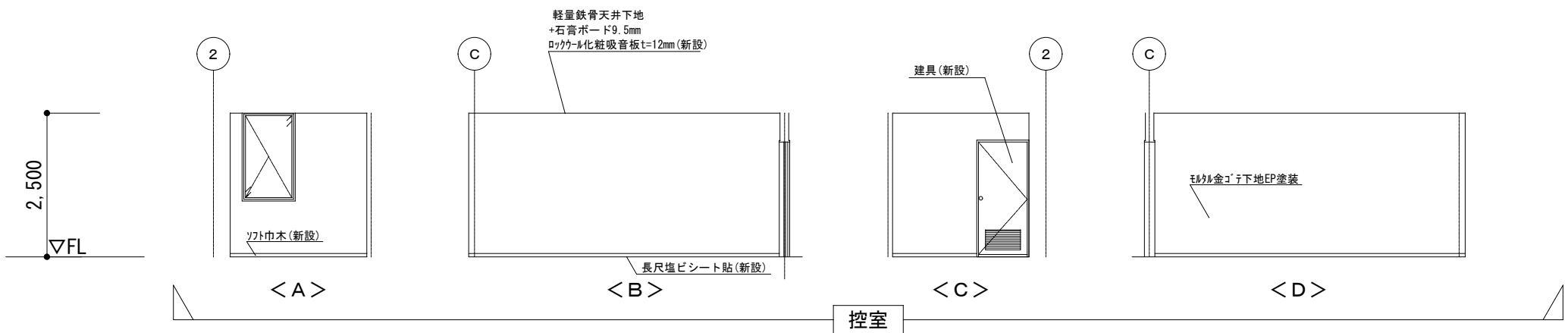
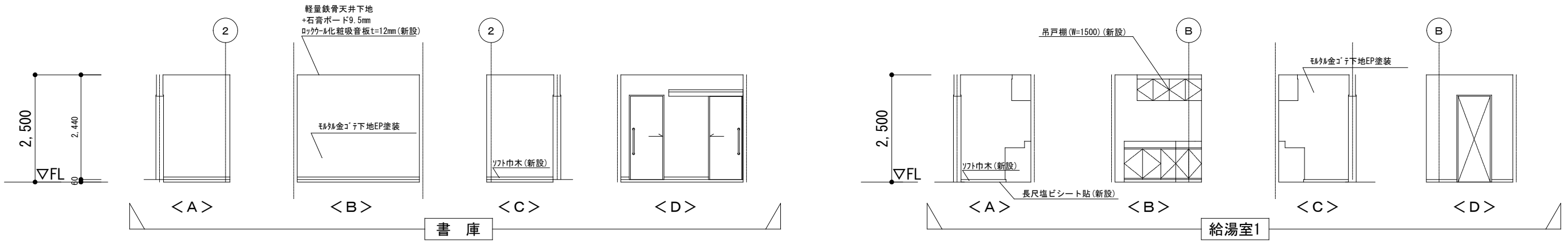
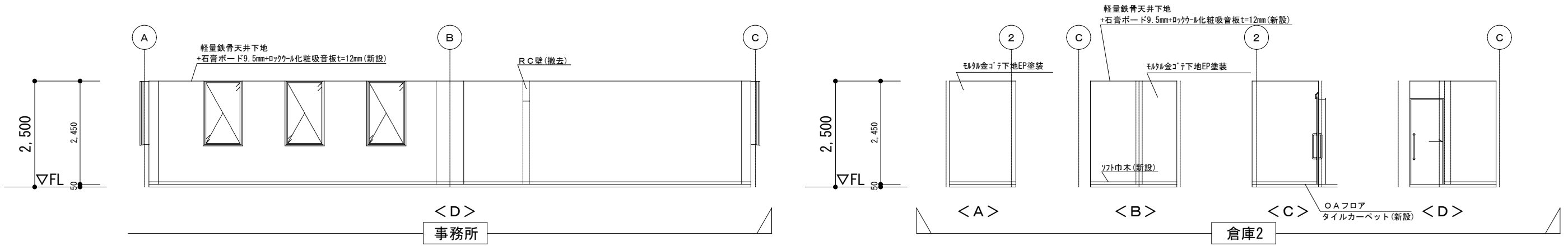
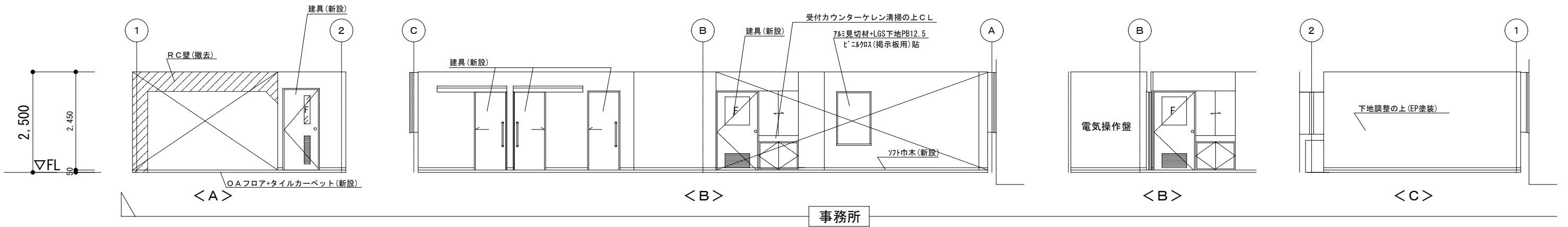


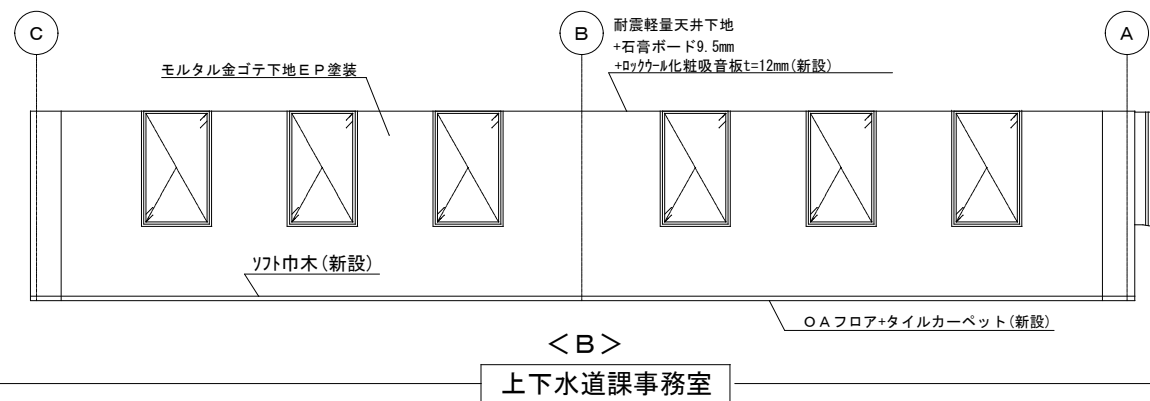
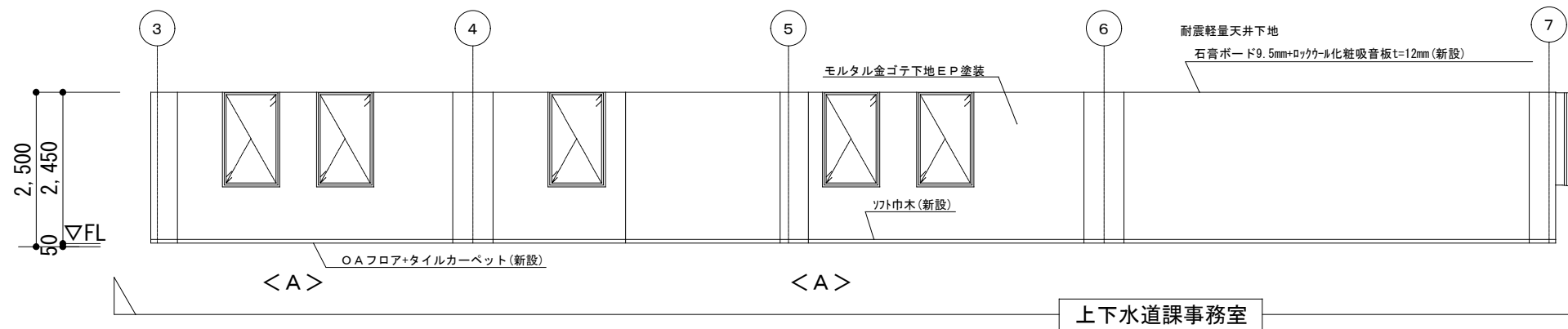
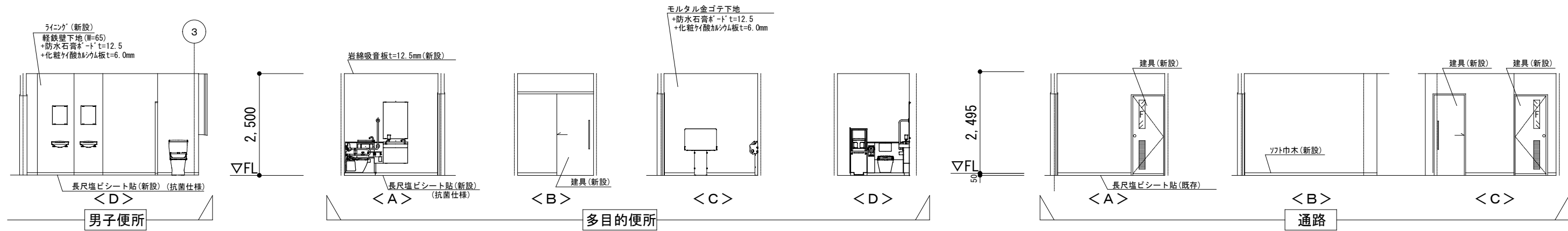
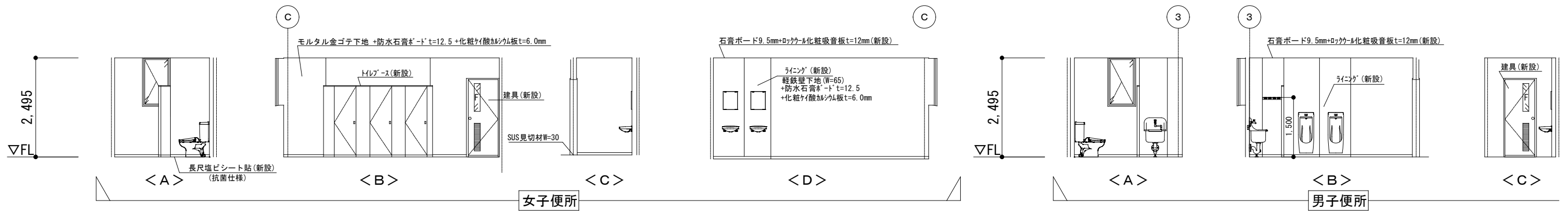


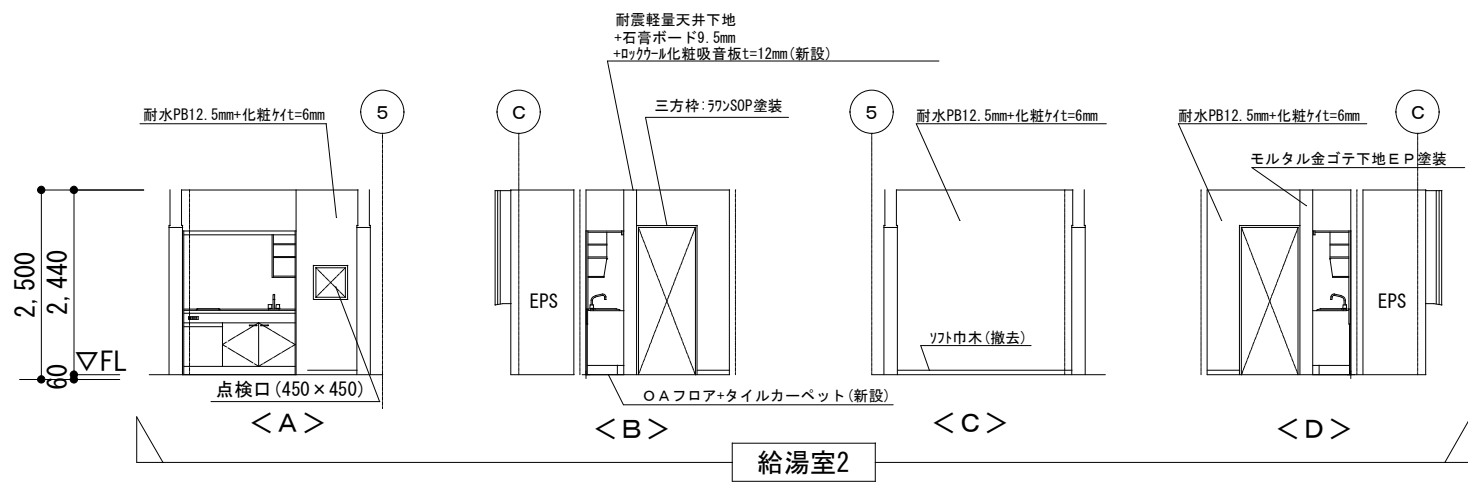
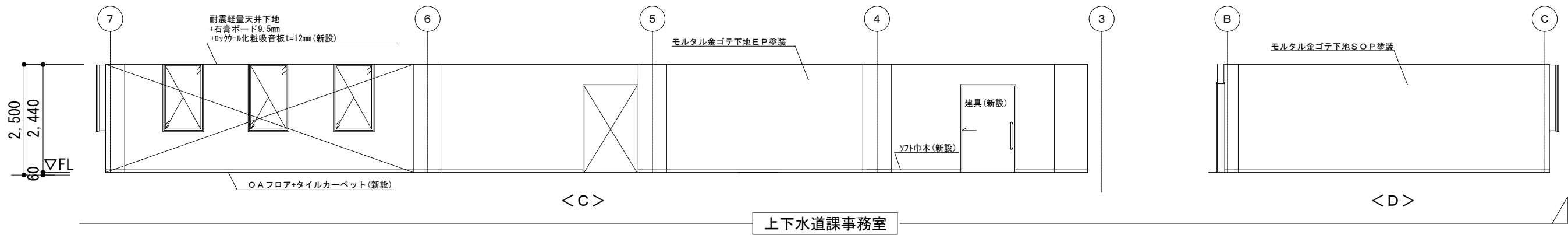


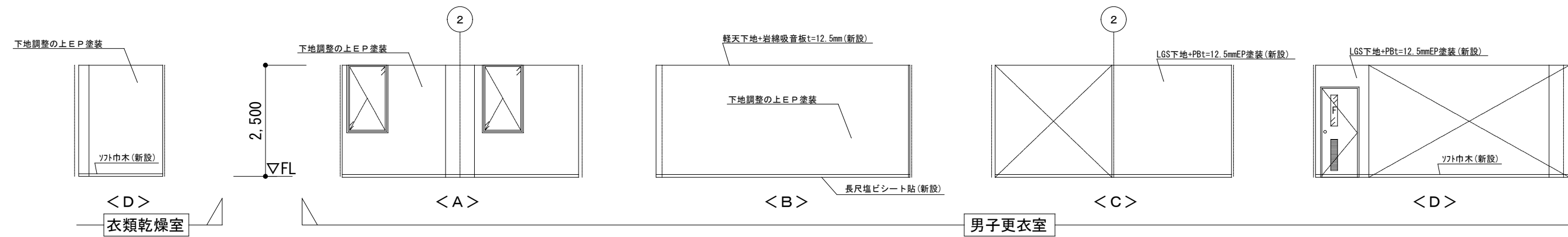
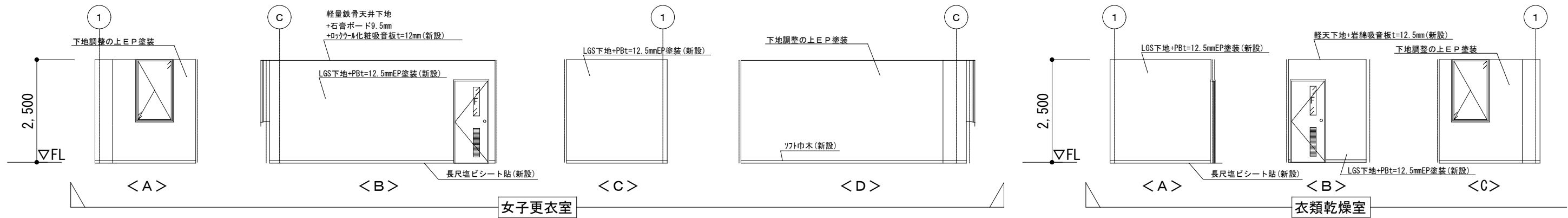
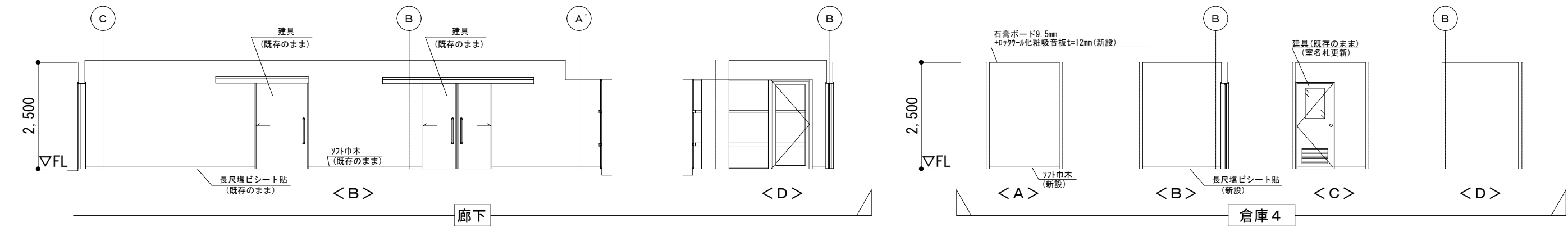
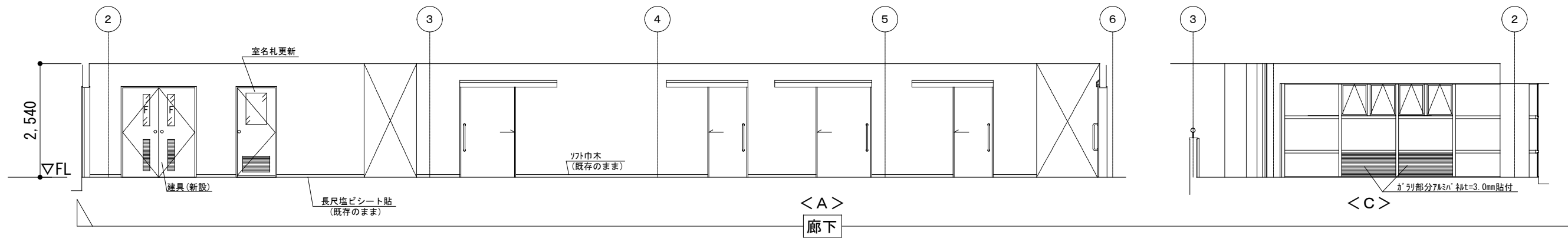


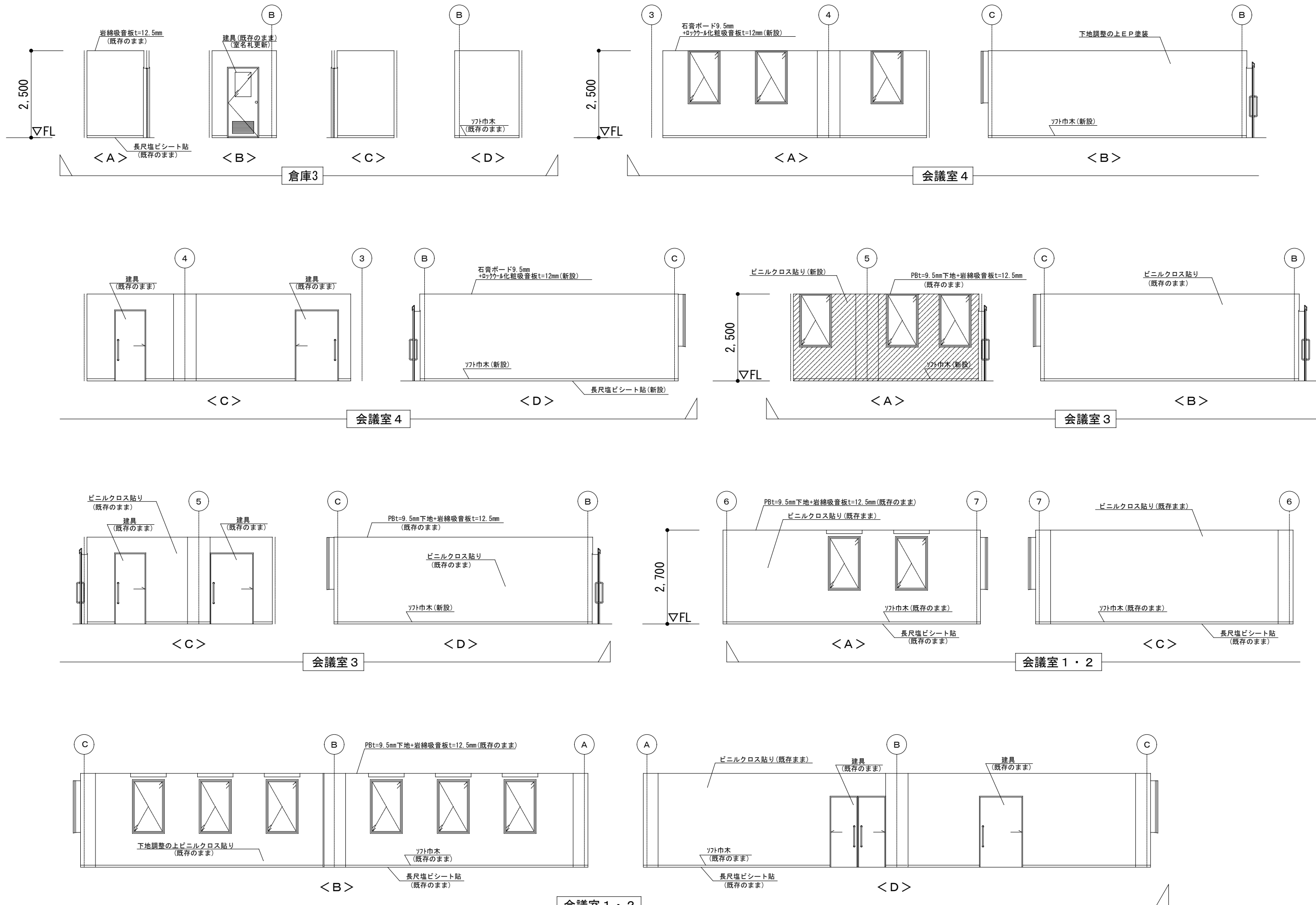


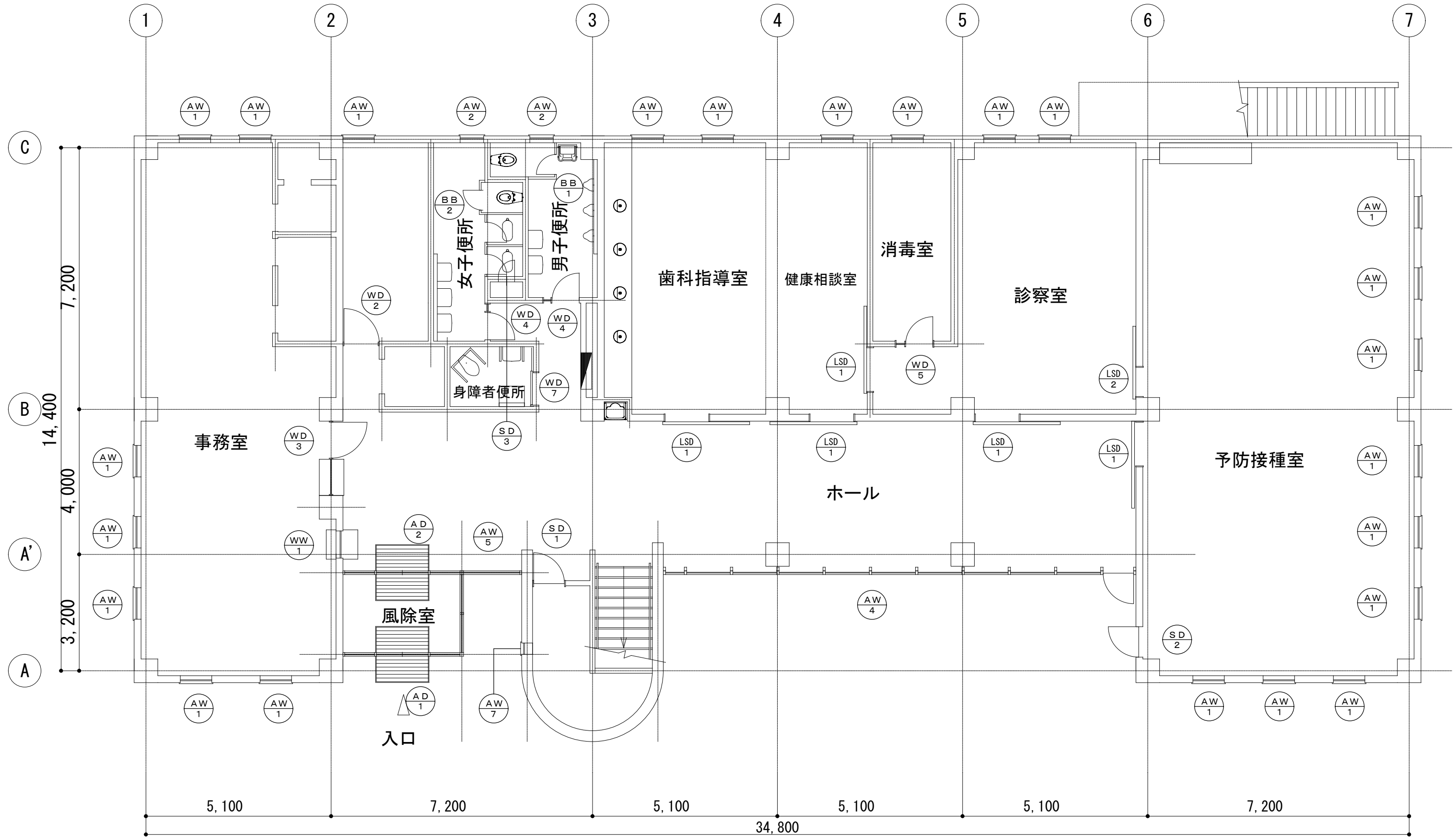




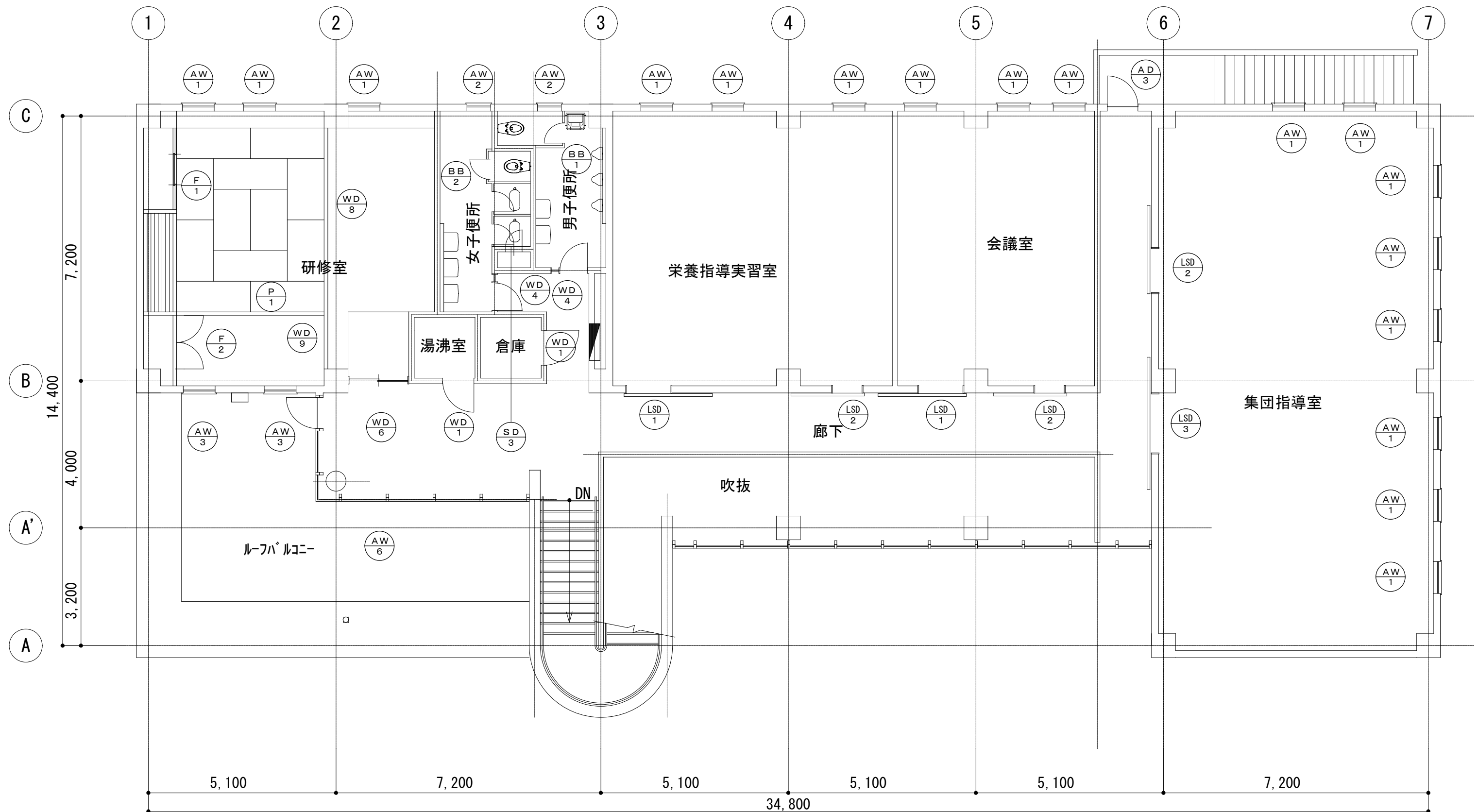








建具表キープラン(1階)(改修前)



建具表キープラン(2階)(改修前)

姿 図

姿 図		1ヶ所		2ヶ所		7ヶ所		3ヶ所		1ヶ所			2ヶ所		1ヶ所	
		見 込		40		40		40		40			40		40	40
		種 別		片開き戸		片開き戸		片引き戸		片引き戸			片引き戸		片開き戸	片開き戸
		仕 上		片開きスチールドア		片開きスチールドア		軽量鋼製ハンガー片引戸		軽量鋼製ハンガー片引戸			軽量鋼製ハンガー片引戸		片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア
		硝 子														
附 属 金 物	シリンダー錠、握手 ドアストップ付	握手	棒状ハンドル(引手)	棒状ハンドル(引手)	棒状ハンドル(引手)		シリンダー錠、握手 ドアストップ付、ガラリ付き	シリンダー錠、握手 ドアストップ付、ガラリ付き								
改 修 内 容				既存撤去(建具キープランによる)	既存撤去(建具キープランによる)					既存撤去	既存撤去					
記 号	SD2	SD3	SD4	LSD1	LSD2	LSD3	WD1	WD2								
姿 図		1ヶ所		4ヶ所		1ヶ所		1ヶ所		1ヶ所		1ヶ所				
		見 込		40		40		40		40		40		40	40	
		種 別		片開き戸		片開き戸		片開き戸		引違戸		片引き戸		4枚建引違戸襖	片引き戸襖	
		仕 上		片開きフラッシュドア		ガラリ袖付片開きフラッシュドア		ガラリ袖付片開きフラッシュドア		引違両面フラッシュドア		片引きハンガーフラッシュドア		片面襖、片面フラッシュドア	片面襖、片面フラッシュドア	
		硝 子														
附 属 金 物	シリンダー錠、握手 ドアストップ付、ガラリ付き	握手 ドアストップ付、ガラリ付き	握手 ドアストップ付、ガラリ付き	引手 ガラリ付き	棒状ハンドル(引手)	引手	引手									
改 修 内 容	既存一部撤去	既存撤去	既存撤去	既存撤去	既存撤去	既存撤去	既存撤去	既存撤去	既存撤去							
記 号	WD3	WD4	WD5	WD6	WD7	WD8	WD9									
姿 図		1ヶ所		1ヶ所		1ヶ所		1ヶ所				2ヶ所		2ヶ所		
		見 込		40		40		40				40			60	60
		種 別		F I X窓		3枚建引違襖		2枚両開き襖				4枚建引違障子			便所ブース	便所ブース
		仕 上		透明ガラス		襖		襖				障子			フラッシュドア	フラッシュドア
		硝 子														
附 属 金 物		引手	引手													
改 修 内 容	既存撤去	既存撤去	既存撤去	既存撤去			既存撤去	既存撤去								

記 号	AN 1	AN 2	AN 3	AN 4	
姿 図					
見 込	70	70	70		
種 別	縦にり出し窓	縦にり出し窓	縦にり出し窓		
仕 上	アルミ (アルマイト)	アルミ (アルマイト)	アルミ (アルマイト)		
硝 子	6.8mm 熱線吸収ガラス	6.8mm 熱線吸収ガラス	6.8mm 熱線吸収ガラス		
附 属 金 物	オペレーター装置	オペレーター装置	オペレーター装置		
改 修 内 容	フリース網戸・ローカーテン新設 (39ヶ所) 清掃／点検・調整	フリース網戸 清掃／点検・調整	フリース網戸・ローカーテン新設 清掃／点検・調整		
記 号	AN 5				
姿 図					
見 込	70			70	
種 別	突き出し、F I X アルミカーテンウォール			突き出し、片開きドア付アルミカーテンウォール	
仕 上	アルミ (アルマイト)			アルミ (アルマイト)	
硝 子	6.8mm 熱線吸収ガラス			6.8mm 熱線吸収ガラス	
附 属 金 物	オペレーター装置			オペレーター装置	
改 修 内 容	清掃／点検・調整			清掃／点検・調整	
記 号	AN 6		AN 7	AN 1 2	SS 1
姿 図					
見 込	70		70	70	70
種 別	突き出し、片開きドア付アルミカーテンウォール		突き出し窓	両袖 F I X 付、引分け自動ドア	横引き折りたたみ戸
仕 上	アルミ (アルマイト)		アルミ (アルマイト)	アルミ (アルマイト)	アルミ (アルマイト)
硝 子	6.8mm 熱線吸収ガラス		6.8mm 熱線吸収ガラス	6.8mm 熱線吸収ガラス	5.0mm ガラス
附 属 金 物	オペレーター装置		オペレーター装置	シリンダー錠、タッチ式	シリンダー錠
改 修 内 容	ガラス部分アルミハネt=3.0mm貼付 清掃／点検・調整		清掃／点検・調整	清掃／点検・調整	新設 (三和ジャッカルミール) (同等品)

MEMO	 埼玉県和光市本町9番17号 株式会社 塚田設計	承認	設計	担当	製図	縮尺 A1:S=1/50 A3:S=1/100	工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事	A-43
						設計年月日	図面名称 建具表（1）（改修後）	

姿 図

姿 図	記 号	(AD)③	1ヶ所	(SD)①	1ヶ所	(SD)②	1ヶ所	(SD)③	2ヶ所	(LSD)①	5ヶ所 (新設2ヶ所)	(LSD)②	3ヶ所 (新設1ヶ所)	(LSD)③	1ヶ所	(LSD)④ (LSD)④	4ヶ所
	見 込	40		40		40		40		40		40		40		40	
	種 別	FIXランマ付き片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片引き戸		片引き戸		片引き戸		片開き戸	
	仕 上	アルミドア		片開きスチールドア		片開きスチールドア		片開きスチールドア		軽量鋼製ハンガー片引戸		軽量鋼製ハンガー片引戸		軽量鋼製ハンガー片引戸		軽量鋼製ハンガー片開き戸	
	附 属 金 物	シリンダー錠、握手 ドアストッパー付		シリンダー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付		シリンダー錠、握手 ドアストッパー付		握手		棒状ハンドル(引手) シリンダー錠		棒状ハンドル(引手) シリンダー錠		棒状ハンドル(引手) シリンダー錠		握手 ドアストッパー付、ガラリ付き	
改 修 内 容		清掃／点検・調整		清掃／点検・調整		ドアクローザー交換 下地調整、SOP塗装 清掃／点検・調整		下地調整、SOP塗装 清掃／点検・調整		清掃／点検・調整 既存撤去(建具キプランによる) 新設(アウトセット・ハンガードア)		新設(アウトセット・ハンガードア)				新設	
姿 図	記 号	(LSD)⑤	4ヶ所	(LSD)⑥	1ヶ所	(LSD)⑦	3ヶ所					(WD)①	1ヶ所	(WD)②	1ヶ所	(WD)③	2ヶ所
	見 込	40		40		40						40		40		40	
	種 別	片開き戸		両開き戸		片引き戸						片開き戸		片開き戸		片開き戸	
	仕 上	軽量鋼製ハンガー片開き戸		両開きフラッシュドア		軽量鋼製ハンガー片引戸						片開きフラッシュドア		片開きフラッシュドア		片開きフラッシュドア	
	附 属 金 物	シリンダー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き		シリンダー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き		棒状ハンドル(引手) シリンダー錠						シリンダー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き		シリンダー錠、握手、ガラス戸ロールスクリーン(新設) ドアストッパー付、ガラリ付き		シリンダー錠、握手 ドアストッパー付、ガラリ付き	
改 修 内 容		新設		新設		新設(アウトセット・ハンガードア)						新設		新設		室名札更新	
姿 図	記 号	(BB)①	2ヶ所	(BB)①	2ヶ所												
	見 込	44		44													
	種 別	便所ブース		便所ブース													
	仕 上	フラッシュドア		フラッシュドア													
	附 属 金 物																
改 修 内 容		新設		新設													

MEMO

埼玉県和光市本町9番17号



株式会社 塚 田 設 計

承認 設計 担当 製図

縮尺

A1:S=1/50
A3:S=1/100

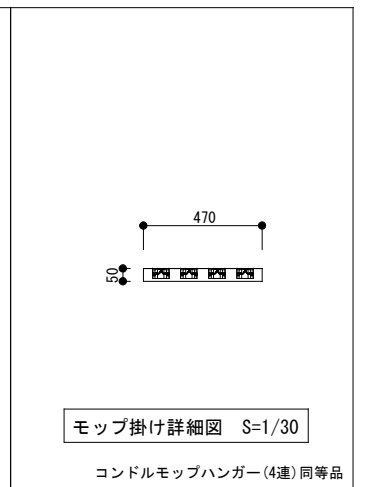
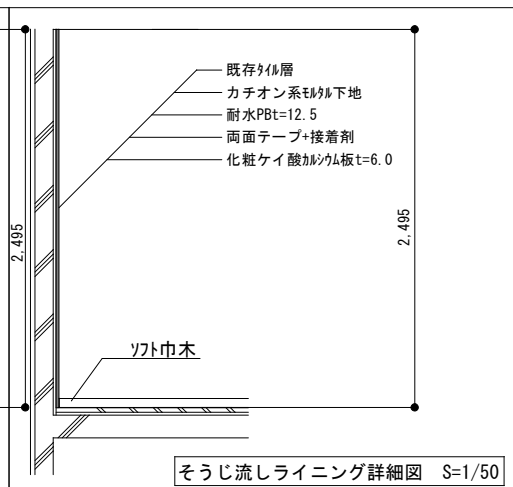
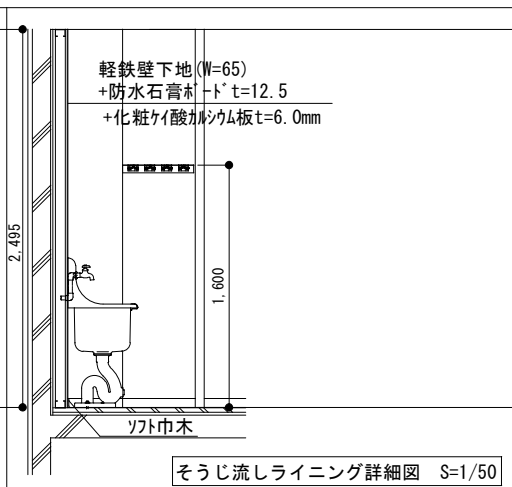
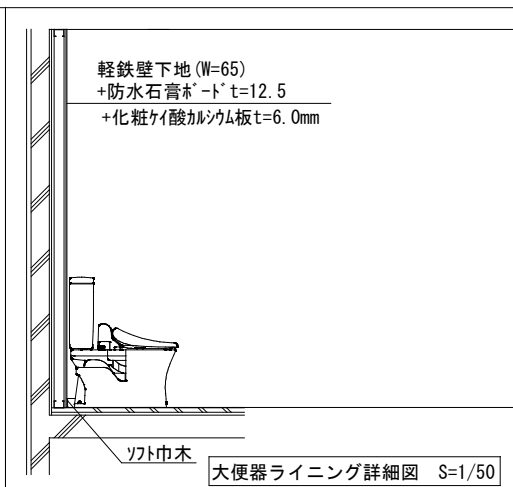
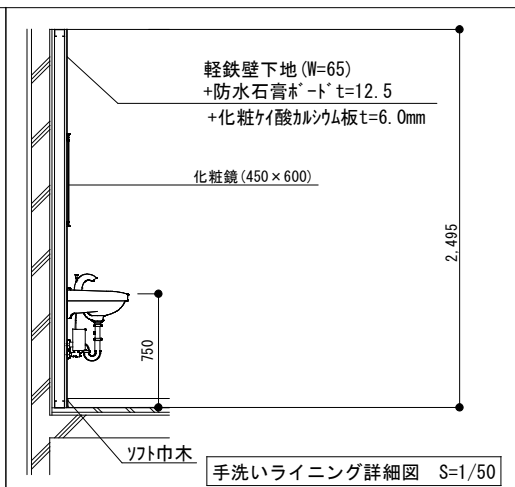
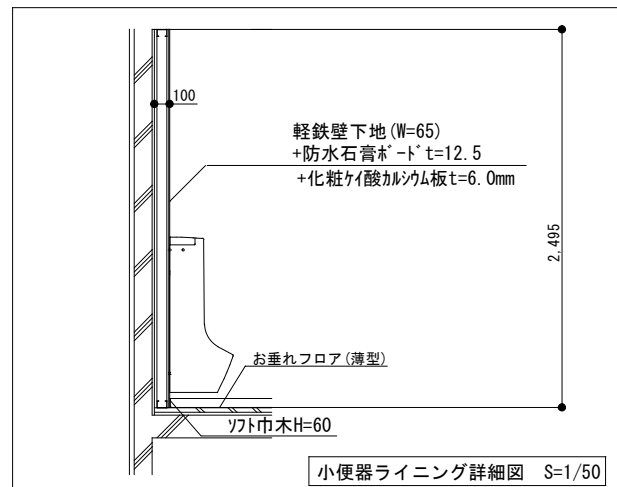
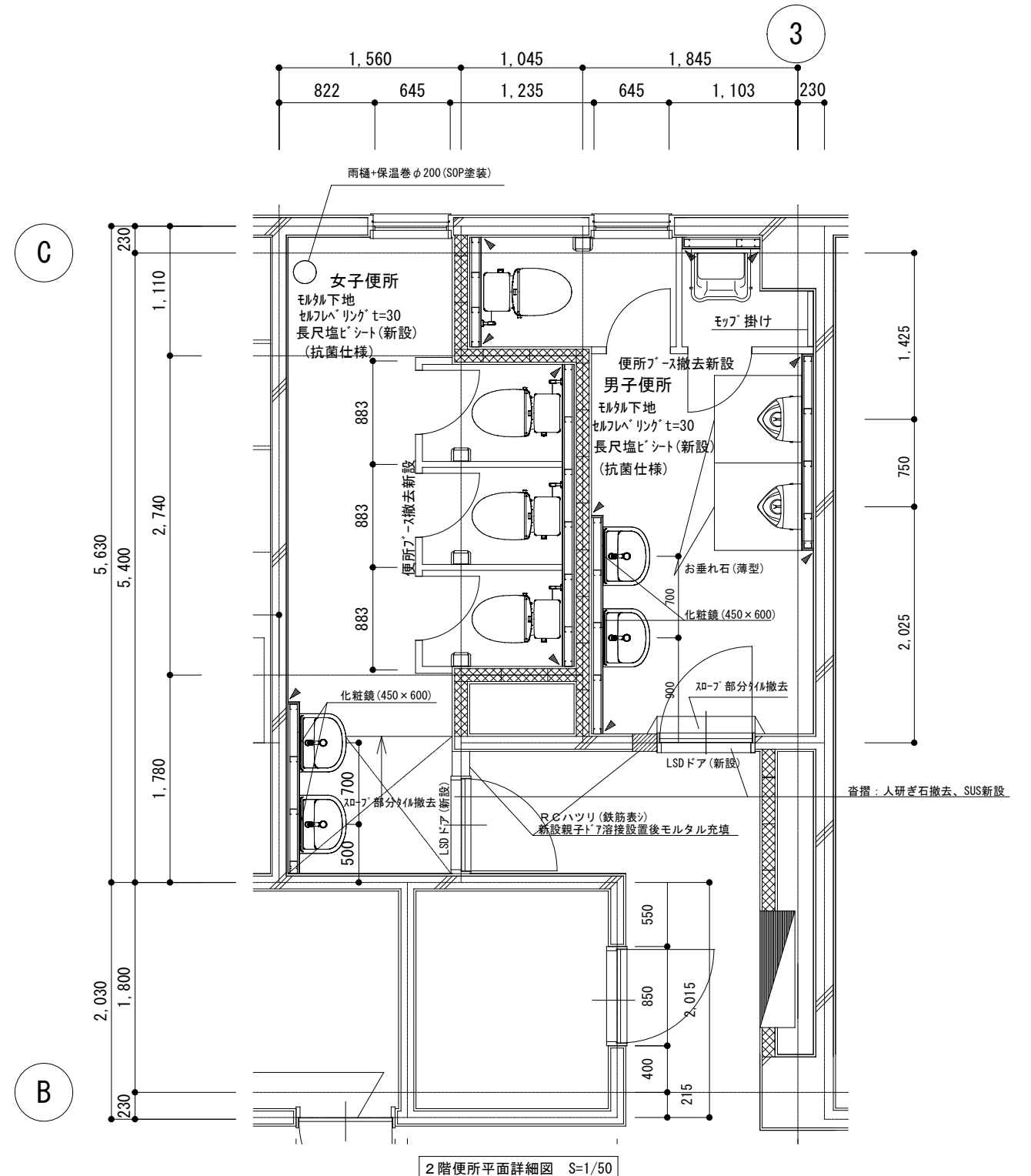
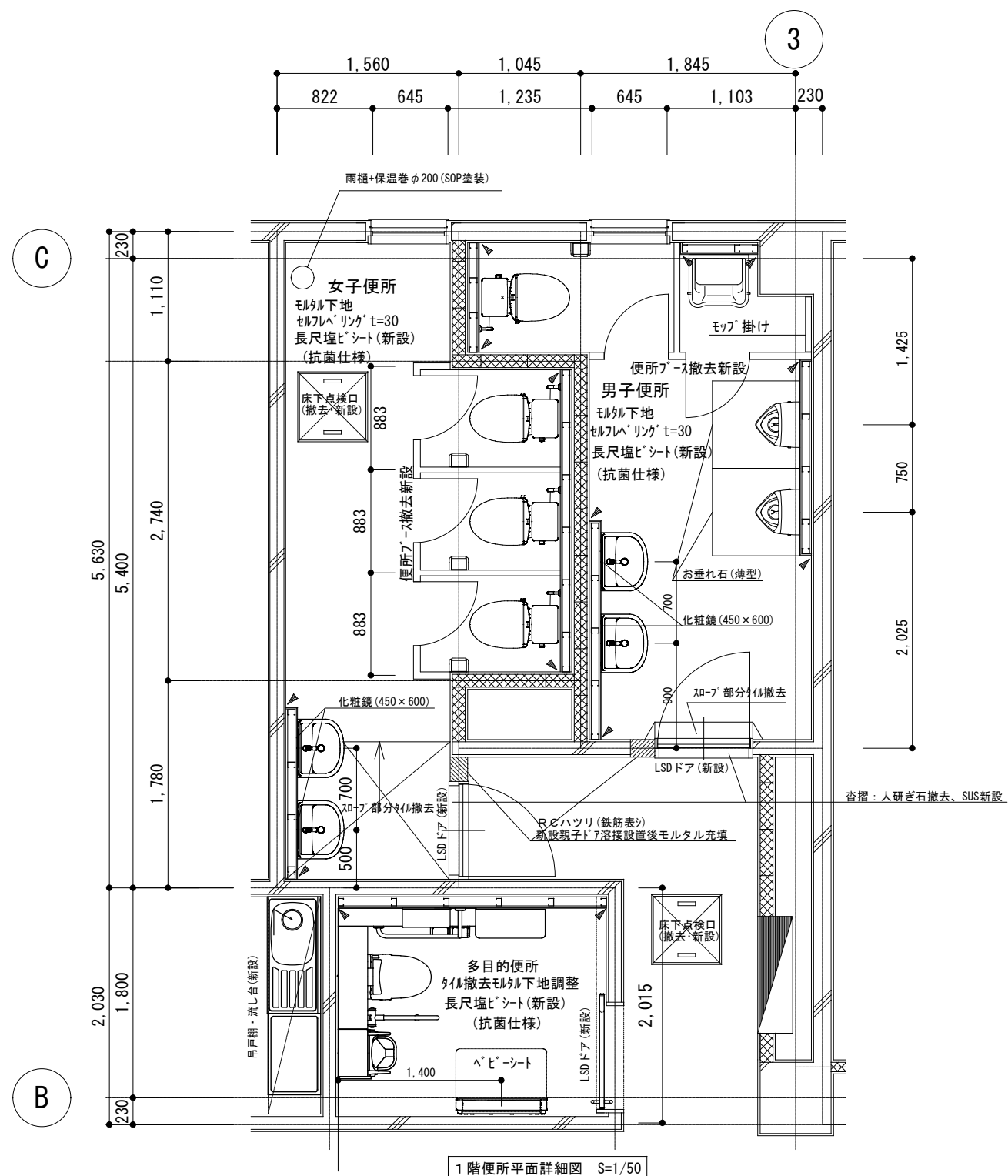
設計年月日

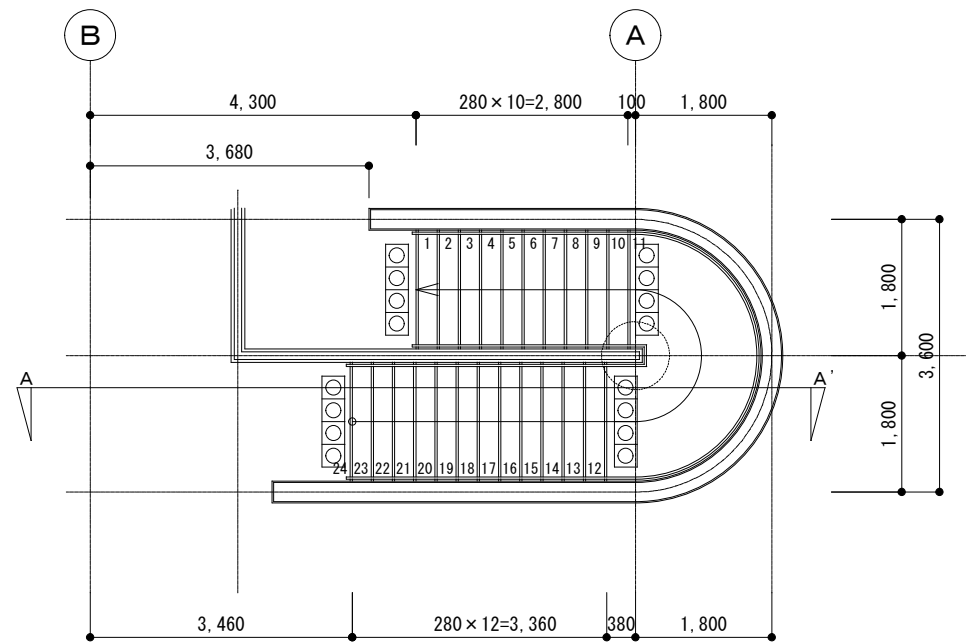
工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 建具表（2）(改修後)

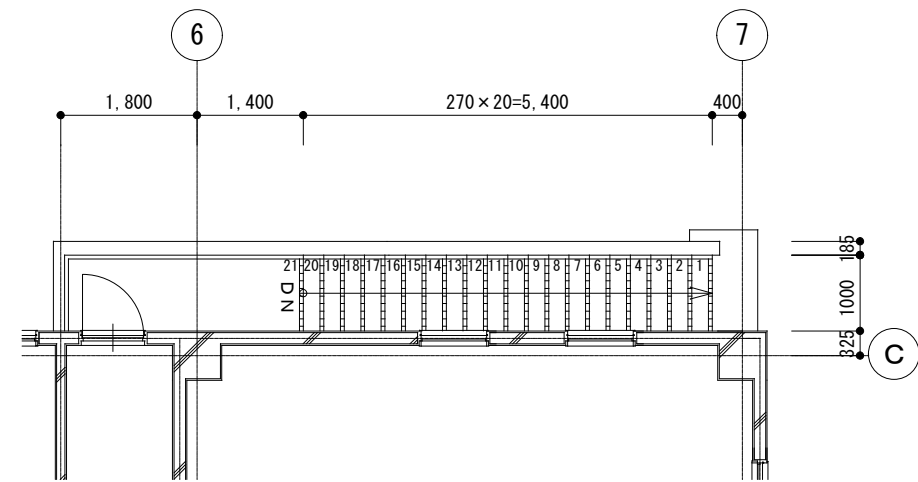
A-44

No.

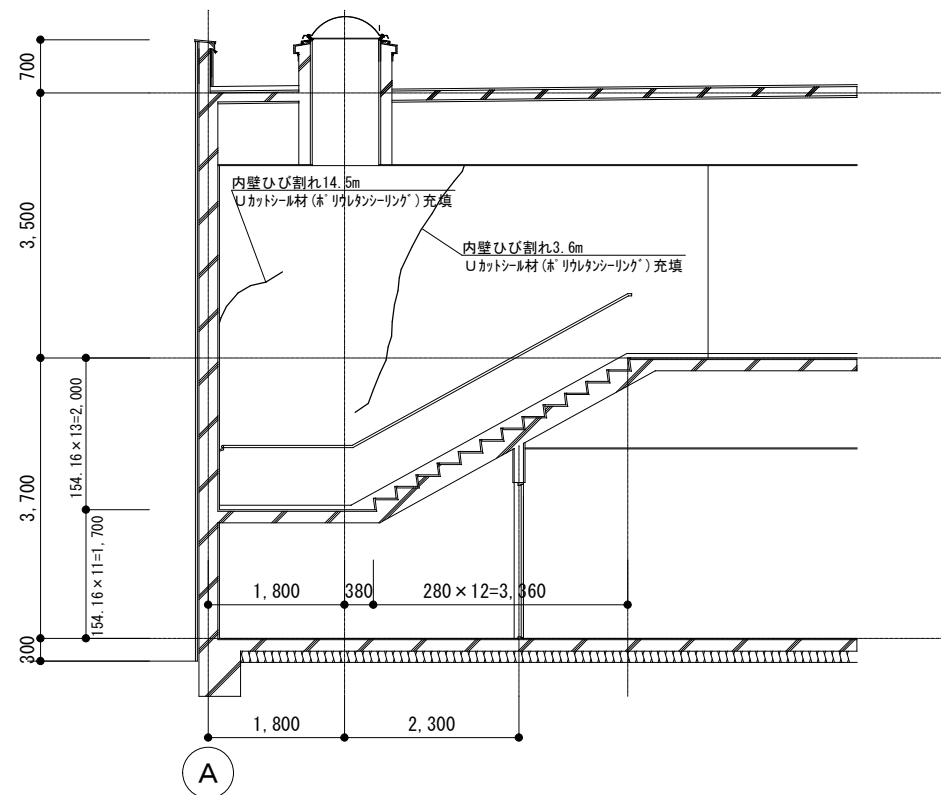




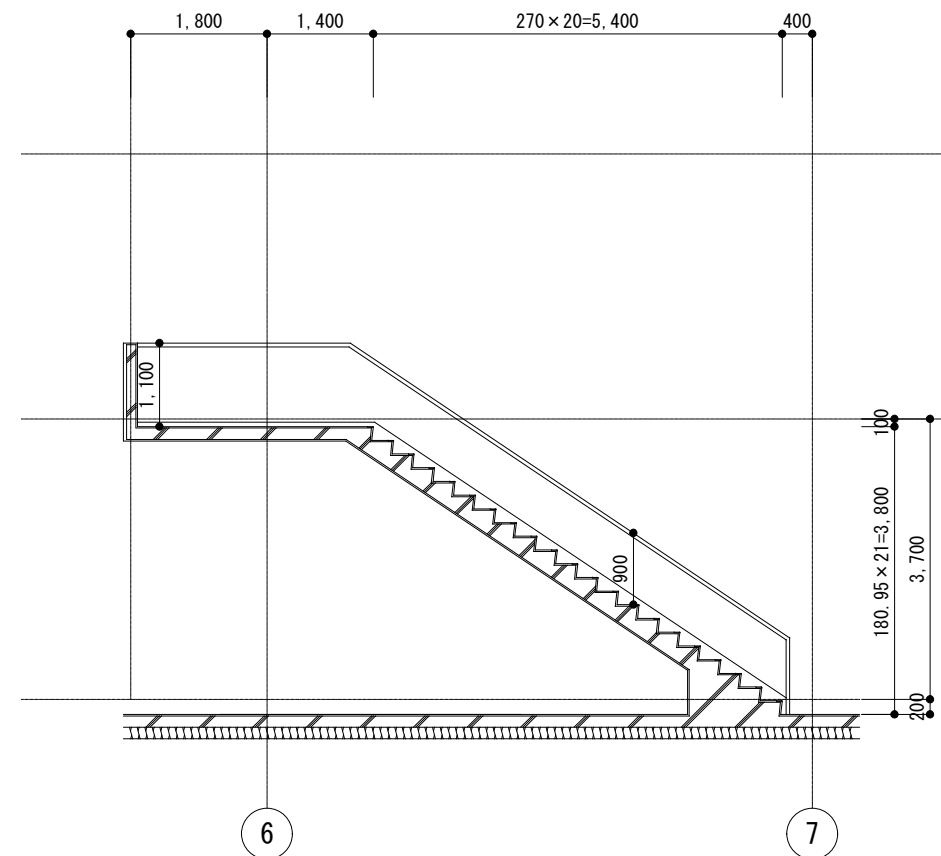
内部階段平面詳細図



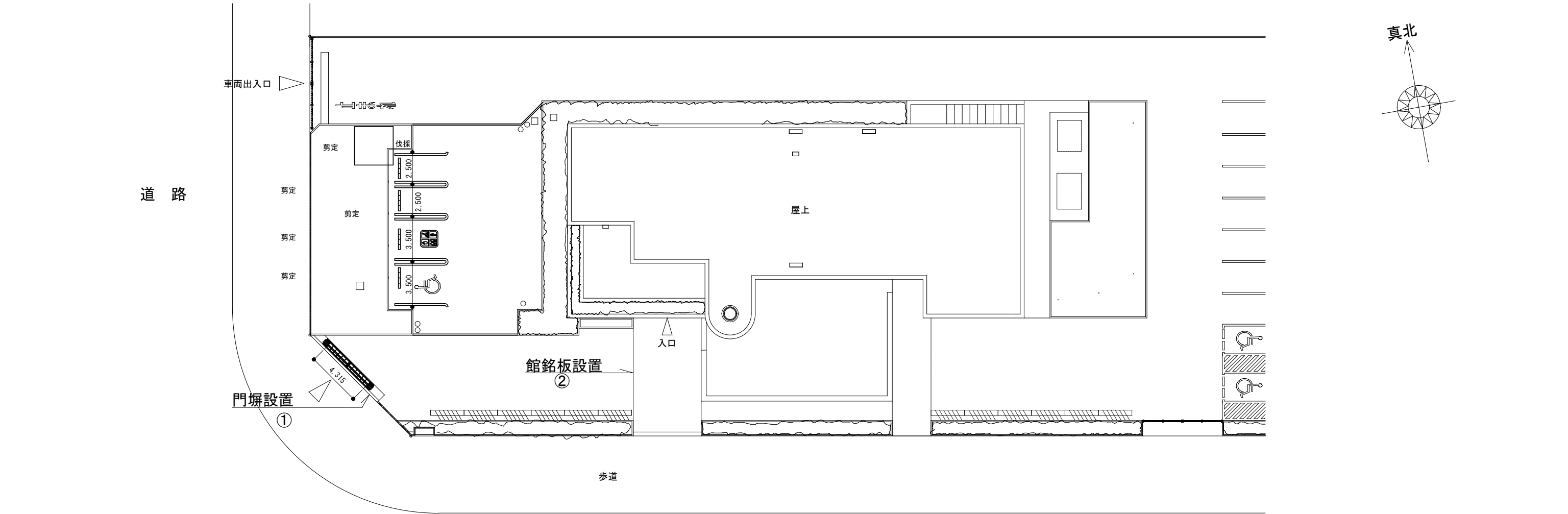
外部階段平面詳細図



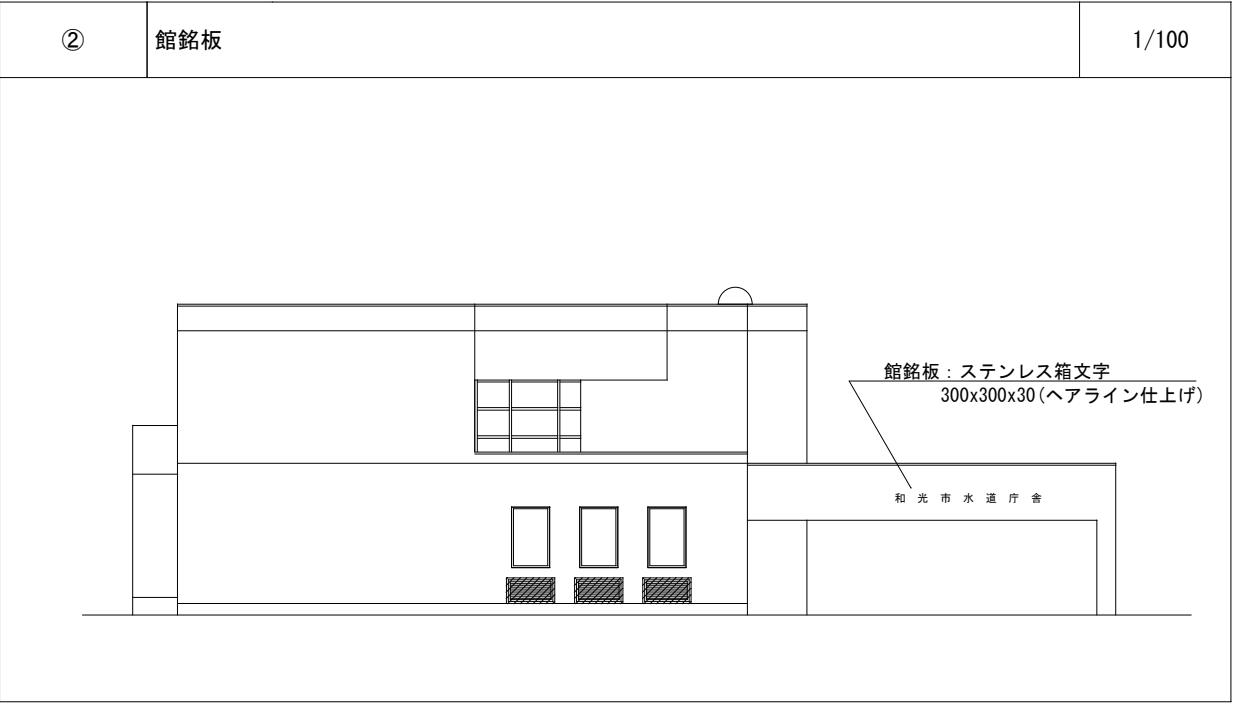
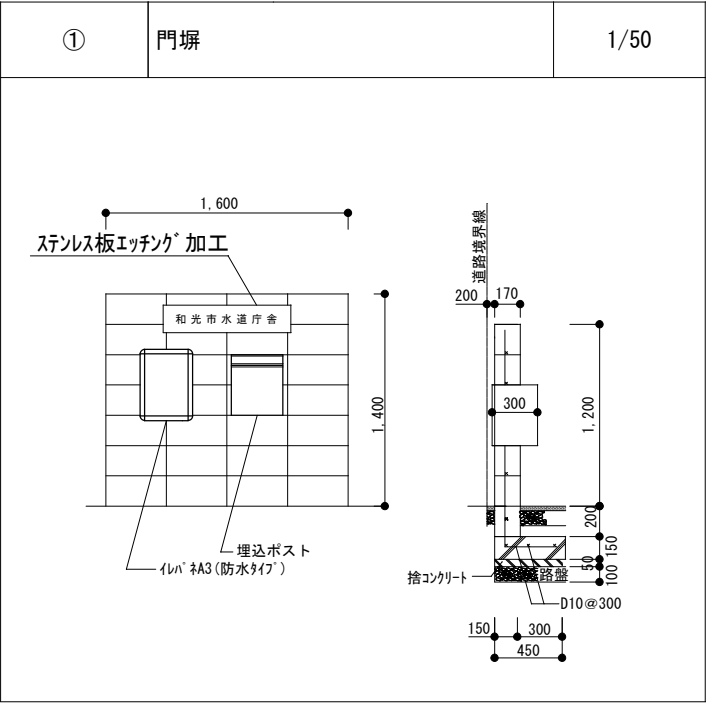
内部階段断面詳細図

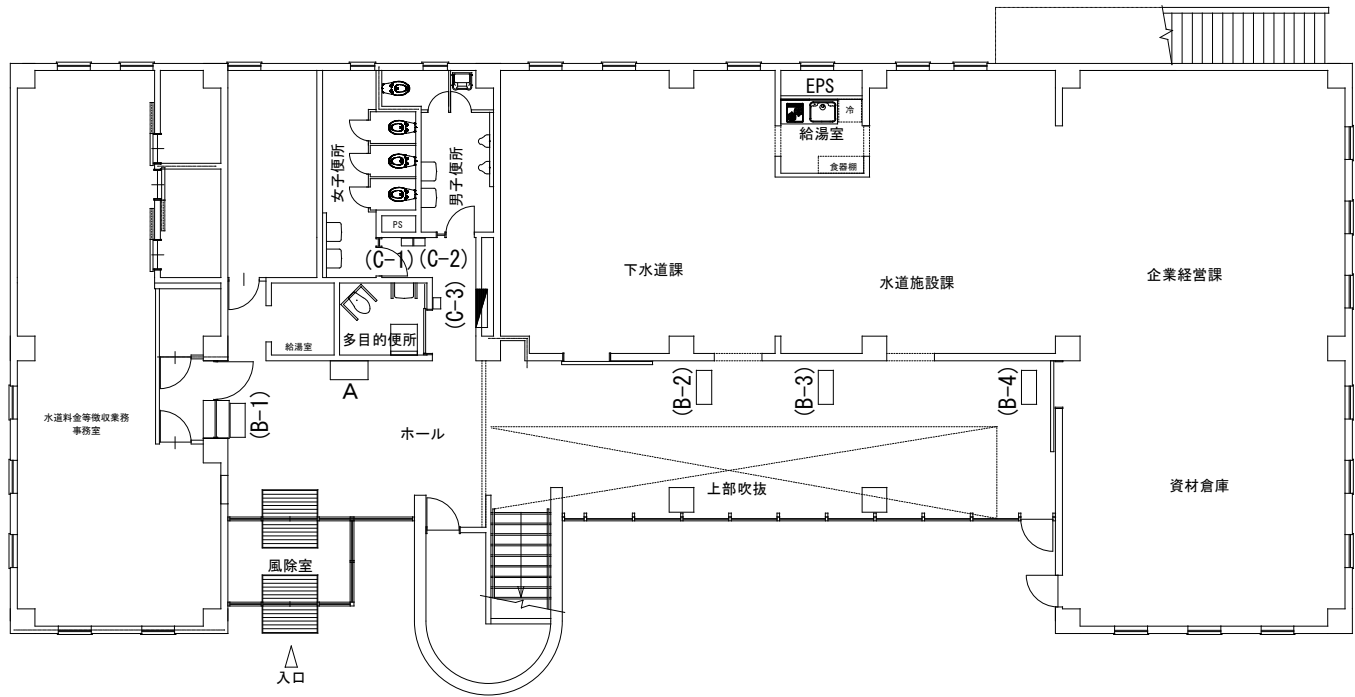


外部階段断面詳細図

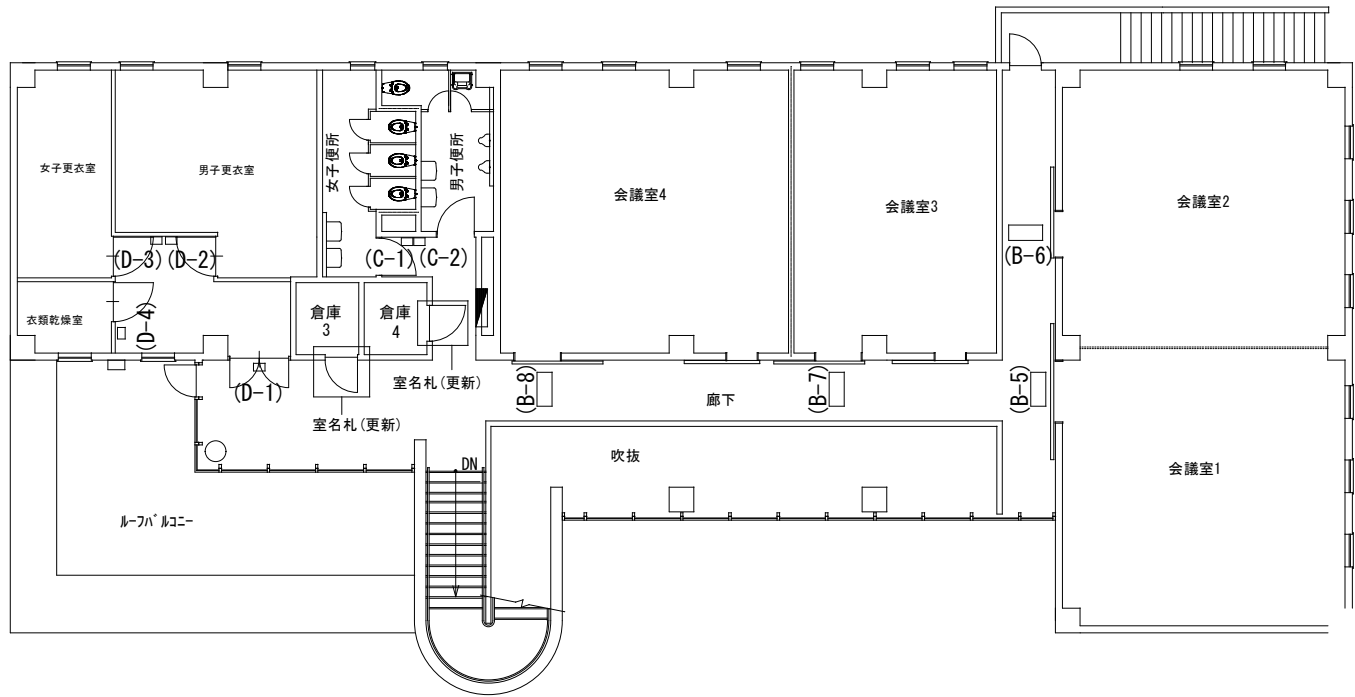


配置図 S=1/300



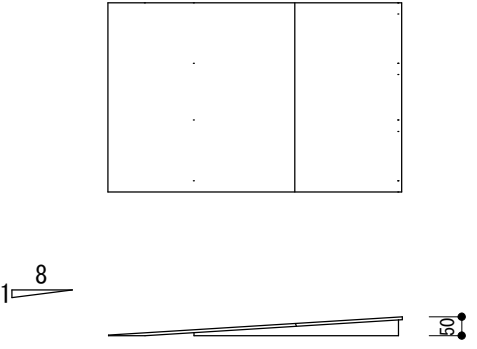
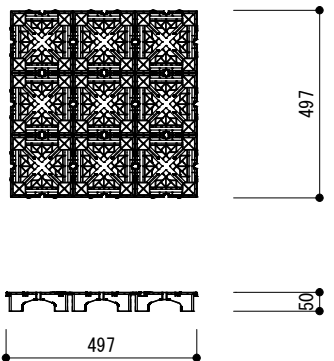
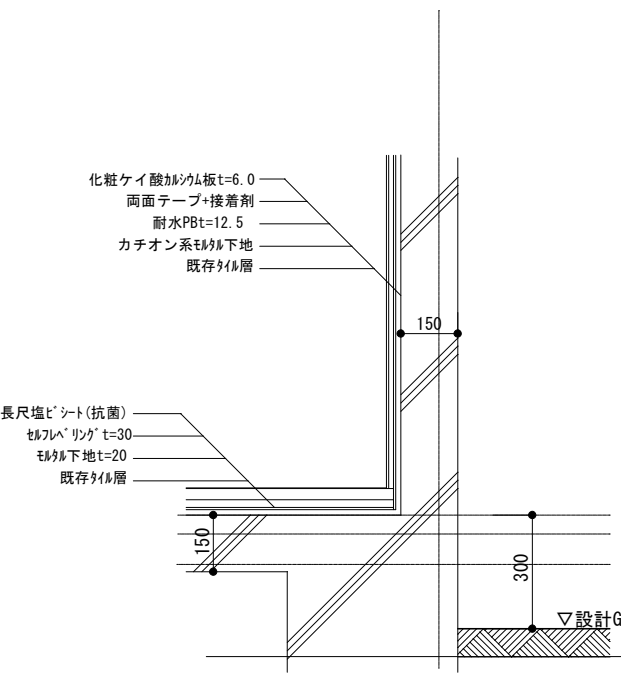
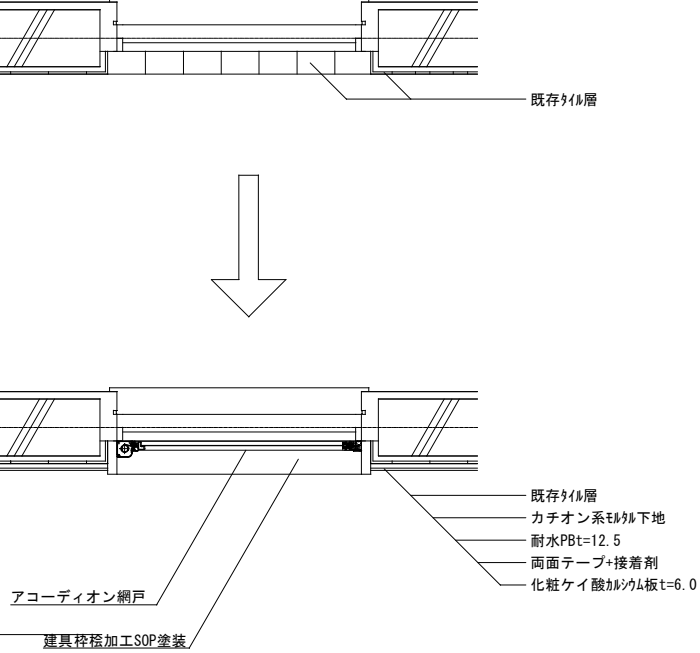
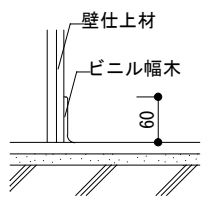
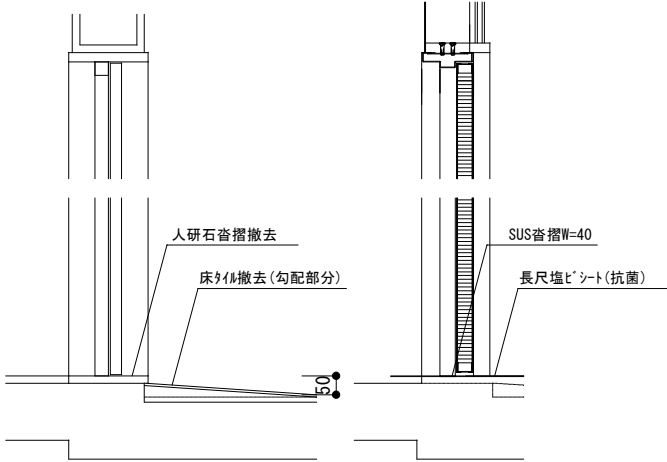


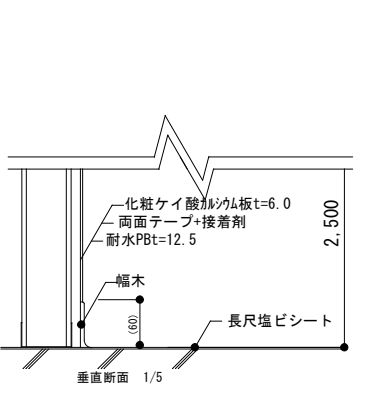
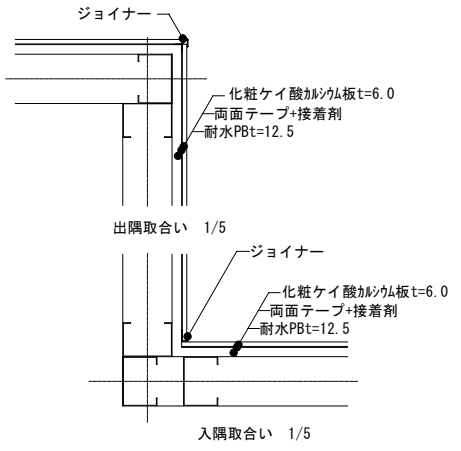
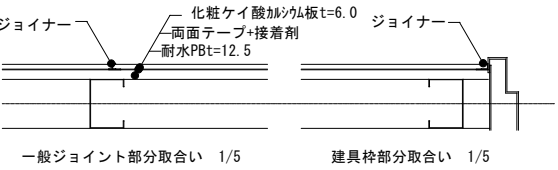
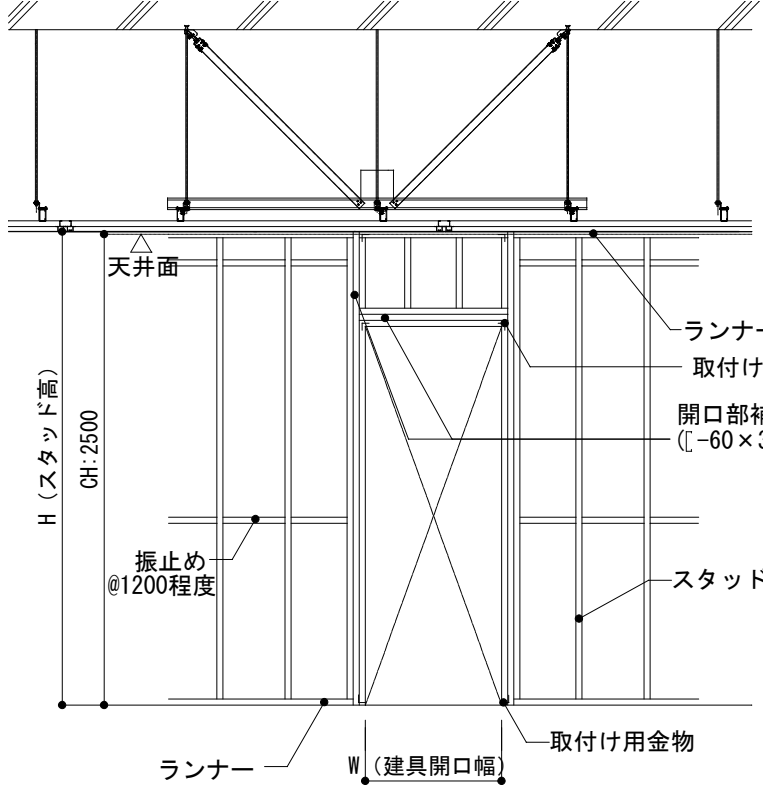
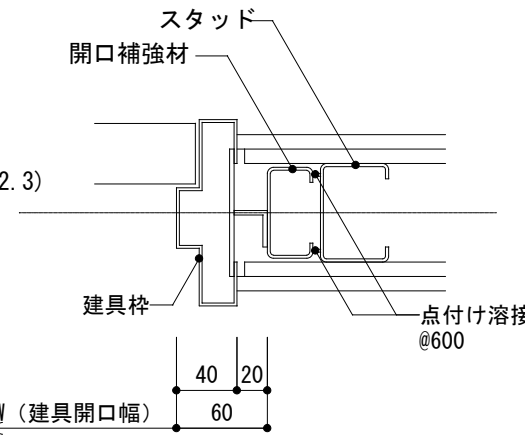
1階サイン計画キープラン図



2階サイン計画キープラン図

A	1階案内看板	1/10
<div><div>水道料金等徴収業務</div><div>下水道課</div><div>水道施設課</div><div>企業経営課</div><div>1,200</div><div>500</div></div>		
B	室名札（1）	1/10
<div><div>(B-1)</div><div>水道料金等徴収業務事務室</div><div>水道料金支払い</div><div>900</div><div>400</div></div>		
(B-2)	下水道課	1/50
(B-3)	水道施設課	
(B-4)	企業経営課	
(B-5)	会議室 1	
(B-6)	会議室 2	
(B-7)	会議室 3	
(B-8)	会議室 4	
C	室名札（2）	1/10
<div><div>(C-1)</div><div>女子便所</div><div>(C-2)</div><div>男子便所</div><div>(C-3)</div><div>多目的便所</div><div>300</div><div>47.4</div><div>300</div><div>300</div><div>200</div></div>		
D	室名札（3）	1/10
<div><div>(D-1)</div><div>更衣室</div><div>(D-2)</div><div>男子更衣室</div><div>(D-3)</div><div>女子更衣室</div><div>(D-4)</div><div>衣類乾燥室</div><div>300</div><div>100</div></div>		

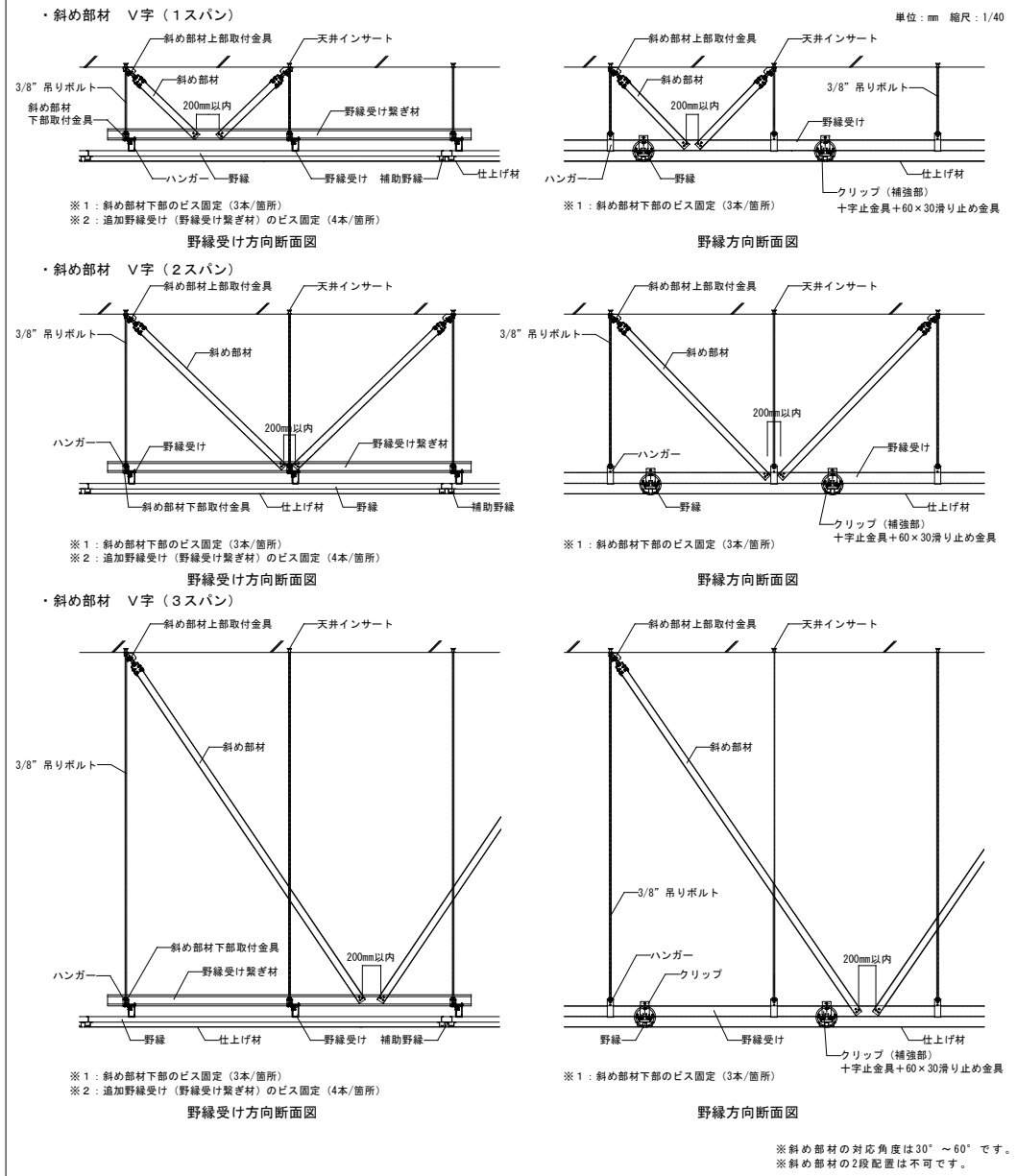
OAフロアスロープ 1/8 H50	1/20	OAフロア	1/20	便所：床、壁納まり	1/20	便所：窓納まり	1/20
							
ビニル巾木	1/5	便所入口詳細図	1/20				
							

化粧ケイ酸カルシウム板板ジョイナー工法	1/5	軽量鉄骨壁下地	1/20
  		 	

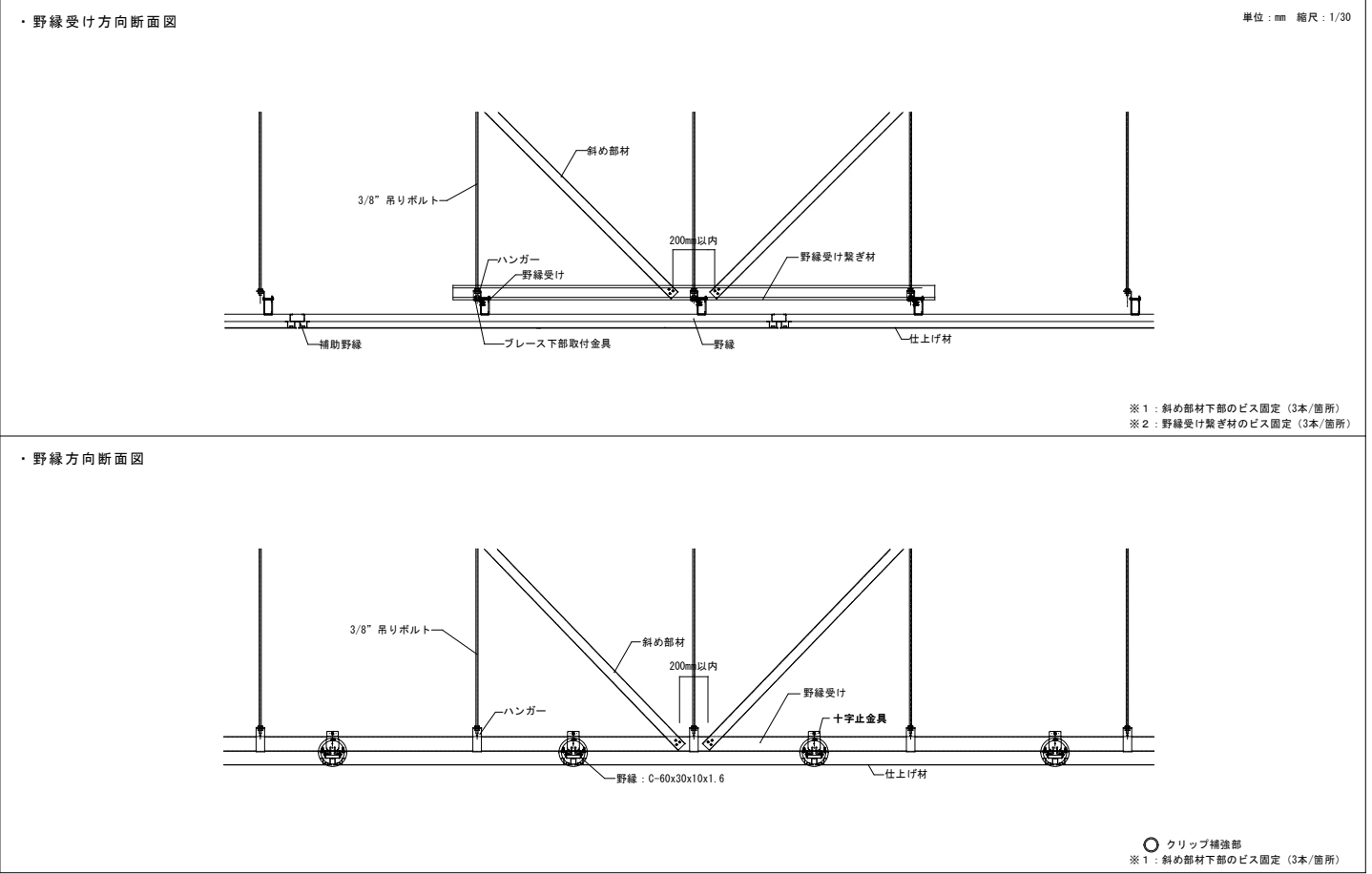
□部材一覧

	○吊り材 ・3/8"吊りボルト ・3/8"ナット		○野縁受け ・C-60×30×10×1.6		○野縁 ○補助野縁 ・C-60×30×10×1.6		○追加野縁受け (野縁受け繋ぎ材) ・C-60×30×10×1.6
	○吊り材 (ハンガー) ・RPハンガー (C60用) (受注生産品)		○野縁受けジョイント ○野縁ジョイント ・LGジョイント60×30用		○付属金物 (クリップ) ・十字止金具60×30用		○付属金物 (クリップ) 補強 ・60×30滑り止め金具 (受注生産品)
	○野縁直交金具 (中間部用) ・CTジョイント (60×30)		○野縁直交金具 (端部用) ・コーナージョイント		○斜め部材 (ブレース) 下部取付金具 ・ブレース金具RP (C60用) (受注生産品)		○ビス ・KIRII耐震ビス PAN4.2×16 ・KIRII耐震ビス PAN4.8×25 ・KIRII耐震ビス HEX4.8×25 ※JIS B 1124 認定品 又はJIS B 1124 準拠品
○斜め部材上部取付金具				○斜め部材 (ブレース)			
	・BKGスライド ※対応角度: 30° ~ 60°		・ブレース金具KF ※対応角度: 30° ~ 60°		○万能キャッチャーボルト70		ーチャンネルー ー折曲加工エー ・WB-19[C-19×10×1.2]・C-38×15×1.6 ・CG-19[C-38×12×1.2]・C-40×17×1.6 ・CG-35[C-38×12×1.6]・C-40×20×1.2 ・C-40×20×1.6 ・C-40×20×2.3
	・BKGフリー ※対応角度: 30° ~ 60°				○キャッチャーボルト ・キャッチャーボルト (4070)		ーリップ付チャンネルー ・AS-25×19×5×1.0 ・AS-40×20×10×1.6 ・AS-40×30×10×1.6 ー折曲加工エー ・AS-50×23×9×1.6 ・AS-50×23×10×1.6 ・AS-50×28×10×1.6

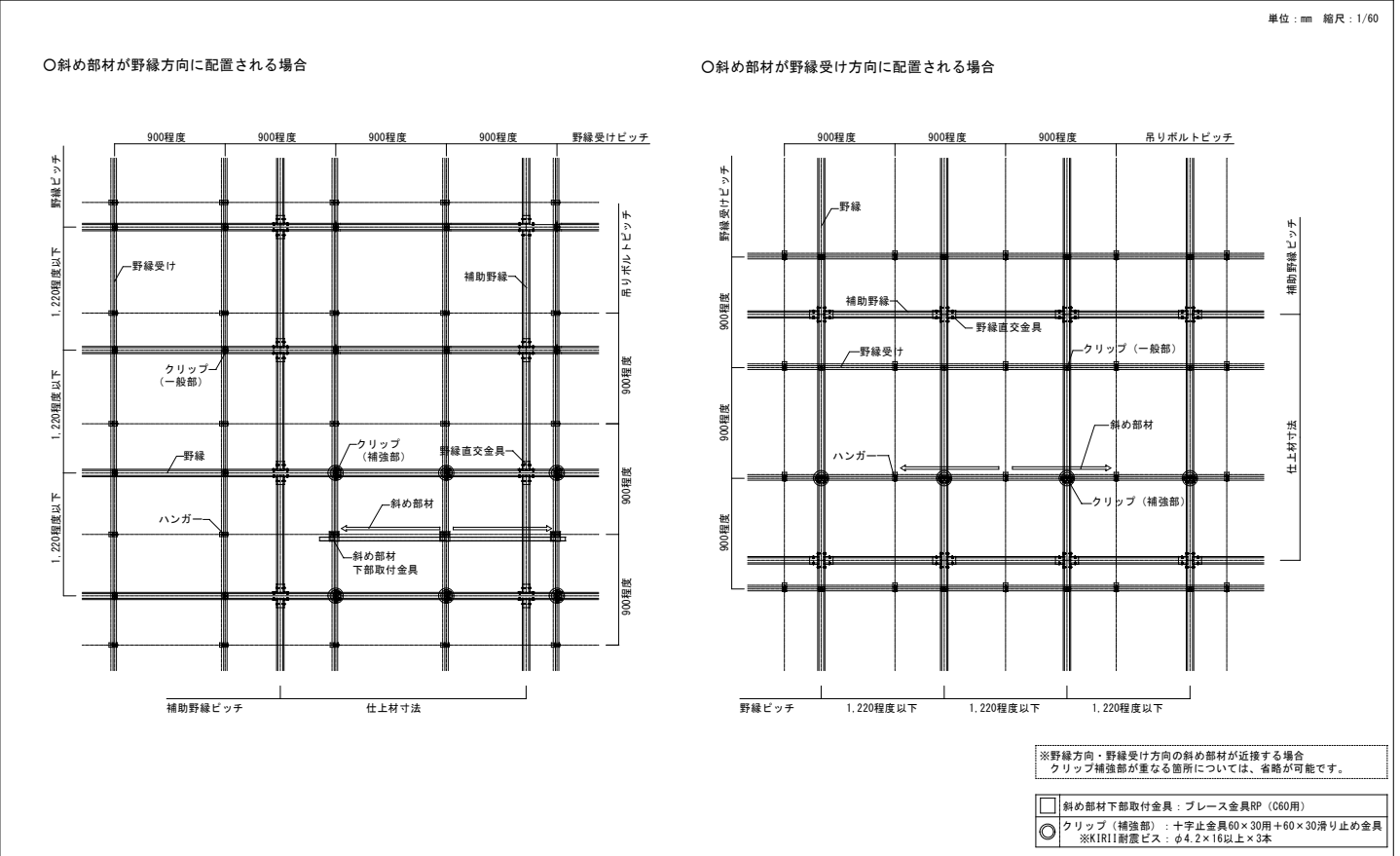
□標準図 (断面図)



□斜め部材下部の納まり詳細



□各部材の平面配置図



MEMO

埼玉県和光市本町9番17号



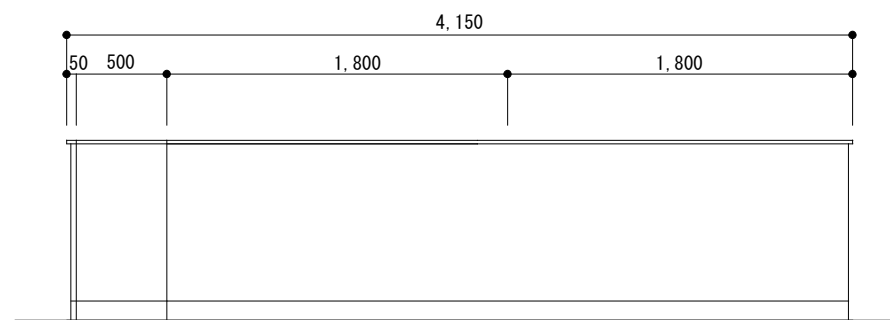
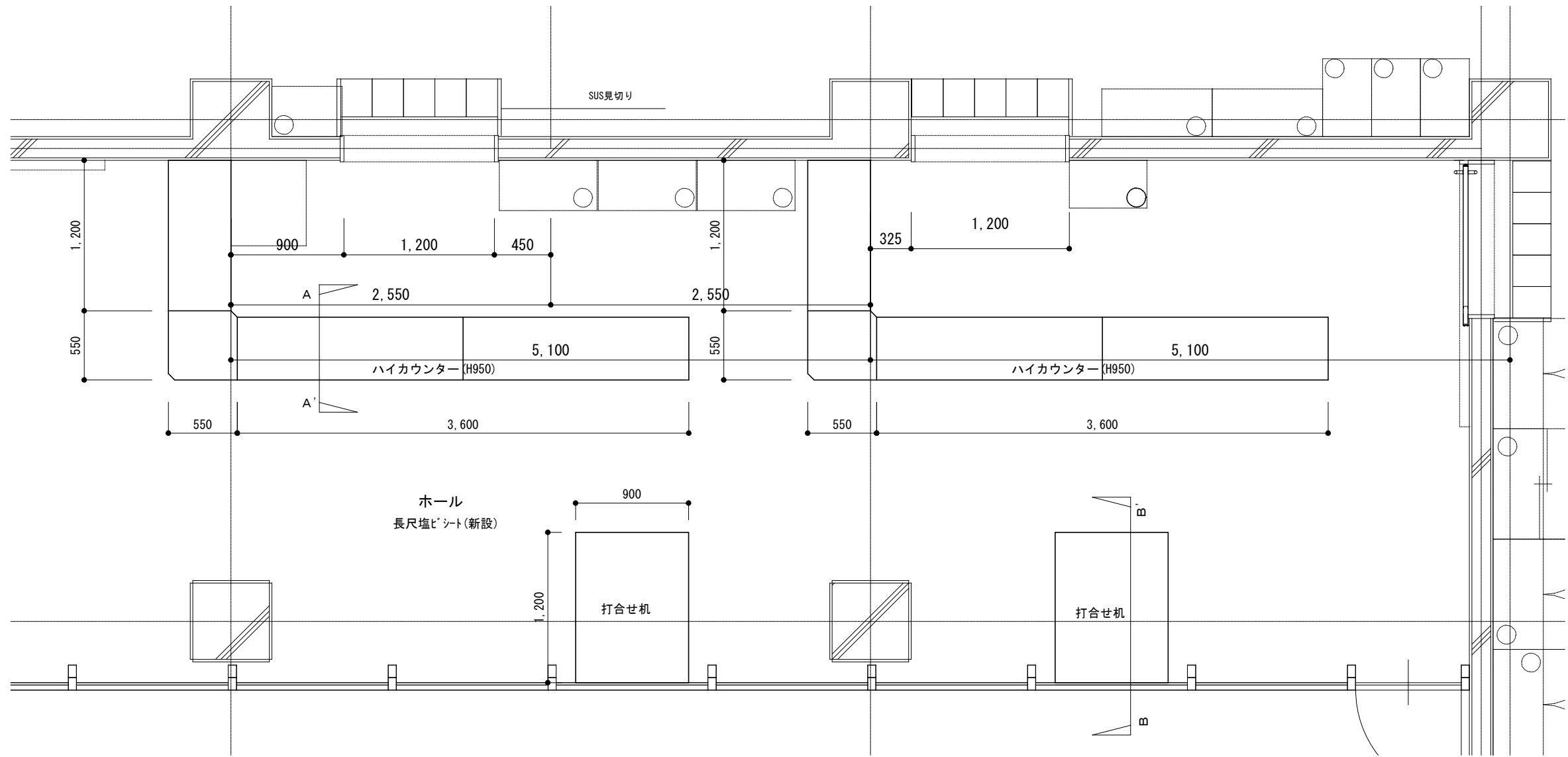
株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図	縮尺
				設計年月日

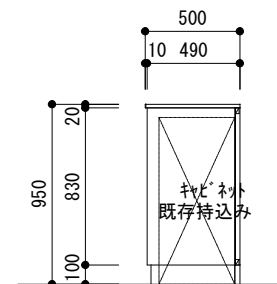
工事名称 事務所用建物 (旧保健センター) 改修工事

図面名称 部分詳細図 (2)

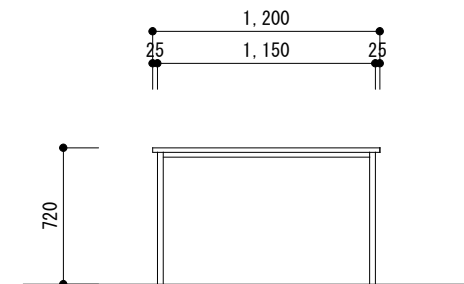
No.



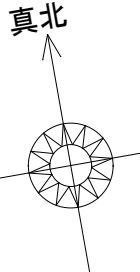
立面図



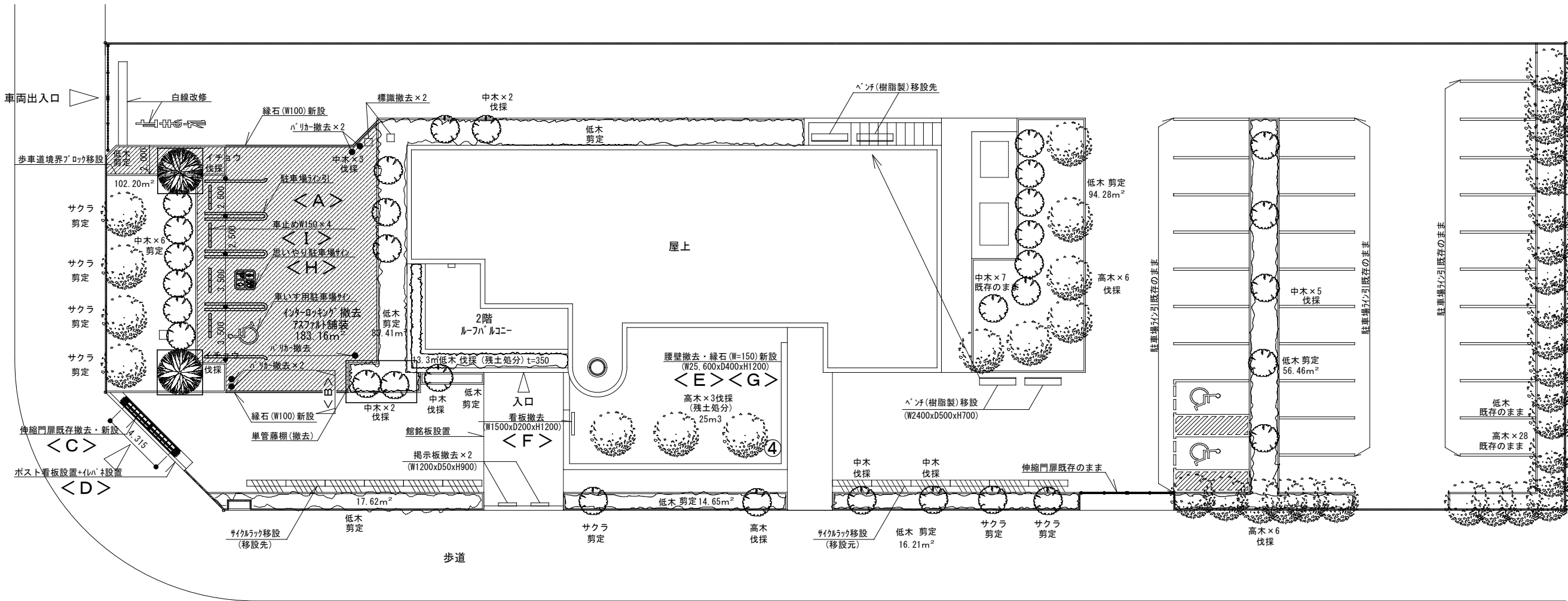
A-A'断面図



B-B'断面図



道路



道路

外構図

緑地計算

必要緑地面積：	2972.17×0.1=297.217	
高木必要本数：	298/10=29.8	(本)
低木必要本数：	298/10×20=596	(本)

MEMO

埼玉県和光市本町9番17号



株式会社 塚田設計

承認	設計	担当	製図

縮尺
A1：1/150
A3：1/300
設計年月日

工事名称 事務所用建物（旧保健センター）改修工事

図面名称 外構図

A-52

No.

< A >	駐車場アスファルト舗装	1/10	< B >	新設アスファルト舗装見切り	1/10	< C >	伸縮門扉	1/50	< D >	門扉	1/50	< E >	腰壁(撤去)	1/50
< F >	看板(撤去)	1/50	< G >	撤去腰壁見切り	1/10	< H > 駐車場					1/50	< I >	駐車場車止め	1/10